

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
1千曲の魅力で創生する賑わいと活力あるまち												
1-1【都市基盤】 交流を活発にする都市空間を整備する	・新幹線新駅の設置、スマートインターチェンジの充実・新設とともに、利便性、機動性に優れた道路網が整備され、社会・経済活動が活発化しています。 ・計画的な土地利用により、都市拠点を中心に各地域拠点を公共交通で結ぶ多極ネットワーク型の適正かつ秩序ある都市形成がされています。 ・都市施設(公園・緑地・下水道)、交通安全施設が整備され、空き家の活用や除去が進み、人に優しく安全で快適な都市に人々が生活しています。 ・地域にふさわしい公共交通が充実し、高齢者等交通弱者の日常生活の移動手段が確保されています。 ・地域間や都市間交流が活発化し、人が賑わっています。	1-1-1 時代に対応した土地利用を図る	(1) 計画的な土地利用の推進	1	●「国土利用計画(千曲市計画)」などに沿った計画的な土地利用を図ります。	H29年度 第二次国土利用計画(千曲市計画)策定	行政・民間等の土地利用について、国土利用計画に基づき、関係各課と土地利用の調整を図った。	b	継続	第三次千曲市総合計画策定後、第二次国土利用計画の見直しを行う。今後も国土利用計画に基づき土地利用の調整を図る。	総合政策課	総合政策課・都市計画課
				2	●「都市計画マスタープラン」及び「立地適正化計画」に基づき、農業振興地域整備計画などと整合した用途地域の見直しを行うなど適正な土地利用を図りつつ、多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくりを推進します。(総合戦略4-2①)	平成30年度 千曲市都市計画マスタープラン見直し業務 平成30年度 千曲市都市計画用途地域変更プログラム策定業務委託	平成21年に策定し、第一次総合計画(後期)や第二次国土利用計画の策定を踏まえおおむね10年経過したため、見直しを行った。	b	継続	第三次総合計画の策定に伴い、都市計画マスタープランについても、必要に応じて部分修正を行う必要がある。	都市計画課	総合政策課・都市計画課
				3	●「立地適正化計画」に基づく市街地再開発事業や土地区画整理事業に取り組みます。(総合戦略4-2②)	立地適正化計画推進事業	広域交流拠点整備の土地区画整理事業は計画が定まっていないため、未着手 広域交流拠点整備に伴う、市街地再開発事業や駅前事業についても方向性が定まっていないため未着手	c	見直し	市内全体の土地利用状況を踏まえた、都市計画事業の導入が必要であるため、広域交流拠点整備や駅前整備等は第三次総合計画での位置づけにより、事業化や更なる検証が必要になる。	都市計画課	総合政策課・都市計画課・産業振興課・地域開発推進室
				4	●新幹線新駅周辺エリアの広域交流拠点(ゲートシティ)としての機能強化を図ります。(総合戦略4-2①)	屋代地区土地区画整理事業(H28-)	土地区画整理事業による広域交流拠点整備を目指したが、地域整備法(農村産業法や地域未来投資促進法など)を活用した規制の一括解除を念頭においた開発は土地利用の用途が一部に限定されてしまうことから、結果として進んでいない	c	見直し	大型商業施設誘致を前提とした広域交流拠点整備の方針を見直し、準備会とともに新たなまちづくりに取り組む	地域開発推進室	総合政策課・都市計画課・産業振興課・地域開発推進室
				5	●高速交通網を有効活用した産業経済基盤の形成に向け、新たな開発計画を策定します。	屋代地区土地区画整理事業(H28-)	土地区画整理事業による広域交流拠点整備を目指したが、地域整備法(農村産業法や地域未来投資促進法など)を活用した規制の一括解除を念頭においた開発は土地利用の用途が一部に限定されてしまうことから、結果として進んでいない	c	見直し	大型商業施設誘致を前提とした広域交流拠点整備の方針を見直し、準備会とともに新たなまちづくりに取り組む	地域開発推進室	総合政策課・都市計画課・産業振興課・地域開発推進室
		1-1-2 高速交通網を有効に活用する	(2) スマートインターチェンジの新設促進と機能強化	6	●平成34年度北陸新幹線敦賀駅開業にあわせた新幹線新駅の設置を目指します。(総合戦略4-1①)	—	平成29年12月に新幹線新駅誘致運動に区切りをつけた。	d	廃止	平成29年12月に新幹線新駅誘致運動に区切りをつけたことから廃止	建設課	建設課
				7	●上信越自動車道へのスマートインターチェンジの新設促進を図ります。(総合戦略4-1②)	屋代地区スマートIC整備事業(H28-)	スマートICの整備効果は国の概ねの理解が得られたと考えているが、整備費の縮減が進んでいないことから、令和3年度の国の準備段階調査の採択は難しい状況	c	継続	整備費の縮減に向けた作業や関係機関等との協議を進め、早期事業化を目指す	地域開発推進室	地域開発推進室
				8	●狭小スマートインターチェンジの24時間運用も含め、フル規格化の実現に向けた取組を推進します。(総合戦略4-1②)	狭小スマートIC整備事業	スマートICの24時間運用開始(H30)	b	継続	フル規格化に向け、地すべり地域でもある周辺アクセス道路の地質調査をR3に実施し、基本計画の具体化及び段階的な整備を検討していく。	建設課	建設課
				9	●更埴インターチェンジ・更埴ジャンクションの名称変更を働きかけます。	なし	なし	d	廃止	名称変更は実施しない	建設課	建設課
		1-1-3 広域的な道路網を整備する	(1) 広域幹線道路の整備	10	【国道】●新国道18号バイパスの整備を要望します。(総合戦略4-1③)	新国道18号バイパス整備及び関連事業	H20年度より事業中の稲荷山〜篠ノ井塩崎区間の事業進捗率72%用地買収率は99%(R3時点)	b	継続	引き続き、若宮〜八幡上町の未事業化区間3.5kmの事業化を含む各種要望を行っていく。	建設課	建設課・都市計画課
				11	【国道】●国道403号バイパスの整備を要望します。	国道403号整備事業(中野千曲間、千曲安曇野間)	中野千曲間と千曲安曇野間の道路整備はそれぞれの期成同盟会を通じて長野県へ継続した要望活動を実施。千曲安曇野間の八幡地区の交差点改良がR2に完成。	b	継続	中野千曲間における土口から屋代に至る2.2kmの先線の歩道未整備区間(L=340m)を一重山2号線の整備計画に合わせ、長野県へ引き続き要望していく。	建設課	建設課・都市計画課
				12	【国道】●国道403号の未改良区間の早期整備と歩道設置など、交通安全施設の計画的な整備を要望します。	国道403号整備事業	長野県へ継続した要望を実施	c	継続	屋代地区の歩道未整備箇所は人家連たん区間であり、道路幅員に対する地元の合意形成が不可欠なため、長野県と連携した地元調整を図る。	建設課	建設課・都市計画課
				13	【県道】●国道を補完する県道網の再編を要望します。	県道網の再編	八幡地区の県道狭小区間は国道403号の交差点改良に伴い国道への振り替えを実施。森地区の県道森篠ノ井は、R11に地形測量を行い地形図を作成し、地元検討委員会や長野県と共に計画線形の具体化や今後の対応について検討を行った。	b	継続	県道森篠ノ井は、地元の合意形成における各種課題(歩道の有無、通学路指定箇所の変更など)について、地元検討委員会と長野県と連携して解決を図るとともに、将来的な戸倉方面への延伸整備についても同盟会として継続した要望活動ができるよう関係区との連携を維持していく。	建設課	建設課・都市計画課
				14	【県道】●都市計画道路一重山線、歴史公園線、若宮線の整備を要望します。	都市計画道路整備業(若宮線)	若宮線は、都市計画決定の変更後、事業を本格的に実施し用地補償を現在先行中。	a	継続	国の交付金を十分に確保できるよう要望していく。	都市計画課	建設課・都市計画課
				15	【県道】●主要地方道長野上田線の未改良区間の早期整備と歩道設置など、交通安全施設の計画的な整備を要望します。	主要地方道長野上田線整備事業	三本木地区の歩道設置(L=450m)はH30に完了。須坂地区の歩道設置は水門箇所を残し完了。	b	継続	須坂地区の未整備箇所は県及び水門管理者と調整し歩道設置を進めていく。代地区の歩道設置要望箇所は、地権者の意向を継続して確認しながら合意形成を図る。	建設課	建設課・都市計画課

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
1-1【都市基盤】交流を活発にする都市空間を整備する	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線新駅の設置、スマートインターチェンジの充実・新設とともに、利便性、機動性に優れた道路網が整備され、社会・経済活動が活発化しています。 ・計画的な土地利用により、都市拠点を中心に各地域拠点を公共交通で結ぶ多極ネットワーク型の適正かつ秩序ある都市形成がされています。 ・都市施設（公園・緑地・下水道）、交通安全施設が整備され、空き家の活用や除去が進み、人に優しく安全で快適な都市に人々が生活しています。 ・地域にふさわしい公共交通が充実し、高齢者等交通弱者の日常生活の移動手段が確保されています。 ・地域間や都市間交流が活発化し、人が賑にぎわっています。 	1-1-3 広域的な道路網を整備する	(2) 幹線道路の整備	16	●広域幹線道路と整合した都市計画道路の見直しと整備を進めます。	平成30年度 千曲都市計画道路整備プログラム見直し調査業務	平成22年度に策定を行った、整備プログラムについて、第二次千曲市総合計画、都市計画マスタープランの見直し、立地適正化計画の策定などを終り、見直しを行った。 (見直し時都市計画道路整備率39.3%)	b	継続	千曲市の産業連携軸でもある、一重山線の整備や南北を結ぶ千曲線の未整備区間の整備について推進していくとともに、整備プログラムの見直しに伴う見直し対象路線の見直しを進めていく必要がある。	都市計画課	建設課・都市計画課
				17	●都市計画道路千曲線をはじめとする幹線道路の整備を進めます。	市道新設改良事業（千曲線、一重山線）	都市計画道路「千曲線」の道路改良事業がR2に完了した。（舗装師屋敷蔭線～市道1-21号線改良区間）	a	継続	産業連携道路「一重山2号線」等の道路改良事業について、国からの交付金により事業を行って行く中で交付金の交付率が非常に低い状態が続いていることから、事業進捗への影響が懸念されるため、交付金制度の中で、交付率の高い重点計画への移行可能性の検討等を実施していく。	建設課	建設課・都市計画課
				18	●橋梁の長寿命化計画に基づき整備を推進します。（総合戦略4-4②）	橋梁長寿命化修繕事業（H26-）	○点検…市内橋梁の一巡目の点検がH30で完了し、R1からの二巡目の点検については全橋梁数（504橋）のうち、R2までで約20%（120橋）が完了した。 ○修繕…一巡目の点検で修繕が必要と判断された橋梁が16橋あり、R2まででそのうち3橋の修繕が完了した。	a	継続	急速に老朽化橋梁の増加が進む中、従来型の「対処療法的管理」ではなく、劣化が軽微な段階で修繕・架け替えを行う「予防保全的管理」に基づく、計画的な維持管理の実施により、長期的視野に基づく橋梁の健全性の保持と、補修等費用の縮減を図る。	建設課	建設課
		1-1-4 良好な都市基盤を整備する	(1) 都市施設の整備	19	●上田千曲長野自転車道の整備を県に要望します。	上田千曲長野自転車道線整備事業	女沢公園はR2に詳細設計が完了し、改修工事実施に向けた各種協議を実施中。自転車道はR3までにリニューアル工事が完了予定。	a	継続	早期完成と自転車の活用を推進することで、自転車道と公園利用の利便性向上を図る。	建設課	建設課・都市計画課
				20	●公園・緑地などの都市施設の整備を進めます。	上徳間公園（仮称）整備事業	地域住民との協働になる維持管理、清掃活動の合意を得られた上徳間公園（1,583㎡）を新設した。	b	継続	市内全体の公園。緑地のバランスや既存公園の長寿命化を踏まえ、施設整備を進める必要がある。	都市計画課	都市計画課
				21	●上下水道の整備、耐震化を推進し、快適な都市環境の整備を進めます。	千曲市下水道総合地震対策計画（第2期）	・マンホール浮上対策工事（35/36）箇所実施 ・マンホールトイレシステム整備（10/10）基実施	b	継続	緊急対策分は完了し中期計画へ移行。マンホールトイレは設置する施設との調整が必要。	上下水道課	上下水道課
				22	●災害時に支障となる電線類の無電柱化などについて調査・検討を進めます。	—	特に台風19号災害後は、国の施策で当市で活用できることはないか検討してきた。	c	見直し	災害担当の部署との連携が必要だが、検討する場が無く課題である。	都市計画課	建設課・都市計画課・危機管理防災課
				23	●市街地の浸水を防止するため、雨水排水路の整備を進めます。	雨水排水路整備	公共下水道事業の温泉排水区（L=630m）のうち第1期工事としてH26までにL=290mを整備。	b	継続	残りの第2期L=340mは都市計画道路建設に併せての整備が必要。	都市計画課	建設課・都市計画課・上下水道課
				24	●長野電鉄屋代線跡地は、関係機関等と協議調整を進め、有効活用に努めます。	長野電鉄屋代線跡地整備事業	自転車歩行者道整備に向け、しなの鉄道線の担当者と現状と課題を共有し、対応策の方向性について協議した。	b	継続	長野電鉄屋代線跡地の活用について、地元区、地元小中学校、関係機関との連携・情報共有・合意形成を要する。	都市計画課	建設課・都市計画課
		1-1-5 地域公共交通の利便性を向上させる	(2) 空き家対策の推進	25	●空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づく「空き家等対策計画」を策定し、空き家バンクによる利活用や危険空き家対策などを進めます。（総合戦略4-2③）	平成29年度 千曲市空家等対策計画策定	空家等の発生防止や有効利用について、空家等対策計画に基づき実施した。	b	継続	第二次千曲市空家等対策計画の見直しを行う。今後も空家等対策計画に基づき関係機関と連携し、空家等の発生防止や有効利用を促進する。	建設課	建設課
				(3) 地籍調査事業の推進	26	●地籍調査事業を進めます。	R2年度（R元年度繰越）地籍調査事業（磯部3区）	令和2年度は大字磯部地区の一部（磯部3区）13haの調査を実施。また、平成28年度（戸倉5区）の調査成果が登記完了。	b	継続	戸倉地域全体の調査計画では調査完了まで20年以上かかる見通しとなっており、継続して調査を推進していく必要がある。	農林課
		1-1-5 地域公共交通の利便性を向上させる	(1) 鉄道の利便性向上	27	●しなの鉄道「戸倉駅」のバリアフリー化や新幹線との接続に配慮したダイヤをしなの鉄道に働きかけ、利便性の向上を図ります。	戸倉駅バリアフリー整備事業	令和2年度基本設計作成業務（19,734,000円）	b	継続	詳細設計作成及び施工実施	生活安全課	生活安全課
				28	●JR篠ノ井線「姨捨駅」の活用に向け、周辺整備などを進め、利便性の向上を図ります。	姨捨棚田地区の日本遺産認定を受け姨捨駅へのアクセス充実（観光便）を図る。	令和3年度ダイヤ改正に対する増便調整	b	継続	JR等関連機関との連携事業	生活安全課	生活安全課
			(2) バス等の利便性向上	29	●循環バス等のダイヤ・ルートの見直しを継続して行うとともに、公共交通網形成計画を策定し、利便性の向上と効率的な運行を図ります。（総合戦略4-2④）	千曲市地域公共交通網形成計画策定（平成30年度）	令和元年度から令和5年度を計画期間とし推進中	b	継続	毎年度、各施策に対する評価・検証を行う中で、適切な利用環境水準の維持	生活安全課	生活安全課
				30	●長野電鉄屋代線廃止にともなう代替交通の利便性の向上と効率的な運行に向け、関係機関との協議を進めます。	屋代線代替交通事業	令和2年度千曲市屋代線代替交通運行事業費補助金（7,431,917円）	b	継続	長野市、須坂市等の関係機関との連携を図り、安定した事業の推進	生活安全課	生活安全課
				31	●高速バス停留所の駐車場の環境維持に努め、利用者の快適性の向上を図ります。	—	—	b	継続	まちづくり計画との連携、調整等	生活安全課	生活安全課

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
1-2「産業連携」連携による千曲市産業の基盤をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 「国土利用計画(千曲市計画)」や「都市計画マスタープラン」に基づき、新たな産業用地の確保や産業経済基盤の形成が図られています。 地域資源を生かした産業集積と「信州千曲ブランド」などの地域ブランドが確立されるとともに、農工商及び観光との連携や積極的な企業誘致などにより新たな産業とビジネスが生まれています。 産学官連携や異種事業者間の連携、創業者の増加により、情報や技術の伝達及び新商品の開発や販路開拓が進み、産業活動が活発に展開されています。 	1-2-1 持続的に発展する産業を支える基盤を整備する	(1) 産業用地の確保と整備	32	●「交通の要衝」という地理的優位性を活用し、市街地的土地利用、農業的土地利用、自然的土地利用との調和を図りながら産業用地の確保と整備を進め、企業誘致を推進する体制の整備充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 両宮産業団地造成事業(H30~) 八幡東産業団地造成事業(R1~) 	<p>両宮：約14.4ha(5区画)。公民連携事業として大和ハウス工業(株)と連携して事業を推進し、R3造成工事完了予定</p> <p>八幡：約9.6ha。公民連携事業としてアクティオホールディングスと連携して事業を推進し、R3~造成工事に着手</p>	a	継続	<p>両宮：進出企業との災害協定の締結、災害対策の地元区への情報提供及び調整</p> <p>八幡：造成工事に関する地元調整</p>	産業振興課	産業振興課・地域開発推進室・総合政策課
			(2) 産業経済基盤の形成	33	●市街地誘導地区の開発を推進し、都市基盤の整備に努め、大型商業施設等が建設され、まちの賑(にぎ)わいが創出されるよう、より高度な土地利用を目指します。(総合戦略4-1①)	屋代地区土地区画整理事業(H28~)	<p>土地区画整理事業による広域交流拠点整備を目指したが、地域整備法(農村産業法や地域未来投資促進法など)を活用した規制の一括解除を念頭においた開発は土地利用の用途が一部に限定されてしまうことから、結果として進んでいない</p>	c	見直し	大型商業施設誘致を前提とした広域交流拠点整備の方針を見直し、準備会とともに新たなまちづくりに取り組む	地域開発推進室	産業振興課・総合政策課
			(3) 緊急事態対策への支援	34	●企業が自然災害等の緊急事態に遭遇した場合において、重要業務の継続あるいは早期復旧を図っていくための「事業継続計画」(BCP)の策定づくりを支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 千曲市国土強靱化計画 SDGs推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> 国土強靱化計画を策定し、最悪の事態を想定した対策を明確にした。 商工団体とSDGs推進に関する包括連携協定を締結し持続可能な地域経済を目指す。長野県SDGs企業登録 市内17社 	b	継続	自然災害だけではなく、ウイルスによるパンデミック、コンピューターウイルス感染などのリスクの低減なども含め、迅速に再建できるような計画などの支援を行う。	産業振興課	産業振興課
			(4) 働く人への支援	35	●勤労者の生活の安定と向上を図ります。	更埴地域勤労者共済会	<p>中小企業等で働く方の福祉の向上と生活の安定のために相互扶助制度で、共済会の給付事業や加入者の親睦を深める事業を行っている。</p>	b	継続	今後も更埴地域勤労者共済会と連携し、PR、加入促進などを行う。	産業振興課	産業振興課
				36	●安全で働きやすい職場環境の確保を企業などへ働きかけます。	(県)労政事務所、長野労働局雇用環境・均等室・長野働き方改革推進支援センターと連携	<p>国・県が専門部署を設け、専門家が相談等に応じていることから市と連携しています。</p>	b	継続	仕事と家庭の両立ができる職場環境の改善や雇用の安定を進める従業員が働き続けられるよう働きかけます。	産業振興課	産業振興課
			(5) 産業支援体制の整備と連携	37	●産業支援センターの整備充実を進め、支援機能の向上を図ります。	千曲市産業支援センター事業	<p>企業等から支援機能など充実に関する意見は寄せられていない。</p>	b	継続	企業等の課題で千曲市産業支援センターだけでは解決できないものは、広域的な支援機関へつなぎ補完する。	産業振興課	産業振興課
				38	●商工会議所、商工会など産業団体・機関の活動強化と連携による支援を進めます。	商工業等団体育成事業	<p>商工団体を通じて中小の事業者へ各種事業支援を行っている。また、台風被害・新型コロナなどの支援策は連携し支援している。</p>	a	継続	商工業を振興し、地域経済の発展を図るためにも、引き続き情報等を共有し連携します。	産業振興課	産業振興課
				39	●持続的に発展する産業を支えるため、助成制度・制度融資の充実と利用促進を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 商工団体とのSDGs包括連携協定による推進 中小企業振興資金運営会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> SDGs連携協定を締結(R3.5.26)、持続可能な地域経済の構築を目指す。 市内金融機関と定期的な情報・意見交換を行い、ニーズ対応を検討。 	a	継続	国・県などの支援が行き届かない、又は本市の特徴的な産業などを鑑み制度を拡充する。	産業振興課	産業振興課
			(6) 地方大学等の活用	40	●学生対象の企業見学バスツアーの開催や職場体験実習生(インターン)の受入れをする企業のPRと受入れ支援を進めます。(総合戦略2-4②)	信州大学工学部、清泉女学院大学及び短期大学、長野県立大学とのパートナーシップ協定	<p>バスを借り上げ食品工場などを巡り、食品加工等の理解を深め、企業のPRをおこなっている。企業側も良いPRの場として期待している。</p>	a	継続	学生が企業見学に来ていただくことで、事業の理解が深まり企業PRにつながる。	産業振興課	産業振興課
		41		●大学の「研究課題(研究シーズ)」と企業などの「技術ニーズ」を結びつける調整を行う。	信州大学工学部とのパートナーシップ協定	<p>千曲市ものづくり講演会を開催し、先端技術やニッチな分野の理解を深めた。</p>	a	継続	産学官は既に連携していることから、更に充実を図る。	産業振興課	産業振興課・歴史文化財センター	
		42		●大学、短期大学とのパートナーシップ協定による共同研究などを推進し、地域産業の振興を進めます。(総合戦略2-4①)	R2~ 重要伝統的建造物群保存推進事業	<p>稲荷山重伝建地区の全体構想策定にあたり、工学院大学に策定調査業務を委託し共同研究を進めている</p>	b	継続	千曲市を研究テーマとする大学への協力を行う	歴史文化財センター	産業振興課・歴史文化財センター	
		1-2-2 地域資源を活かした産業を創る	(1) 地域ブランド戦略の推進	43	●地域内のさまざまな資源を活用し、地域の産品や地域そのものの魅力と付加価値を高めていく地域ブランドの確立への取組を進めます。	千曲ブランド創出事業	<p>信州千曲ブランド認定品ガイドブック作成(2年ごと更新、R1作成)。35業者159品目を掲載。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市外用：9,000部作成 市内用：21,000部作成 作成したガイドブックの関係施設等への配布及び市内全戸配布を行った。 	c	見直し	これまでの取組に加え、新たな方向性や活動内容について、認定業者の会による検討が必要と思われる。千曲商工会議所による、杏都ブランドとのすみわけが課題	観光交流課	産業振興課・農林課・観光交流課
				44	●信州千曲ブランドの認知度向上と高付加価値化(プレミアム化)を促進します。(総合戦略1-2③)	千曲ブランド創出事業	<ul style="list-style-type: none"> 各地の展示会等への参加：なし 姉妹都市宇和島市の道の駅で認定品販売 都市圏でのイベントへ出展：神戸市でのTommy CHO氏コンサート会場、日本遺産フェスティバルin今治での認定商品販売2回実施 	c	見直し	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、従来のような展示会やイベントへの出展は困難なため、認知度向上のための新たな方法の検討が必要と思われる。 認定業者の会により高付加価値化への協議を進める。 	観光交流課	産業振興課・農林課・観光交流課
				45	●郷土食「おしぼりうどん」の通年食化のほか、粉もん文化など独自の食文化のPRと商品化を促進します。(総合戦略1-2③)	千曲ブランド創出事業	<ul style="list-style-type: none"> 信州千曲ブランドとしておやき・麺類の認定をしている。 そばまつりを千曲川地域ブランドフェアと同時開催してきたが、台風や新型コロナの影響で2年連続中止となった。 	c	見直し	<ul style="list-style-type: none"> PRの方法について検討が必要と思われる。 イベントとしてのそばまつりは実施困難と思われる。 	観光交流課	産業振興課・農林課・観光交流課

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
1-2【産業連携】連携による千曲市産業の基盤をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 「国土利用計画(千曲市計画)」や「都市計画マスタープラン」に基づき、新たな産業用地の確保や産業経済基盤の形成が図られています。 地域資源を生かした産業集積と「信州千曲ブランド」などの地域ブランドが確立されるとともに、農工商及び観光との連携や積極的な企業誘致などにより新たな産業とビジネスが生まれています。 産学官連携や異種事業者間の連携、創業者の増加により、情報や技術の伝達及び新商品の開発や販路開拓が進み、産業活動が活発に展開されています。 	1-2-2 地域資源を活かした産業を創る	(1) 地域ブランド戦略の推進	46	●工業製品など食品以外の信州千曲ブランドの適用範囲の拡大とPR、地域資源を活用したブランド育成(信州千曲ブランドのPR)を進めます。(総合戦略1-2③)	未実施	—	d	見直し	工業製品を信州千曲ブランドとして認定する基準を定めるのが困難と思われる。関係課との連携も必要と思われる。	観光交流課	産業振興課・農林課・観光交流課
				47	●広域によるブランド育成(千曲川地域ブランドフェアの補助と関東圏でのイベント開催)を進めます。(総合戦略1-2③)	千曲ブランド創出事業	<ul style="list-style-type: none"> R1千曲川マルシェは令和元年東日本台風により中止。 R2新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。 市内及び千曲川流域の市町村・団体に数多く出店いただき、集客・売上ともに一定の成果を上げている。 H24以降H30まで7回開催。 平均出展団体:50団体。 平均来場者数:3,200人。 平均総売上:約240万円。 	b	見直し	当面新型コロナウイルス感染拡大の終息が見込めないため、不特定多数の誘客を期待するイベントの開催は困難である。イベントの内容や規模、開催方法など検討が必要と思われる。	観光交流課	産業振興課・農林課・観光交流課
				48	●特産の農産物を活用した食品加工事業者による新商品開発の支援を進めます。(総合戦略1-4②)	資源活用事業(R1~R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 棚田米の収量が少ないことが課題であるため、少量でも収益を出せる加工品開発を行った結果、せんべいや甘酒の試作品を開発。 	b	継続	販売を想定し、安定した原料の確保仕方や詳細な販売方法について検討する。	農林課	産業振興課・農林課・観光交流課
			(2) 産業連携の推進	49	●産業間及び企業間の連携を促し、多様で付加価値の高いビジネスの創出を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 千曲市産業支援センター事業 東信州次世代イノベーションセンターなど 	千曲市支援センターが広域的な産業支援組織と連携し支援を行っている。	b	継続	引き続き、産業支援アドバイザー・広域の産業支援組織を活用しながら支援します。	産業振興課	産業振興課
				50	●産業振興に係る基本条例の制定について、関係団体等との協議を進めます。	—	条例の制定について検討を行った。	d	廃止	新たな条例の制定は行わず、既存の条例と次期総合計画で包含したい。	産業振興課	産業振興課
				51	●企業・事業者や大学・研究機関と連携して、「あんず」などの地域固有の資源を活かした新たな産業や商品の創出を支援します。	あんずのブランド化事業(H30~R2年度)	<ul style="list-style-type: none"> 県、JA、生産者等で組織する「ちくまハーコット推進協議会」を立ち上げ、プレミアムハーコット「杏月」の販売を開始。令和元年度は1,894玉、令和2年度は236玉販売。 	b	継続	首都圏を中心に、杏月の需要は高いため、今後は安定供給に向け生産方法の確立を目指す。	農林課	産業振興課・農林課・観光交流課
				52	●企業・事業者・市民を対象に大学等の最新研究情報を提供することにより、産業育成の支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 信州大学工学部とのパートナーシップ協定 東信州次世代イノベーションセンターなど 	千曲市ものづくり講演会を開催し、先端技術やニッチな分野の理解を深めた。	a	継続	広域的な産業支援組織の研究結果・講演会などの場を提供してまいります。	産業振興課	産業振興課・農林課・観光交流課
				53	●産学官の連携や技術アドバイザーの配置により、企業の新技術・新商品の開発や販路開拓の相談、指導を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 千曲市産業支援センター事業 東信州次世代イノベーションセンターなど 	展示会・技術展などの参加とりまとめ、広域的な産業支援組織との連携をしている。センター内に技術アドバイザーを配置し産学官の連携を行っている。	a	継続	引き続き、産業支援アドバイザー・広域の産業支援組織を活用しながら支援します。	産業振興課	産業振興課・農林課・観光交流課
			(3) 起業・創業支援	54	●「産業支援センター」を拠点として、起業・創業などを専門的に支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ちくま創業サポートデスク (県)起業・スタートアップ支援事業と連携 (県)ながの創業サポートオフィスの活用連携 	<ul style="list-style-type: none"> ちくま創業サポートデスクで創業・起業の相談を受けますが、相談は不動産、雇用、許認可、融資など多岐に渡ることから、商工団体で実施している「創業スクール」を紹介している。 	b	継続	県や金融機関など様々な団体が組織されていますので連携し支援します。	産業振興課	産業振興課
		55		●「ちくま創業サポートデスク(ワンストップ相談窓口)」を拠点として、金融機関や大学等の支援機関が連携して、創業者への効果的なサポートを行います。(総合戦略1-2①)	<ul style="list-style-type: none"> ちくま創業サポートデスクの活用 長野信用金庫との地域活力増進に向けた連携協定締結 	<ul style="list-style-type: none"> 創業者数 H30:10件 R元年:7件 R2年:13件 	b	継続	県や金融機関など様々な団体が組織されていますので連携し支援します。	産業振興課	産業振興課	
		1-2-3 豊かな創造力を身につけた人と高い技術を育てる	(1) 研究開発・技術向上支援	56	●「産業支援センター」機能を充実するとともに、空き工場を活用したインキュベーター施設や貸し工場への転換により企業の研究・開発を支援し、大学などの試験研究機関と連携して技術面の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 産業支援センター設置 東信州次世代イノベーションセンター等との広域連携、産学官連携 千曲市商工業振興条例に基づく各種補助事業(空き建物活用事業) 	<ul style="list-style-type: none"> 産業支援センターとして、東信州次世代イノベーションセンター等との広域連携、産学官連携 補助認定状況(H29以降新規分):7件19,343千円 	b	継続	空き建物の効率的かつ正確な情報収集各種団体との連携強化	産業振興課	産業振興課
				57	●技術アドバイザーや人材バンク制度の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 千曲市産業支援センター事業 東信州次世代イノベーションセンターなど 	<ul style="list-style-type: none"> 産業支援センターで課題など整理し、広域的な産業支援組織などと連携し支援しています。 	b	継続	広域的な産業支援組織などと連携します。	産業振興課	産業振興課
			(2) 産業人材の養成と確保	58	●企業OBが有する技能・技術の活用と伝承を進めるとともに、科学技術やものづくりへの興味と関心を高める風土形成を図ります。	千曲市産業支援センター事業	<ul style="list-style-type: none"> 千曲市ものづくり講演会を開催し、先端技術やニッチな分野の理解を深めた。また、市内企業と電気自動車や小水力発電など実証実験を行った。 	a	継続	企業等の要望などをお聞きする中で、引き続き実施します。	産業振興課	産業振興課
				59	●大学・技術専門学校、試験研究機関と連携を図りながら人材の育成に努めるとともに、郷土出身者や交流市民などの人材ネットワークを構築しUJIターナーの受け入れを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> 信州大学工学部、清泉女学院大学及び短期大学、長野県立大学とのパートナーシップ協定 	<ul style="list-style-type: none"> 学生が企業見学など行う場合は、その学校の卒業生に事業説明など行っていただくなど工夫している。 	b	継続	工夫しながら引き続き実施します。	産業振興課	産業振興課
				60	●企業・事業者の人材育成を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成事業 長野県プロフェッショナル人材戦略拠点の活用・連携 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員の能力開発のため、研修機関連の実施する講座を受講する場合、助成支援した。 	a	継続	制度などを周知し補助事業などで支援します。	産業振興課	産業振興課
			(3) 産学官連携事業の推進	61	●大学又は公的機関などと連携して、新技術・新製品の開発及び新産業の創出を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 東信州次世代イノベーションセンターなど 	<ul style="list-style-type: none"> 基幹産業である製造業を核にした次世代産業を創出するために東信州エリアの強みである産業の多様性を活かし、農業・医療・観光といった異なる産業との融合も進めています。 	b	継続	広域的な産業支援組織などと連携し支援します。	産業振興課	産業振興課

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課	
1-3【産業振興】多様な産業群のイノベーション(革新・刷新)による産業の活性化を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの経営計画に沿い、意欲を持って農林業に打ち込んでいます。 ・地域ぐるみの営農活動により、多様な担い手が支えられ、農地が有効に活用されています。 ・地域の方で里山が整備され、自然と生活が融け合い、ゆとりと潤いのあるまちとなっています。 ・市民、農業者及び農業団体、事業者、市が食料・農業・農村について相互に理解、連携し、協働して農業を支えています。 ・新規出店や起業しやすい条件が整い、産業全体が活気づいています。 ・公園などの憩いの空間や駐車場などが完備され、高齢者や障がい者に優しい、活気と魅力ある商店街が誕生しています。 ・地域の魅力が内外に知られ、若者やUターンなどによる定住者が増え、活気あるまちになっています。 	(1) 農作物の安定的な生産と供給		62	●農業者と消費者が食品製造工場を見学するツアー及び商品改良の提案等の意見交換を実施するなど、消費者が安心して安全な農産物や食品を購入できる環境を整えます。(総合戦略1-4①)	あんず加工体験、リンゴ狩りツアー(信州千曲観光局)	信州千曲観光局による企業連携業務工場見学ツアーの実施などにより、地産地消の推進や企業との意見交換を実施 体験ツアーを通して、千曲市の特産品について関心を高めてもらえた。	b	継続	新たなツアー等の実施についても検討する。 関係課と連携しながら進める必要がある。	観光交流課	観光交流課・産業振興課・農林課	
				63	●学校、家庭、社会教育機関、地域社会等との連携により、給食への地場産農産物の利用拡大や健康的な食生活の推進に努めます。	戸倉タマネギ祭り(H29~R2)	当祭りで収穫したタマネギを販売したり、上限100kgを子供たちの給食に利用するなど、地場産農産物の消費拡大に繋がった。	b	見直し	当祭りは令和2年をもって終了となったため、今後の方針を検討する	農林課	農林課・教育総務課・給食センター	
				64	●直売所の支援充実に努めるなど、千曲市産の農産物の地域内での流通と消費の促進を図ります。(総合戦略1-4①)	千曲市産業支援センター事業	あんず、地場野菜などの食品加工の商品化・販売など支援しています。	b	継続	引き続き、食品加工業などにヒヤリングするなど行い課題解決にむけ支援します。	産業振興課	産業振興課・農林課	
				65	(2) 優良な農地の確保と収益性の高い農業経営の促進	●規模拡大・経営改善の意欲を持った担い手(効率的・安定的経営体)の育成に努めるとともに、あんず、姨捨の棚田、ワイン用ぶどう、トルコギキョウ栽培などを中心に多様な担い手を確保し、農業の継続と農地の保全を進めます。	新規就農相談会(H27~R2※県事業)・農業経営セミナー(H30~R2)	新規就農相談会などで、H29~R2までに計37件の就農相談を受け、4組5名の方が新規に就農している。品目の内訳は、あんず1名・トルコギキョウ1名・ワイン用ブドウ1名・野菜1組2名。	b	継続	農業後継者不足が大きな問題であるため、引き続き就農者の確保及び支援に努める。	農林課	農林課
				66		●ブランドの構築や6次産業化の推進など、農業の付加価値の創出に努めるとともに、千曲川ワインバレー特区の展開にあわせたワイン用ぶどうによる産地化により収益性の向上を図るなど、農業経営の安定化を支援します。(総合戦略1-4③)	ワインぶどう研究会の試験圃場による栽培及び醸造試験(H27~R2)	試験結果が良好で栽培面積は、2.8ha(H28)から約5.8ha(R2)と増加している。	a	継続	荒廃農地解消に向け更なる栽培面積の増加と、付加価値創出のため、ワインバレーの建設支援を進める。	農林課	農林課
				67	(3) 農地の持つ多面的機能の保全と活用	●多面的機能を十分に発揮させるため、農地の計画的利用を進めるとともに、農道・用排水路・農業用施設などの農業生産基盤の整備や適切な維持管理を地域と進めるほか、土壌等の環境に配慮した持続可能な農業生産方式の普及に努めます。	多面的機能支払交付金事業(H29~R2)	取組面積は13,319a(H29)から13,538a(R2)と増加傾向のある。	b	継続	農業従事者の高齢化が進んでおり、農地を維持していくのが難しい時代になっていくことから、担い手の確保と交付金事業のPRを進め、取組面積の増加を目指す。	農林課	農林課
		68	●地域ぐるみの維持管理体制の構築により、遊休農地の解消・拡大防止や鳥獣被害対策を推進するとともに、農業体験交流活動など都市農村交流の創出により、農業・農村の持つ多面的機能の理解促進に努めます。	棚田貸します制度(H29~R2)		棚田を保全する6団体の耕作・景観維持活動により、6組織で請け負っている6.1haのほ場内については耕作放棄地はなし。 また、棚田貸します制度では、都心部のオーナーの受入を行っており、毎年1校の農業体験交流活動も行っている。	b	継続	保全団体員の高齢化が進んでいるため、今後、耕作放棄地の増加が懸念される。	農林課	農林課		
		69	(4) 林業の振興と森林資源の多面的活用	●林業労働者育成対策と森林整備を進めます。	民有林整備事業	毎年10以上の地元区等の団体が里山整備を実施し、里山景観の維持向上を推進した。	b	継続	林業労働者の育成は市単独では困難であるため、県とも協力しながら進める必要がある。	農林課	農林課		
		70		●緑化運動を推進し、市民参加による「市民の森」整備や里山の活用研究などを進めます。	協働の森づくり事業	幅広い広報等により、目標を超える参加団体数となり、緑化等森林への関心を促すことが出来た。	b	継続	継続させるには、事業のマンネリ化などを避けるような、工夫をしていく必要がある。	農林課	農林課		
		71		●自然環境や美観風致の保全に必要な樹木・樹林を、保存樹木として指定します。	緑化の推進及び緑の保全	H29、H30、R2 指定なし H31 保存樹木1本指定 保存樹木 45本・保存樹林 2箇所(R2年度未現在) 自然環境の確保が図れた。	b	継続	今後も積極的に保存樹木・樹林の指定を行い、緑の保全推進を行う。	環境課	環境課		
		72		●建築材や暖房用燃料・公共工事資材など、間伐材や県(国)産材利用を進めます。	千曲市公共建築物・公共土木工事等における木材利用方針	方針策定後、建設課や土木事業部局とも連携し、3年間で4件12mの利用があった。	b	見直し	基準耐震や防災の観点から、木造に対する不安がある。コスト増と防火の観点から木材利用が進まない	農林課	農林課		
		73		●林道・作業道などの整備と治山事業を推進し、山林の保全を進めます。	林道管理事業、治山事業	林道通行期間について、毎日の巡視から異常等を早期発見し、対応ができた。 治山事業についても、地域要望等を基に、地域振興局とも連携し、10地区において堰堤等	b	継続	県の治山事業予算の減少に伴い、治山事業規模も縮小しているのが現状	農林課	農林課		
		74	●野生動物と共生するため、必要な保護や適切な個体管理を進めます。	野生鳥獣保護管理事業	農業・住環境被害の軽減のため、エゾカ751頭、イノシシ516頭の個体数調整を実施。	a	継続	農業被害は減少傾向にある。従事者の高齢化や減少が問題となっている。	農林課	農林課			
		75	(1) 産業活性化の推進	●地域経済の活性化や福祉・医療・環境・エネルギー、ICT産業など成長分野といわれる企業誘致を図ります。	企業立地推進幹の配置 千曲市商工業振興条例に基づく補助事業	企業立地推進幹1名 各種補助金の認定状況(H29以降新規分):43件209,931千円 定期的な企業訪問による情報収集	a	継続	効率的かつ正確な情報収集	産業振興課	産業振興課		
		76		●実情に即した有効的な立地助成制度の充実及び企業立地に対する指導、相談体制の充実を図ります。(総合戦略1-1①)	企業立地推進幹の配置 千曲市商工業振興条例に基づく補助事業	企業立地推進幹1名 各種補助金の認定状況(H29以降新規分):43件209,931千円 定期的な企業訪問による情報収集	a	継続	効率的かつ正確な情報収集	産業振興課	産業振興課		
		77		●既存企業にとって受注・販路拡大となる企業とのマッチングを図ります。(総合戦略1-2①)	千曲市産業支援センター事業 ・東信州次世代イノベーションセンターなど	産業展示会の出展周知と支援、広域的な産業支援組織と連携し取引相談・マッチングを行っています。	a	継続	産業支援センターの主となる業務であることから充実します。	産業振興課	産業振興課		

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
1-3【産業振興】多様な産業群のイノベーション(革新・刷新)による産業の活性化を図る	<ul style="list-style-type: none"> 自らの経営計画に沿い、意欲を持って農林業に打ち込んでいます。 地域ぐるみの営農活動により、多様な担い手が支えられ、農地が有効に活用されています。 地域の方で里山が整備され、自然と生活が融け合い、ゆとりと潤いのあるまちとなっています。 市民、農業者及び農業団体、事業者、市が食料・農業・農村について相互に理解、連携し、協働して農業を支えています。 新規出店や起業しやすい条件が整い、産業全体が活気づいています。 公園などの憩いの空間や駐車場などが完備され、高齢者や障がい者に優しい、活気と魅力ある商店街が誕生しています。 地域の魅力が内外に知られ、若者やUターンなどによる定住者が増え、活気あるまちになっています。 	1-3-2 高い技術を誇るものづくり産業を振興する	(2)ものづくり産業の振興	78	●「産業支援センター」や「人材バンク」などを活用し、技術、経営等の助言者(アドバイザー)、産学連携先の紹介、斡旋を進めるほか、新製品・サービス開発のための学習機会の提供などを通し、商品開発のレベルアップを図ります。(総合戦略1-2①)	・千曲市産業支援センター事業 ・産学官連携事業 ・東信州次世代イノベーションセンターなど	千曲市ものづくり講演会を開催し、先端技術やニッチな分野の理解を深めた。また、市内企業と電気自動車や小水力発電など実証実験を行っている。	a	継続	引き続き、充実してまいります。	産業振興課	産業振興課
				79	●産業展や展示会の開催、企業のデータベース化、ホームページの活用などを通して「ものづくり産業」の紹介や取引の拡大を支援します。(総合戦略1-2①)	・千曲市産業支援センター事業 ・東信州次世代イノベーションセンターなど	産業展示会の出展周知と支援、千曲市ものづくり生産向上事業を創設しオンライン取引支援事業などの支援を行っている。	a	継続	引き続き、拡充してまいります。	産業振興課	産業振興課
				80	●商工会議所・商工会と連携し、中小企業の抱えるあらゆる課題や発展戦略に関する相談指導を充実するとともに、産学連携交流ネットワークづくりを進め、企業力の向上を目指します。	・千曲市産業支援センター事業	常日頃から情報共有し連携しています。また、SDGsの観点から引き続き企業力の向上を支援します。	a	継続	引き続き、連携しながら充実してまいります。	産業振興課	産業振興課
				81	●地域固有の資源や特性を生かした地場産業の育成を促進し、持続的な地域経済の活性化を図ります。	・商工団体とのSDGs包括連携協定による推進	SDGsの観点から地場産業、地域経済を支援していく。	b	継続	事業者、商工団体などと協力し持続可能な地域経済を目指します。	産業振興課	産業振興課
		(3)事業環境の改善	82	●職場環境の改善、新製品・新技術の開発、新産業創出のための事業展開に対し、知的財産権の保護に対する支援を行います。	・千曲市産業支援センター事業 ・千曲市ものづくり生産向上事業 ・東信州次世代イノベーションセンターなど	千曲市産業支援センターのアドバイザーが相談に応じ支援を行っています。また、IT・テレワークができる環境整備補助事業を創設。	b	継続	広域的な産業支援組織などと連携し支援します。	産業振興課	産業振興課	
			83	●立地環境を選ばないICT関連企業事務所の東京圏からの誘致を促進します。また、サテライトオフィスの誘致、在宅ワークの確保と就労者への教育による結びつけ(マッチング)を進めます。(総合戦略1-1③)	・(県)産業立地・IT振興課との連携 ・(県)長野県東京事務所との連携	ICT企業の誘致は全国の自治体で行われており、県と情報を共有・連携します。	c	見直し	(県)産業立地・IT振興課と長野県東京事務所と連携してまいります。	産業振興課	産業振興課	
		(1)中心市街地の活性化	84	●中心市街地活性化基本計画を推進します。(総合戦略4-2②)	・中心市街地活性化事業 各種プロジェクトの実施	空き店舗見学会や賑わいイベントを開催するなど各種プロジェクトを実施しています。	b	完了	R3年度で計画期間満了	産業振興課	産業振興課	
			85	●空き店舗をコワーキングスペースなどの集客施設に利用するなど店舗や事業所の再集積を図ります。(総合戦略4-2②)	・商店街空き店舗等活用事業 ・空き店舗対策資金	補助事業、融資制度を創設し集積させる動機づけを行っている。	b	継続	コワーキングスペースに限らず空き店舗活用の支援をしてまいります。	産業振興課	産業振興課	
			86	●中心市街地でのイベント継続を推進し、市街地の賑わいを創出します。(総合戦略4-2②)	・中心市街地活性化事業 各種プロジェクトの実施 ・商業イベント補助事業	各種イベントの支援、ちくま未来カフェ通信でイベントや開店するお店の紹介など行っている。	b	見直し	事業者、消費者などが役割分担し賑わいを創出するよう支援します。	産業振興課	産業振興課	
			(2)小売商業の振興	87	●多様な消費者ニーズに応えるため、魅力ある商店づくりと情報発信などを支援します。	ちくま未来カフェ通信発行	年4回程度市内全戸に配布し情報発信している。	b	継続	活動する団体等を支援します。	産業振興課	産業振興課
				88	●意欲ある後継者づくりや創業者育成のため、研修事業や支援制度の充実を図ります。	・人材育成事業 ・長野信用金庫との地域活力増進に向けた連携協定締結	・従業員の能力開発のため、研修機関の実施する講座に参加する場合、助成支援する。	b	継続	支援団体と連携し、拡充してまいります。	産業振興課	産業振興課
				89	●日常的に買い物に困難な高齢者等を顧客とする事業化に向けた取組を支援します。	・社会福祉協議会との連携	移動販売を行う事業へ伴走支援したが頓挫した。	b	見直し	事業者支援として支援します。	産業振興課	産業振興課
			(3)物流産業の振興	90	●配送センターなどの流通施設が進出しやすい環境整備を進め、立地を推進します。	両宮産業団地造成事業(H30~)	公民連携事業として大和ハウス工業(株)と連携して事業を推進し、R3造成工完了予定	a	継続	両宮：進出企業との災害協定の締結、災害対策の地元区への情報提供及び調整	産業振興課	産業振興課
			(4)サービス関連産業の振興	91	●地域資源(伝統・文化・自然・産業など)や地域ブランドを生かしたサービス産業の育成を図ります。	・ホームページ作成支援事業	商品や千曲ブランドを魅力的に販売するため支援している。	a	継続	行政の関与しづらい産業ですが、ホームページ作成などで支援します。	産業振興課	産業振興課
92	●地域密着型の小規模な企業活動(コミュニティビジネス)をNPO・大学などと連携して支援します。	信州大学工学部・長野県立大学とのパートナーシップ協定		市内を学生の実験フィールドとして提供し、小型ロケットの発射実験などを行った。	b	継続	柔軟に対応してまいります。	産業振興課	産業振興課			
1-4【観光交流】訪れたいくなるまちを育てる	<ul style="list-style-type: none"> 観光事業者だけでなく、その他の事業者、団体、市民と連携し、「オール千曲」による「観光地域づくり」が推進されています。 大都市圏や外国からの観光客などが、新幹線新駅周辺を拠点に市内を回遊しています。 外国人観光客が増加するとともに、プロスポーツチームとの連携による新たな観光需要が創出されています。 	1-4-1 人を迎え、もてなす心とまちを育てる	(1)新たな組織による観光推進	93	●市内の観光事業に関わるあらゆる個人や団体、事業者が集う新たな観光推進組織(千曲市版DMO)により、来訪のニーズを踏まえたマーケティング、観光品質の向上や利害調整など、経営の視点から地域の観光資源を総合的に取りまとめ、新たな市場の創造を目指します。(総合戦略2-1③)	信州千曲観光局の設立(H29~)	会員・賛助会員 正社員数242名(R3.3.31現在) 観光受入事業として、窓口や電話での観光案内、SNSを利用した情報発信、観光パンフレットの作成だけでなく、観光客誘客を目的としたイベントの開催や旅行商品の造成などを行うことで、観光面からの千曲市の知名度向上に寄与した。	b	見直し	人口減少などにより、観光客数が年々減少している中で、新型コロナウイルスの影響もあり、千曲市を訪れる観光客数は減少傾向が続いている。その中で、どのように観光需要を増やしていくのか、運営体制の在り方などについても見直しを図る必要がある。	観光交流課	観光交流課
			(2)千曲ブランドの確立・維持・強化	94	●千曲市でしか味わうことができないもの、手に入りにくいものを開発・販売するとともに、既存商品(信州千曲ブランド・杏都ブランド等)の更なる磨き上げを行い、「商品」としての千曲ブランドを確立していきます。(総合戦略1-2②)	千曲ブランド創出事業	信州千曲ブランド認定品ガイドブック(2年ごと更新) ・市外用：9,000部作成 ・市内用：21,000部作成 ・作成したガイドブックの関係施設等への配布及び市内全校配布を行った。	b	見直し	これまでの取組に加え、新たな方向性や活動内容について、関係者による検討が必要と思われる。	観光交流課	観光交流課
			95	●地域の人々の手によって守られ、育まれてきた芸妓文化の保護・活用やあみ、織物の棚田、稲荷山重要伝統的建造物群、千曲川の景観保全などに努め、潜在的価値を引き出し、観光客から「選ばれる場所」としての千曲ブランドを確立します。	ロケツーリズム(ロケ地マップ・ロケ地看板の設置、あみずを使用したご当地グルメの開発。)	・ロケ地マップの作成3種類(R2) ・ロケ地看板の設置2箇所(R2) ・庁舎ロビーやガレリアにロケ支援作品ポスターや出演者のサイン・小道具などを展示し、PRを行った。 一施策とうまくリンクさせること	b	見直し	ロケツーリズムを活用したシティプロモーション事業は、信州千曲観光局が主体となって実施する。	観光交流課	観光交流課	

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
1-4「観光交流」訪れたいくなるまちを育てる	<ul style="list-style-type: none"> 観光事業者だけでなく、その他の事業者、団体、市民と連携し、「オール千曲」による「観光地域づくり」が推進されています。 大都市圏や外国からの観光客などが、新幹線新駅周辺を拠点に市内を回遊しています。 外国人観光客が増加するとともに、プロスポーツチームとの連携による新たな観光需要が創出されています。 	1-4-1 人を迎え、もてなす心とまちを育てる	(2) 千曲ブランドの確立・維持・強化	96	●「戸倉上山田温泉」の個性と魅力を認識し、ニーズに合わせた取組を創生することで、これからも生き残れる「温泉街」を目指します。	外国人観光客誘客 団体合宿(スポーツ、学習)の誘致	<ul style="list-style-type: none"> 長野県や北信濃観光連盟と連携し、旅行会社を相手に行う「旅行商品商談会」などでセールスを行った。 東南アジア台湾、香港、タイなどの親日国をターゲットに現地PR活動を行ったことが外国人旅行客の増加につながった。 団体合宿客についても、多くの旅館で積極的に受け入れを行っている。 ※上記はR1までの取組。R2は新型コロナウイルス感染拡大の影響により商談会や海外でのPR活動はできなかった。	b	継続	ウィズコロナ、アフターコロナにおける、新しい形態の誘客の取組が必要。観光局や旅館組合と連携し、行政として必要な新たな支援策の検討が必要と思われる。	観光交流課	観光交流課
				97	●市内を5つのエリアに分け、観光客や地域住民が散策、回遊の途中で千曲市の魅力に触れあえるスペースとして、「道の駅」や「観光ガイド拠点」、「エリアごとの拠点」の設置等を目指します。	日本遺産の認定、日本遺産センターの設置(R2)	既存の施設に加え、日本遺産に認定されたことにより、姨捨観光会館を日本遺産センターとして整備し設置。周辺ガイド、情報発信の拠点とした。	c	見直し	エリアごとの拠点等の新規施設の設置は不可能である。日本遺産センター、総合観光会館など既存の施設で広域的に行っていく。	観光交流課	観光交流課・総合政策課
			98	●観光客の利便性の向上や地域住民の新たなつながりやアイデアが創出される場所として、「既存の観光施設の機能向上」を図ります。	総合観光会館の指定管理委託(H31～)	指定管理を導入することで、年末年始以外は開館日として運営することで、千曲市の観光窓口として、また市民の集いの場としての役割を果たしており、利用者の利便性が向上した。	b	継続	引き続き利用者が快適に利用できるよう、指定管理者との連携を図る。	観光交流課	観光交流課	
			99	●観光客の移動における快適性を向上させるため、利用しやすさを重視した地域内交通のあり方を見直すとともに、必要な整備・充実を図ります。また、周遊を可能とするような二次交通について関係者との連携を図ります。	民間事業者によるMaaSの取組と、これを活用したワーケーション体験会の開催(産業振興課、信州千曲観光局)	<ul style="list-style-type: none"> R2年度 ワーケーション体験会4回開催 参加人数 107名(4回合計) 	c	継続	R3シェアサイクルの社会実験事業を実施予定、需要把握などの効果検証を行い、関係機関とシェアサイクルの本格導入に向けた検討を行う。	観光交流課	観光交流課・生活安全課	
			100	●観光の玄関口としての駅前空間から観光地まで伸びる商店街など、関係団体との協力・連携を図りながら、駅前から観光地までの周辺整備を目指します。	観光案内看板の設置	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進んでいた、表示内容が古くなった観光案内看板の見直しを行った。(大雲寺・観龍寺・姨捨駅前など) 	c	継続	設置場所の検討、老朽化対策、内容の見直し。	観光交流課	観光交流課・産業振興課	
		1-4-2 だれもが長い時間楽しく過ごせる、観光と交流のネットワークをつくる	(1) 誘客宣伝の充実	101	●5つに分けた市内の各エリアにある独自性の高い地域資源(姨捨の棚田・あんずの里等)にブランドストーリーや目を引くキャッチコピーを作成し、積極的なプロモーション活動を行います。(総合戦略2-1③)	千曲市観光パンフレットやポスターを作成し、各エリアをキャッチコピーを使って紹介	目を引くキャッチコピーを作成することで、各エリアの魅力を伝えることができた。	c	継続	コロナ禍では、直接現地を訪れることが難しい中で、いかに新鮮な情報を提供できるかが重要であり、そのツールとしてSNSをうまく活用する必要があるため、情報発信の方法について検討する。	観光交流課	観光交流課
			(2) 観光情報・観光案内の充実	102	●誰でもわかりやすく、見やすく訪れたいくなるようなホームページを観光推進組織(千曲市版DMO)と共に作成します。また、あらゆる情報ツールを活用し、常に新しい情報を発信します。	SNS等での情報発信	R2年度信州千曲観光局HPプレビュー数452,493 SNSへの記事投稿数714件 観光パンフレット(通年・季節)・ポスターの作成	b	継続	コロナ禍では、直接現地を訪れることが難しい中で、いかに新鮮な情報を提供できるかが重要であり、そのツールとしてSNSをうまく活用する必要があるため、情報発信の方法について検討する。	観光交流課	観光交流課
				103	●「観光ガイド拠点」「エリアごとの拠点」における人を媒体とした情報発信や観光大使などの任命と活用を図ります。	千曲市観光大使事業・信州プレイウォリアーズ・TommyCHO(H30～)	信州プレイウォリアーズ・・・選手の市内イベントへの参加、SNS、WEBでの千曲市観光PR、ホーム、アウェーゲームでの千曲市ブースの出店。 TommyCHO・・・市内外での演奏会を開催し、千曲市のPR活動を実施。	b	継続	今後も引き続き観光大使としての活動を続けてもらうと同時に、意義のある観光PR活動をしてもらえるよう、連携を図る。	観光交流課	観光交流課
			(3) 観光につなげるイベントの開催や受入れ体制の整備	104	●地域ごとに開催されている既存イベントを連結したプログラムの開発・実施に取り組むなど、新たな魅力の創出を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> クーポン・スタンプラリーの企画、実施。 観月文化を生かしたプログラムの企画、実施。 	<ul style="list-style-type: none"> イベント来場者へ市内各店舗への消費喚起を目的にクーポン製のチラシを作成。 各種団体による観月文化にちなんだ講演会やイベントを実施。 	c	見直し	既存イベントについてはここ数年自然災害やコロナにより、中止や規模縮小を余儀なくされているため、ウィズコロナ・アフターコロナでのイベントの在り方について検討する必要がある。	観光交流課	観光交流課
				105	●プロバスケットチームを軸にしたスポーツツーリズムの確立を目指し、市のイメージアップを図ります。(総合戦略2-2①)	シティープロモーション事業	<ul style="list-style-type: none"> 信濃毎日新聞など各種媒体への応援広告掲載を実施。 ユニフォームパンツやウォームアップシャツへの広告掲載を実施。 2019-20シーズン市内ホームゲーム平均入場者数：1767人(前シーズン比112%) 2020-21シーズンB1リーグに昇格。市内ホームゲーム平均入場者数1,381人(ことアリ5試合、収容定員の50%の制限あり) 	b	継続	B1昇格によりことぶきアリーナでのホームゲーム開催数は減るが、市内での宿泊につながるよう、アウェイゲーム会場でのPR活動等により誘客に努める。またB1昇格によりメディアへの露出が増えることから、広告掲載等による効果的な活用方法を検討する。	観光交流課	観光交流課・スポーツ振興課

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
1-4 【観光交流】訪れたいくなるまちを育てる	<ul style="list-style-type: none"> 観光事業者だけでなく、その他の事業者、団体、市民と連携し、「オール千曲」による「観光地域づくり」が推進されています。 大都市圏や外国からの観光客などが、新幹線新駅周辺を拠点に市内を回遊しています。 外国人観光客が増加するとともに、プロスポーツチームとの連携による新たな観光需要が創出されています。 	1-4-2 だれもが長い時間楽しく過ごせる、観光と交流のネットワークをつくる	(3) 観光につながるイベントの開催や受入れ体制の整備	106	●企業等の会議、企業等の行う報奨・研修旅行、国際機関・団体、学会等が行う国際会議、展示会・見本市、イベントなど多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントや合宿、トレーニングの市内施設の利用と宿泊をセットに受入れできる体制の整備を目指します。(総合戦略2-2①)	・インバウンド市場への新規開拓 ・合宿、研修の受け入れ	・台湾、東南アジア地域を中心に商談会・観光イベントへ参加。 ・台湾にて、千曲市観光大使(TommyCHO)を活用したPRを実施。 ・H28～教育旅行の受け入れ(延べ20校、820名) ・H28～小・中・高・大学の合宿受入(延べ26,200名)	c	継続	コロナ禍でインバウンド観光客は激減、合宿も大きく減少したため、ウィズコロナ・アフターコロナの受け入れ体制について検討する必要がある。	観光交流課	観光交流課
			(4) 快適、安全な観光地の創出	107	●観光客が求めているものを把握のうえ、新たな観光施設の整備を目指します。	市民、事業者、宿泊者を対象に観光に関する意識調査を実施	市内観光地等の認知度、観光に関する意識等把握することができた。	c	見直し	調査結果については、今後策定する観光振興計画に反映させていく。新たな施設を整備する前に、役割を果たした既存の施設の地元への譲渡などの管理体制の見直しを第一に進めていくべき。	観光交流課	観光交流課
				108	●情報ネットワーク環境の整備に努め、情報取得における快適性の向上を図ります。(総合戦略2-2③)	千曲市観光施設無線LAN整備事業	市内6カ所の施設(あんずの里観光会館・屋代駅観光案内所・稲荷山宿蔵し館・姨捨観光会館・上山田中央公園・姨捨駅)へ公共無線LANを設置することで、快適性の向上が図られた。また災害時の避難拠点としての役割も強化することができた。	b	継続	利用頻度や利用形態などを分析し、利用者のニーズに沿った運用を検討する。	観光交流課	観光交流課・情報政策課
				109	●オール千曲として市内全域をカバーし、個々の体験型プログラムに関連性を持たせる仕掛けづくりを行います。(総合戦略2-2②)	信州千曲観光局による、着地型体験型プログラム造成	R2年度は着地型体験商品9件を企画。新型コロナウイルスの影響で中止となったものもあり、合計参加人数は117人とどまった。	c	見直し	現状の商品だけでなく、新たな魅力ある体験型商品の開発が必要。	観光交流課	観光交流課
			(5) 滞在型・体験型観光の推進	110	●地域との交流プログラム(健康や自然がテーマ)を開発します。(総合戦略2-2②)	信州千曲観光局による、プログラムの企画・実施	・七福神外湯めぐりスタンプラリー。 ・千曲ラン&ウォーキング。 ・姨捨観光会館(現日本遺産センター)の観光案内に地元観光ガイド団体を配置。 ・ろくもん・四季島利用客への観光案内。 ・楽知会での観光ガイド。 ・おばすてくつろぎの駅の開所。	b	継続	既存のプログラムの他に、令和2年に日本遺産に認定されたことを生かして、新たなプログラムを創出する。	観光交流課	観光交流課・健康推進課
				111	●グリーンツーリズムやエコツーリズムを促進します。(総合戦略2-2②)	信州千曲観光局によるプログラムの企画・実施	・あんず収穫体験、あんずジャム・シロップづくり ・姨捨夜景ツアーの実施。 ・智識寺特別拝観実施。 ・座禅・寺ヨガの実施。 ・姨捨ナイトバイクの実施。	c	継続	既存の商品だけでなく、新たな魅力ある体験型商品の開発が必要。	観光交流課	観光交流課・農林課・環境課
			(6) 「おもてなしの心」の醸成	112	●観光関連団体、行政、市民一人ひとりが千曲市の魅力を再認識し、親切な道案内やハンディキャップをもった人へのサポートなど、観光客を温かく迎えるための対応ができるよう、おもてなしの心を醸成するための講習会を開催し、おもてなし意識のレベルアップを図ります。	千曲市を楽しく知る講座の開催	ボランティアガイド「楽知会」によるガイド養成講座の実施。R2は14名参加。	b	継続	「月の都 千曲」が日本遺産に認定されたことを観光面で生かしていくために、講座を通して関心を高める。	観光交流課	観光交流課
				113	●観光ニーズを的確に調査・分析・判断し、今まで千曲市に訪れたことのない顧客層への積極的なアプローチを行います。	信州千曲観光局による旅行商品造成	女性や親子をターゲットにしたイベントの開発を行い、女子旅を提案し、有料モニター4名が応募(R1)	c	継続	ターゲットを絞ったイベントにも需要が一定割合あるため、そのようなイベントを企画して集客に繋げる。	観光交流課	観光交流課
			(7) 広域観光・国際観光の推進	114	●北陸新幹線の敦賀延伸・新幹線新駅設置を見据え、JRやしなの鉄道、隣接地域・県外と連携を強化するなど、広域観光の推進を図ります。(総合戦略1-2②)	しなの鉄道沿線観光協議会 新幹線上田駅観光案内所運営委員会 JR、しなの鉄道、観光局、市による4者会議の開催	鉄道沿線自治体と連携し、観光情報の発信を行う。 しなの鉄道観光列車「ろくもん」、JR東日本による寝台観光列車「四季島」のおもてなしを行い、連携した取り組みを行った。	b	継続	今後も各団体と連携を図りながら、観光PRを行う。	観光交流課	観光交流課・総合政策課
				115	●外国人観光客に対する適切な情報発信、情報提供を行い、インバウンド市場の新規開拓を目指します。(総合戦略1-2②)	海外の商談会やイベントへの参加	H29(8,517人)、H30(9,072人)と外国人観光客数は増加傾向にあったが、R1(8,871人)は東日本台風、R2は新型コロナウイルスの影響もあり、外国人観光客数は減少。	c	継続	ウィズコロナ、アフターコロナにおける、外国人観光客の受け入れ体制の検討をする。	観光交流課	観光交流課

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課			
1-5 【雇用】 安定した雇用を創出する	<ul style="list-style-type: none"> 地域の個性や実情を踏まえた産業の振興が図られ、多様な雇用の機会が提供されています。 雇用増や産業の活性化にともない、地域経済が安定して人口減少傾向が抑制されています。 	1-5-1 企業・産業人材の誘致、採用・就労の拡大による雇用の創出	(1) 工場等の立地推進	116	●地域特性や強み、企業動向を把握した調整担当者（コーディネーター）の派遣による工場等の誘致を推進します。また、用地取得（賃借）、工場設置、空き建物活用、新規雇用等にかかる補助を行います。（総合戦略1-1①）	企業立地推進幹の配置 千曲市商工業振興条例に基づく補助事業	企業立地推進幹1名等を配置して工場棟の誘致を推進した。補助も行った。各種補助金の認定状況（H29以降新規分）：43件209,931千円	a	継続	効率的かつ正確な情報収集	産業振興課	産業振興課			
			(2) 企業及び政府関係機関の地方移転	117	●首都圏所在企業の本社機能の誘致促進のほか、政府関係機関の誘致を促進します。（総合戦略1-2②）	長野県（東京事務所を含む）及び関係団体との連携	長野県（東京事務所を含む）及び関係団体との連携して取り組んだが誘致には至らなかった	c	継続	効率的かつ正確な情報収集	産業振興課	産業振興課			
			(3) 産業人材の結びつけ（マッチング）と誘致	118	●市内企業経営者の右腕となる首都圏の人材確保の支援を進めます。（総合戦略1-4④）	<ul style="list-style-type: none"> 長野県プロフェッショナル人材戦略拠点の活用・連携/（一財）長野県経営者協会 （県）プロ人材就業補助金の創設 	（一社）経営者協会が人材マッチングをサポートする仕組みを創設し、県でプロ人材就業補助金を創設、単独自治体ではなしえなかった事業実施された。	b	継続	支援団体と連携してまいります。	産業振興課	産業振興課			
			(4) 大学等の活用	119	●学生へ市内企業の情報提供を行い、就職支援を行います。（総合戦略2-4②）	<ul style="list-style-type: none"> Webサイト「おしごとながの」開設 長野地域UIターン就職促進事業 	「おしごとながの」は市内34社が登録、就職説明会などを多数共催し就業を支援した	a	継続	様々なメディアなどを使い機会を設けてまいります。	産業振興課	産業振興課			
		1-5-2 若い世代の経済的安定	(1) 若者・子育て世代への就労・創業支援	120	●おしごとながの（長野市が運営する人と企業の結びつけ（マッチング）WEBサイト）を活用した就労支援を進めます。（総合戦略1-3①）	職場体験実習生（インターン）受入れ企業のPRと受入れ補助と企業見学バスツアー開催	行政が関与するWeb求人情報サイトに登録する企業は、信用が高く長野地域に住む保護者から高い評価がある。「おしごとながの」は市内34社が登録して就労支援をしている	a	継続	求人情報等は有効な広報手段であるため拡充します。	産業振興課	産業振興課			
			(2) UIターン受け入れ企業及び事業者への経済的支援	121	●就労相談や、産業界のニーズに対応した技能向上（スキルアップ）講座の開催、創業支援（補助・アドバイス）を進めます。（総合戦略1-3①）	<ul style="list-style-type: none"> 公共職業訓練、長野地域職業訓練の各種講座、資格取得の開催 女性のためのワーク・ライフプロジェクトの実施 	パソコン会計実務、介護職、電気設備技術など様々な講習・訓練を開催しています。市報などを通し周知を行っている	b	継続	今後も、公共就業訓練「ハローワーク」と連携します。	産業振興課	産業振興課			
				122	●県外からの転入者を雇用する企業への補助や、県外から転入した事業者への補助（奨学金の優遇制度）を進めます。（総合戦略1-3②）	UIターン向け奨学金優遇制度事業	・就業者にも様々な理由等があることから、県外出身者の採用という理由での支援は困難。	c	見直し	UIターン受け入れにつきましては、企業説明会、インターンシップなど拡充し企業の採用支援を行います。	産業振興課	産業振興課・教育総務課			
			(3) 非正規雇用の解消	123	●非正規雇用者の正社員化を進めます。（総合戦略1-3③）	<ul style="list-style-type: none"> 若者・子育て世代の就労相談 身近な就労相談所「ふるさとハローワーク」の活用 （県）女性就業支援員との連携・活用 ジョブカフェ信州（若年者就労サポートセンター）の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 若者・子育て世代の就労相談を開催したが応募がなかった。 労働局でないと非正規雇用は把握できないことから、引き続き連携しながら解消する。 	c	見直し	「非正規雇用」の問題は、原則、労働局が所管することから、相談等があった場合は円滑に案内します。	産業振興課	産業振興課			
			1-6 【移住・定住】 住んでみたい、住み続けたいまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然や美しい風景が守られ、歴史や地域文化が息づいています。 千曲市の魅力が県内外に知られ、千曲市の強みを生かした新しい産業の創出や企業立地が進んでいます。 若者が各分野で地域の産業を支え、雇用の場が確保されています。 市内の若者やUIターン者が定住し、地域コミュニティの核となって市民の歴史・文化・生活を守り、育てています。 	1-6-1 さまざまな分野で活躍できるしくみを整える	(1) 若者の移住・定住環境の整備	124	●生活環境・子育て環境・住環境・雇用環境の改善を図り、豊かな自然環境の中で、いきいきと暮らしていくことができる魅力を発信して、選ばれる千曲市を創出します。（総合戦略2-1①②）	移住定住促進事業	「おいでよ 千曲市へ」更新	b	継続	移住・定住環境の整備という観点から、単課ではなく全庁的な取組みが必要と思われる。	観光交流課	観光交流課・産業振興課・総合政策課
						(2) 若手起業家の支援	125	●若手起業家を支援する制度を活用し、研修や情報提供などの取組を充実します。	<ul style="list-style-type: none"> ちくま創業サポートデスクの活用 商工団体が開催する「創業スクール」などの活用 長野信用金庫との地域活力増進に向けた連携 	<ul style="list-style-type: none"> ちくま創業サポートデスクで創業・起業の相談を受けますが、相談は不動産、雇用、許認可、融資など多岐に渡ることから、商工団体で実施している「創業スクール」を紹介している。 	b	継続	引き続き、充実するよう取り組みます。	産業振興課	産業振興課
1-6-2 移住・定住を支援する体制を整える	(1) 情報発信拠点の設置	126			●県や連携中核都市圏との連携による移住希望者向けの情報発信を行い、ワンストップの移住相談窓口を設置して移住のサポートを行います。	移住定住促進事業	<ul style="list-style-type: none"> 楽園信州移住セミナー：3回（R2） 連携中核移住定住相談会：3回（R2） UIターン就業・創業移住支援事業（R2まで実績なし） 県や他の自治体と連携し、相談会を実施した。 	b	継続	<ul style="list-style-type: none"> オンラインによる移住相談会開催の検討。 情報発信や独自の相談会開催、そのための取組（資料・動画作成等）、ワンストップの窓口設置を推進していくには、それなりの人員配置が必要と思われる。 	観光交流課	総合政策課・観光交流課			
		127			●行政所管の医療、子育て、交通、住宅などの生活関連情報やハローワークや民間事業者との連携による就労斡旋情報等を移住に関するシティ・プロモーション情報として発信します。（総合戦略2-1①）	シティプロモーション事業	<ul style="list-style-type: none"> 県や連携中核都市圏において当市の情報発信は行ってきたが、シティプロモーション事業としては、生活関連・就労関連の情報発信は未実施。 	c	見直し	生活関連情報・就労斡旋情報等の発信には、単課ではなく全庁的な取組みが必要と思われる。	観光交流課	観光交流課・産業振興課			
	(2) 環境整備の促進	128			●移住希望者への住居提供のため、空き家バンクへの物件登録を進めます。（総合戦略2-3①）	千曲市空き家バンク事業	事業開始から令和3年4月末時点で63件の登録があり、38件が成約となった。	b	継続	今後も空家等の有効活用を促進していくため、事業を推進する仕組みを継続していく。	建設課	建設課・観光交流課			
		129			●住宅・雇用・就農・子育て等、移住希望者の受け皿となる事業を政策間連携で結びつけ、移住促進策として魅力ある環境を整えます。（総合戦略2-3①）	移住定住促進事業	各担当課において施策を実施しているが、政策間連携による環境整備は未実施。	c	見直し	移住促進策として、様々な面での環境整備の促進という観点から、単課ではなく全庁的な取組みが必要と思われる。	観光交流課	観光交流課			
		130			●市民霊園の充実と適正な維持管理を図ります。	令和2年度市民霊園管理事業	桑原振興会に委託し、霊園の管理を行っている。利用者が気持ちよく利用できている。	a	継続	需要があれば拡張する。また既存施設の老朽化に対応していくべきである。	環境課	環境課			

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目 (A)	施策の内容 (B)	管理番号	具体的施策	主要事業 (年度・事業名)	実施結果・成果 (数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題 (次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課	
2 安心して子育てができ、のびやかに育ち学べるまち													
2-1 「子育て」「千曲っ子」を元気に生み育てられる環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 地域や社会で子育ての支援体制が整備されています。 子育ては楽しい、子どもを生んで良かったと実感できる社会が実現されています。 女性も男性も働きやすく、仕事と家庭の両立できる社会環境が整備されています。 子育て支援の充実のため、子育て支援センターや保育園・児童センター(児童館)などの環境整備がされています。 子育てについての悩みや不安を解決できる場や機会が整っています。 家庭や地域において子育てに対する理解を共有でき、積極的な声かけや支援が行われています。 病気やけがのときに安心してかかれる医療体制が確保されています。 	2-1-1 安心して子育てができる環境をつくる	(1) 地域における子育ての推進	131	●「子ども育成条例」に基づき、地域をはじめ、社会全体で子育てを支え合う意識の醸成に努めます。	子どもの居場所づくり支援事業 ファミリーサポート事業	子どもの居場所づくり支援事業を活用した「子ども食堂」の開催など地域・社会と関わりを持つ活動の支援を実施。	b	継続	安心して利用できる居場所として、実施団体(地域)と保護者・子どもの信頼関係の構築	こども未来課	こども未来課・保育課・教育総務課	
				132	●「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育てに関する相談・助言をはじめとする支援事業を地域とともに推進します。(総合戦略3-1③)	マタニティタクシー利用料金助成事業 赤ちゃんサービスエリア(SA)の登録と整備費補助 子育て支援センター運営	マタニティタクシー: 利用者率20.2% 赤ちゃんSA: 26施設登録済 支援センター相談件数: 380件/年	b	継続	マタニティタクシー券の利用促進に向けたアンケート実施など、他の事業も含め、実態を調査し把握したうえで効果的に子育て支援につながるよう事業内容の見直し・改善を図る。	こども未来課	こども未来課・保育課	
				133	●仕事と子育てや家庭生活との両立によって、安心して子育てができるよう保育園での一時預かりや宿泊・夜間保育など、保護者のニーズに応じたサービスを提供します。(総合戦略3-1③)	園長保育事業・一時預かり事業・日曜保育事業・トワイライト事業	保護者のニーズに応え、仕事と家庭の両立を支援できている。 R2実績 延長保育 延べ 16,340人 一時預かり 延べ 475人 日曜保育 延べ 41人	b	継続	今後も引き続き実施する。夜間保育・休日保育についてはこども未来課と連携を取りながらトワイライト事業を推進する。	保育課	こども未来課・保育課	
				134	●保育園・子育て支援センター・病児病後児保育室など子育て支援施設の整備・充実を図ります。(総合戦略3-1③)	病児保育事業	H29.1月より長野広域圏内(長野市、須坂市、飯綱町)の病児・病後児施設の利用が可能となり、登録者数は年々増加している。	b	継続	より利用しやすい施設の実現に向け、設備等の充実を図ると共に、事業の周知を強化する。	こども未来課	こども未来課・保育課	
				135	●保育園・子育て支援センター・児童センター(児童館)などを子育て支援の拠点施設として、子育て支援や育児相談の充実を図ります。(総合戦略3-3③)	ファミリー・サポート・センター事業 放課後児童健全育成事業	拠点施設としての役割を果たすと共に、身近な存在として子育て支援や育児相談を実施した。	b	継続	より充実した支援を実現するための施設整備や運営方法の改善を図る。	こども未来課	こども未来課・保育課	
				136	●障がい児をもつ親の支援として、母子通園訓練施設などの充実を図ります。	心身障害児母子通園訓練事業(あすなろ園)	実施結果 開園期間 週5日(月～金) 在籍園児数 9人(令和3年3月31日現在) 年間実利用園児数 11人 成果 専門的な視点で、お子さんの発達に合わせて適切な支援を提供。社会の中で生きていくうえでの必要なスキルを学ぶために、医療と保育を合わせて提供するとともに、保護者への相談等も実施。	a	継続	継続して事業を実施できるように、人材確保について検討が必要。建物の老朽化への適切な対応が必要。	福祉課	福祉課・こども未来課	
			(3) 結婚希望の実現支援	137	●社協が運営する「結婚相談所」や企業、団体などと連携し、市民の婚活を支援します。(総合戦略3-1④)	婚活支援事業 結婚新生活支援事業	婚活事業に対する負担金の支援するとともに、イベント開催時に連携を図った。	b	継続	婚活支援活動への企業や団体の関わり方を研究すると共に、登録者の増加に向けた対策を図る。	こども未来課	こども未来課	
				138	●結婚相談員の育成を図るため、講習会の開催や経費の助成を行います。(総合戦略3-1④)	婚活支援事業	相談支援のポイントなどを課題とした結婚相談員研修を実施(1回)	b	継続	社会福祉協議会と連携し、結婚相談事業の拡充を図る。	こども未来課	こども未来課	
			(4) 結婚から妊娠・出産・子育てに渡る切れ目ない支援	139	●結婚から子育てに至る相談等に対応できる「ワンストップ拠点(千曲市版ネウボラ)」を設置し、相談者の生活過程に応じた適切な支援を行います。(総合戦略3-1①)	令和元年度 子育て世代包括支援センター設置	母子保健コーディネーター、子育てコーディネーターを配置し、妊娠から子育て期にわたる切れ目ない支援を行う子育て世代包括支援センター(「ワンストップ拠点(千曲市版ネウボラ)」)を設置した。関係機関との連携により、適切な支援やサービスの提供に努めている。	a	見直し	「ワンストップ拠点(千曲市版ネウボラ)」=子育て世代包括支援センターの設置については、計画達成として区切りをつけたい。今後は、子どもから若者に関わる庁内関係部署の切れ目ない支援体制や連携の仕組みづくりの推進が課題。	こども未来課	こども未来課・健康推進課	
			2-1-2 子育て家庭を支援する	(1) 子育てに関する相談サービスと母子保健の充実	140	●乳児への訪問時を利用し、育児に対する不安・負担解消につながる取組によって母親の子育てを支援します。	赤ちゃん訪問	母子保健施策と子育て支援施策との一体的な提供を通じて妊産婦及び乳幼児の健康保持増進に関する包括的な支援を行い、妊娠から安心して子供を産み育てることができるよう切れ目ない支援を行った 対象児数 346名 実施数 335名 実施率96.8	a	継続	今後も提供していく	健康推進課	健康推進課
					141	●子どもへの虐待防止を図るため、関係機関と連携し、相談窓口の充実を図ります。	令和元年度 子ども家庭総合支援拠点設置	専門職の配置等により家庭児童相談支援体制の強化を図った。また、子育て世代包括支援センターとの連携会議の開催により、養育支援が必要と思われるご家庭への早期からの支援に努めている。	a	継続	複雑化、多様化する相談内容に迅速に対応するため、引き続き、相談支援体制の充実や関係機関との連携強化を推進する。	こども未来課	こども未来課・健康推進課・保育課
					142	●子育てに関する情報を一元化し、子育て世代への情報提供に努めます。(総合戦略3-3①②③)	千曲市子育てガイドブック発行 千曲市子育て応援アプリ配信	子育て支援サービスの内容や相談窓口をまとめた「子育てガイドブック」を発行。	b	継続	利用者の反応や、常に内容を見直し、よりニーズに合ったガイドブックを作成する。	こども未来課	こども未来課・健康推進課・保育課

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
2-1-1【子育て】「千曲っ子」を元気に生み育てられる環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 地域や社会で子育ての支援体制が整備されています。 子育ては楽しい、子どもを生んで良かったと実感できる社会が実現されています。 女性も男性も働きやすく、仕事と家庭の両立できる社会環境が整備されています。 子育て支援の充実のため、子育て支援センターや保育園・児童センター(児童館)などの環境整備がされています。 子育てについての悩みや不安を解決できる場や機会が整っています。 家庭や地域において子育てに対する理解を共有でき、積極的な声かけや支援が行われています。 病気やけがのときに安心してかかれる医療体制が確保されています。 	2-1-2 子育て家庭を支援する	(1) 子育てに関する相談サービスと母子保健の充実	143	●妊婦健康教室・乳幼児健康診査・家庭訪問・育児相談等母子保健事業の充実を図り、子育て家庭の健康づくりを支援します。(総合戦略3-1②③)	たまご教室・乳幼児健康診査・育児相談	母子保健施策と子育て支援施策との一体的な提供を通じて妊産婦及び乳幼児の健康保持増進に関する包括的な支援を行い、妊娠から安心して子供を産み育てることができるよう切れ目のない支援を行った。たまご教室 計14回 78名参加 乳幼児健康診査 受診率 98.9% 家庭訪問・育児相談等訪問事業 1,154名	a	継続	今後も提供していく	健康推進課	こども未来課・健康推進課
				144	●歯周病リスクが高まると言われる妊娠中の方に妊婦歯科検診・歯周病検診を実施します。	妊婦歯周疾患検診	妊娠中は歯周疾患が進行しやすいため本検診を継続実施した。妊娠中に疾患を治療し、出産後の赤ちゃんへの歯の感染を予防する。対象者347名、受診者112名	a	継続	今後も提供していく	健康推進課	健康推進課
			145	●保育料の軽減に努めます。(総合戦略3-2①)	第2期千曲市子ども・子育て支援事業計画	令和2年度多子世帯保育料減免20名(4,418,200円)	b	継続	軽減措置を継続する	保育課	保育課	
			146	●児童を養育している家庭に児童手当を、子どもを養育しているひとり親家庭に児童扶養手当を、重度の身体又は知的の障がいがある子どもを養育している父母などに特別児童扶養手当を支給します。	児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当給付事業	各手当の給付により、金銭的支援を実施した	a	継続	制度の周知により金銭的支援の実現を図る。	こども未来課	こども未来課・福祉課	
			147	●経済的な困窮が次世代に連鎖しないよう、ひとり親家庭などの子どもを対象とした学習支援や子ども食堂など、居場所づくりに取り組みます。	子どもの居場所づくり支援事業	民間4団体による活動を支援し、学習支援・食事の提供を通じて、子どもの居場所づくりに取り組んだ。	b	継続	事業の周知を強化し、活動団体の拡充と利用者の増加を図る。	こども未来課	こども未来課・福祉課	
			148	●子育て世代や若者世代が親の支援を受けながら子育てができるよう三世同居や近居に係る支援を行います。(総合戦略3-2②)	千曲市三世同居近居促進事業	H29年度からR2年度 交付実績 130件	b	完了	申請者にアンケート調査を実施した結果、本事業を目的に三世同居近居を開始したと回答した人は約6%であり、本制度が三世同居近居の促進の直接的動機には至っていないと分析できる。	建設課	こども未来課・建設課	
			149	●子育て世帯の経済的な安定を図るため、住宅取得に対する支援を行います。(総合戦略3-2②③)	千曲市三世同居近居促進事業	H29年度からR2年度 交付実績 130件	b	完了	申請者にアンケート調査を実施した結果、本事業を目的に三世同居近居を開始したと回答した人は約6%であり、本制度が三世同居近居の促進の直接的動機には至っていないと分析できる。	建設課	こども未来課・建設課	
			150	●経済負担の軽減を図るため、福祉医療制度の充実に努めます。	福祉医療費給付	R2年度 支給総額 314,388,199円 うち乳幼児支給額 100,582,445円	b	継続	今後も継続していく	健康推進課	こども未来課・健康推進課・保育課	
			(3) 食を通じた心と体づくりの推進	151	●乳幼児健康診査・育児相談等において子どもの発達段階に応じた「食」についての学習や情報提供を行い、子どもの心とからだの健やかな成長・発達を支援します。	乳幼児健康診査・育児相談	乳幼児健康診査受診者数2,045名 育児相談延 333名	a	継続	引き続き子どもの成長・発達に応じた適切な食事について情報提供を行い、子どもの心と体の健やかな成長発達を支援する。	健康推進課	こども未来課・健康推進課
			(4) 妊娠・出産支援の充実	152	●産科医療機関や助産師と連携し、安心して出産ができる医療環境の充実に努めます。	医療機関からの連絡票	年間 妊婦11件、産婦75件 (R2)	a	継続	医療機関での妊婦健診等から、直接妊産婦の状況を把握し、切れ目のない支援につなげる。	健康推進課	健康推進課
				153	●不妊治療助成事業により不妊治療を行っている夫婦の経済的負担を軽減します。(総合戦略3-1②)	不妊治療助成金交付事業	不妊治療助成件数 33件	a	見直し	不妊治療を行っている夫婦の経済的負担の軽減を目指す。保険適用になった場合事業の在り方について見直していく	健康推進課	健康推進課
				154	●国民健康保険被保険者が出産したときは、出産育児一時金を支給します。	出産育児一時金支給	R2年度 支給実績 404,000円×2件＝808,000円 420,000円×23件＝9,660,000円	a	継続	継続した支給	健康推進課	健康推進課
				155	●妊婦の生活と出産時の負担を軽減するための支援を行います。(総合戦略3-1③)	産後ケア事業	訪問 66件、延べ110名	a	継続	産婦の不安負担の解消のため、継続して実施。	健康推進課	健康推進課

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
2-2「教育」子どもがのびやかに育ち、生きる力を育む環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 安全で快適な教育環境の中、学校・家庭・地域等の連携により、いきいきと活気あふれる教育が行われ、ふるさとに誇りと愛情を抱き、地域を大切に思う子どもたち、他をも思いやるあたたかい心をもつ子どもたちが育っています。 環境浄化活動、非行防止活動、生活相談活動などにより、青少年が安心して育つ環境が確保されています。 青少年の居場所が確保され、自然体験及びボランティアなどに意欲的に参加し、集団活動を通して社会性を身につけています。 栄養バランスの取れた安全な学校給食が提供され、家庭では、規則正しい食習慣が定着しています。 	2-2-1 子どもたちみんなが楽しく学べる学校をつくる	(1) 基礎学力の向上	156	●「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた生きる力を育成するため、指導体制の充実、教員の資質向上や学校支援体制の整備を図ります。	特色ある学校づくり等事業	各校における「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた生きる力の育成を支えるため交付金を交付し教育活動を支援した。	a	継続	各校の特色を尊重し引き続き取り組んでいく。	教育総務課	教育総務課
				157	●幼保小中の連携の強化を図るとともに、「小中一貫教育」に関して調査研究を進めます。	幼保小中の連携	生まれてから中学校卒業まで相談事業を中心に福祉課・こども未来課・保育課・教育委員会の連携を図り、情報を共有できるようになってきた。	c	継続	小中一貫教育に関して、県レベルでR3から少しづつ取り組んでいる。引き続き調査研究を行う。	教育総務課	教育総務課
				158	●外国語教育の充実と自国文化や異国文化への理解を深めます。	外国語指導助手招致事業	令和2年度からの小学校の外国語科の教科化に向けてALTを増員しきめ細かな対応を実施した。	a	継続	R2から始まった小学校の外国語学習への課題の洗い出しと解決への取り組みを行い、中学への学習へつながるよう、共有を行っていく。	教育総務課	教育総務課
				159	●ICTを効果的に活用し、情報活用能力の向上とICT教育の充実を図ります。	情報教育センター運営事業	H30に策定した「千曲市学校教育情報化推進計画」をR1.10に改定し、タブレット3クラスに1台から1人1台への仕組みを整え、1人1台端末を購入した。	a	継続	教職員間の差がなくなるようなスキルアップの機会と小集団で回数を多く重ねた研修を行えるような仕組みと持ち帰りへのガイドライン等のしくみづくりを構築する。	教育総務課	教育総務課
				160	●子どもたちの社会的・職業的自立に向け、キャリア教育の推進を図ります。(総合戦略2-5②)	キャリア教育推進事業	R1まで中学校は、市内各事業所の協力のもと直接現場に出向いて職場体験を行い、自分の将来への希望と自己肯定感を育む取り組みを行ってきた。R2はコロナ感染拡大により、オンラインで複数の事業所の状況を話してもらったり、校内ハローワークで少数で複数の事業所の人と体育館等で話をする工夫をした。また小学校1年生にはキャリアパスポートを配布した。	a	継続	コロナ禍では、以前のような職場体験ができないことから各中学校では工夫をして行っている。自己肯定感を育むような取り組みを試行錯誤しながら行う必要がある。	教育総務課	教育総務課
				161	●豊かな感性と想像力等を高めるため、読書活動の充実を図ります。	①毎年度 読書環境の整備 ②毎年度 図書資料の充実	①図書館日より(年間4回発行)や、週1回のおはなし会、市ホームページ等を通じて読書活動の啓発を行った。 ②子どもの興味がわく選書を行うことにより、子どもの読書に対する意識が向上した。市立3図書館で児童図書を3,518点購入した。	b	継続	事業継続 第3次計画がスタートしたばかりだが、世代ニーズに合わせ計画は随時見直しを行っていく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課・教育総務課
			(2) 豊かな心・健やかな体の育成	162	●児童生徒の健康の保持増進、体力・運動能力を向上させる取組を進めます。	体力テストと医師による定期健診	定期的に行われる体力テストで全国・全県と比較して課題を解決してきた。定期健診については、学校医の指導と家庭の連携のもと児童生徒の健康保持に取り組んできた。	a	継続	体力増加への取り組みを引き続き行う。健康保持については、学校医と連携して場にあった対策を立てて取り組む。	教育総務課	教育総務課
				163	●道徳教育、人権教育の充実を図ります。	学校での人権教育の推進	コロナ前は道徳や大人数で人権教育を行ってきた。R2は通常の教科の中で指導を行ってきた。	b	継続	引き続き状況をみて通常の教科に含み取り組んでいく	教育総務課	教育総務課・人権男女共同参画課
				164	●「ふるさと」に誇りを抱く教育の推進を図ります。(総合戦略2-5③)	【協働事業】H28開始「ふるさと物語の集い」事業	R1までに4回2~3小学校単位で開催してきた。観客500人以上見守る中、地域の歴史や文化の勉強の結果を発表し好評を得た。	a	見直し	R2はコロナウイルス拡大防止のため中止した。R3は戸倉小・更級小の発表の予定をもって終了する。その後については実行委員会と相談して方向性を決めていく。	教育総務課	教育総務課
				165	●児童生徒の不登校やいじめなどの問題行動等に幅広く対処するため、教育相談体制の充実を図ります。(総合戦略2-5①)	不登校対策事業	「新たに不登校を生まない」という目標のもと平均年3回の不登校対策委員会を開催し、市全体で対策を考え共有した。教育相談への相談件数も増加傾向にあり、コロナ感染拡大防止のための休校後、全県全国的に小中学校とも不登校率が上昇した。	c	継続	他の自治体の状況も検証し、環境整備を行う。また、コロナ感染拡大の休校後、県や全国をみても人数が急激に増加している。不登校も多様化しており、目標数値やカウントの仕方の見直しが必要と思われる。	教育総務課	教育総務課
				166	●乳幼児期からの相談支援体制の整備を図るとともに、障がいのある児童生徒一人ひとりにあった適切な相談・支援体制の充実を図ります。	相談関係連携	生まれてから中学校卒業まで相談事業を中心に福祉課・こども未来課・保育課・教育委員会の連携を図り、情報を共有できるようになってきた。	b	継続	保育園年中までの保育相談員をR3~配置した。小さい単位で短時間で打合せできる機会を設け、共有と連携を行う。	教育総務課	教育総務課・こども未来課
				167	●副学籍による、地域の子どもが共に学び共に育つ共生の場を推進します。(総合戦略2-5①)	H29 副学籍による交流及び共同学習	4年目になったが、コロナ前は学校行事だけでなく、地域へも参画できるよう理解をしていただくため区長会等に話した。	a	継続	R2は地域への行事参加を積極的に推進することはできなかったが、学校行事だけでなく、地域への行事へ参画できるよう特別支援学校や小中学校だけでなく、区など機会を見つけて周知していく。	教育総務課	教育総務課

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
2-2「教育」子どもがのびやかに育ち、生きる力を育む環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 安全で快適な教育環境の中、学校・家庭・地域等の連携により、いきいきと活気あふれる教育が行われ、ふるさとに誇りと愛情を抱き、地域を大切に思う子どもたち、他をも思いやるあたたかい心をもつ子どもたちが育っています。 環境浄化活動、非行防止活動、生活相談活動などにより、青少年が安心して育つ環境が確保されています。 青少年の居場所が確保され、自然体験及びボランティアなどに意欲的に参加し、集団活動を通して社会性を身につけています。 栄養バランスの取れた安全な学校給食が提供され、家庭では、規則正しい食習慣が定着しています。 	2-2-1 子どもたちみんなが楽しく学べる学校をつくる	(3) 教育環境の整備・充実	168	●児童生徒が、いきいきと学習や生活ができる、安全で快適な教育環境づくりを進めます。(総合戦略2-5②)	魅力ある授業、教育機器の活用、小学校における英語活動の充実、支援の充実など	デジタル教科書活用の視覚によるわかりやすい授業のほか、R2からの英語学習の全面実施になる前のR1からALTによる英語学習を行った。また、特別支援教育支援員の配置増加による授業の円滑な運用ができたほか、LD通級教室のサテライト教室を増設し、よりこまめに対応できる環境を整えた。	a	継続	1人1台端末の学習者のデジタル教科書の活用など、1人1台端末を活用した魅力ある授業を模索していく。	教育総務課	教育総務課
				169	●安全で安心な学習環境を確保するため、学校管理体制の整備や防犯教育、施設整備・設備の充実、教職員などの危機管理意識の向上に努めます。	安心安全のための整備と教職員の危機管理意識向上	従来から行ってきた避難訓練のほか、すでに防犯のため刺候やカラーボールを設置し使用方法の研修を各校で行っている。また防犯ブザーを小学校新1年生に配布している	a	継続	全小中学校が避難所として避難グッズが設置されていることから、教職員とその後は児童生徒にも段ボールベッドなどの組み立て方を講習することで危機管理意識の向上を図っていく。	教育総務課	教育総務課
				170	●人材の育成や産業の振興、若年人口の交流と定着を図るため、高等教育機関の誘致を検討します。	R1年度 市と高等教育機関との連携事業調査	庁内における高等教育機関との連携事業を整理したが、具体的な調査は進まず。高等教育機関より進出・調査等の申し出はない。	d	見直し	今後、更なる少子化の時代において、高等教育機関の誘致の必要性を見極めながら、誘致について検討は続けていく。	総合政策課	総合政策課・教育総務課
				171	●県立中高一貫校の市内開設等にもない中高の連携を進めるとともに、市内の県立高校の存続と充実を県へ働きかけます。	令和元年 旧第4通学区「高校の将来像を考える地域の協議会」発足	旧第4通学区「高校の将来像を考える地域の協議会」において、県に対して、存続のための働きかけを行ってきた。また、「屋代南高校を発展させる会」においても、県への具体的な提言や要請を示した基本方針を確定させた。	b	廃止	旧第4通学区「高校の将来像を考える地域の協議会」は、R3.7.29をもって、全8回の協議会としての活動が終了した。また、「屋代南高校を発展させる会」は、今後、基本方針をもとに、提言書の提出等を県へ働きかけていく。	教育総務課	教育総務課
				172	●教職員に対する教育環境整備に努めます。	学習支援員配置事業	特別教育支援員配置や講師等のチームティーチングにより、担任任せや教科担任のみによらない環境整備を進めた。	b	継続	各学校と連絡をとり、状況をみながら体制を整え、効果を高める。	教育総務課	教育総務課
				173	●保護者や地域住民の信頼に応えつつ、家庭や地域と連携して子どもたちの成長を支えていくため、地域に開かれた学校づくりを進めます。	千曲型コミュニティスクール推進事業	コミュニティスクールにより学校づくり連携した学校づくりをすすめてきた。	b	継続	引き続き千曲型コミュニティスクール事業の充実により進める。	教育総務課	教育総務課・生涯学習課
		174	●学校と地域が一体となって子どもを育てる、千曲型コミュニティスクールの推進と充実を努めます。(総合戦略2-5①)	千曲型コミュニティスクール推進事業	H30すべての小中学校で千曲型コミュニティスクールを始めており、その拡充を図るため「千曲型コミュニティスクール関係者連絡会」を年数回開催し、情報交換を行った。	a	継続	H30で全ての小中学校をスタートできた。R2は限られた項目でしか活動できなかったことから、今後どのように地域と共に充実を図ることが課題。	教育総務課	教育総務課・生涯学習課		
		175	●地域との連携やさまざまな教育活動への参画を図るため、学校評議員制度の充実を図ります。	学校評議員制度	H31年4月1日より、学校評議員制度を廃止し、学校運営委員会を充実させることにより、学校運営等の自己評価を踏まえた「当該学校の保護者や学校関係者」による学校評価となるようにした。	d	廃止	H31年4月1日学校運営委員会を充実させることで区切りをつけ、学校評価員制度を廃止した。	教育総務課	教育総務課		
		176	●教育活動の成果の検証と住民参画に資する情報を共有するため、学校評価制度の充実を図ります。	学校評価制度	H31年4月1日より、学校評議員制度を廃止し、学校運営委員会を充実させることにより、学校運営等の自己評価を踏まえた「当該学校の保護者や学校関係者」による学校評価となるようにした。	a	継続	今後は、千曲型コミュニティスクールの推進とより一層の充実を図る。	教育総務課	教育総務課		
		177	●子どもたちを犯罪被害から守るため、家庭や地域と連携した取組を進めます。	千曲型コミュニティスクール推進事業	学校では見守り隊、地域と学校、行政が連携をして取り組んできた。	b	継続	地域の人材ややり方を尊重した取り組みを行っていく。	教育総務課	教育総務課		
		178	●通学区制度の弾力化について、必要に応じて調査研究を進めます。	広域通学への検討	調整区の中での指定校の選択や家庭の状況を聞いて配慮すべき家庭は指定校でない学校への入学を認めてきた。	c	見直し	地域性のある学校運営と、どのように両立していくか調査研究していく。	教育総務課	教育総務課		

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
2-2-1【教育】子どもがのびやかに育ち、生きる力を育む環境をつくる	・安全で快適な教育環境の中、学校・家庭・地域等の連携により、いきいきと活気あふれる教育が行われ、ふるさとに誇りと愛情を抱き、地域を大切に思う子どもたち、他をも思いやるあたたかい心をもつ子どもたちが育っています。 ・環境浄化活動、非行防止活動、生活相談活動などにより、青少年が安心して育つ環境が確保されています。 ・青少年の居場所が確保され、自然体験及びボランティアなどに意欲的に参加し、集団活動を通して社会性を身につけています。 ・栄養バランスの取れた安全な学校給食が提供され、家庭では、規則正しい食習慣が定着しています。	2-2-2 学校・家庭・地域等が一体となった学校づくりを進める	(2) 食育・学校給食による望ましい食習慣の形成	179	●学校給食を「生きた教材」として活用し、栄養バランスのとれた食事の取り方や「早寝早起朝ごはん」といった望ましい生活習慣の啓発を進めます。	学校給食による食育等推進	栄養教諭・学校栄養職員による児童生徒の発達段階に応じた各校への訪問指導、学校の校内放送用の献立紹介資料の提供、学校と共に学校給食を活用した食育に取り組み、給食を通じて人間形成の一端を担ってきたと考える。 なお、今期の成果指標の一つである「残菜量を減らす」については、1日当たりの残菜量の過去4年間の平均が26.33kgで目標値の35kgをクリアした。	a	継続	学校給食は単なる学校の昼食ではなく、生きた教材として捉え、学校給食を通じて将来に向けた望ましい食習慣や生活態度を育む取り組みは継続される必要があると考える。 今期の成果指標の一つである「残菜量を減らす」に関し、食べ物を大切にすることは大事な事である。一方で、「残してしまう」ということについては、社会の考え方の変遷もあり、各人の持つ個性や個性差、学校給食の多様な目標など、広い視野から捉えることも必要かと感じる。 また、残菜量が多いと食べ物を大切に扱っていないとか、献立が嗜好に合わないとか様々な見方があると聞かれるが、この数値(残菜量)が何故望ましい食習慣を養うことに結びつけられているかを考えておく必要があると感じる。 なお、食育は直ちに結果が表れるものではなく、成果の数値化が難しい部分があると考えます。	給食センター	給食センター
				180	●安全で安心な学校給食の提供に努めるとともに、学校・家庭と連携し食育を推進します。	学校給食による食育等推進	P T A や各種団体の給食センターの施設見学の受け入れ、家庭向けに毎月発行する給食センターだより(食育だより)、肥満指導・栄養指導などにより、学校・家庭と関わりを持つ中で、食育を進めてきた。 安全な給食の提供に関し、成果指標の一つである「事故件数」が過去4年間の平均が4.25件で目標値の0件に届かなかった。これは調理従事職員の労災事故発生によるものであるが、栄養士、調理従事職員の衛生管理への取り組みにより、食中毒の発生は0件で推移することができた。	c	継続	学校や家庭との連携による食育の推進については、継続した取り組みが求められると考える。また、学校給食センターは、安全でおいしい給食を安定的に提供することが使命であり、児童生徒、保護者、学校に向けては給食事故を発生させないことがまず第一と考える。このため安全な給食の提供に向けた事故防止への取り組みも継続が求められると考える。	給食センター	給食センター
				181	●地元農産物の利用促進を図ります。	学校給食への地元食材利用	地元産の農産物の利用促進に向けて、旬の野菜や果物を献立に取り込んだり、地元農産物を原料とした加工食材を使った献立を開発するなどの取り組みを行ってきた。 また、成果指標の食材の地場産物使用度は基準値49.8%・目標値55%に対し、R2年度が54.8%で、概ね達成できている状況にあると考える。	a	継続	地元産食材の使用を飛躍的に伸ばすためのインフラ的要素はなく、気候や地理的条件等で通年で安定的に供給できる条件に乏しく、人口減少の時代になっていることから、これ以上の利用拡大は難しいと考える。これまでと同じくの地元産＝県内産の定義による食材の使用率維持が現実的と考える。	給食センター	給食センター
		2-2-3 地域で青少年をはぐくむ風土をつくる	(1) 学校・家庭・地域等が連携をして取り組む教育	182	●基本的生活習慣や社会的マナー、自制心、自立心などの育成を図るため、家庭、学校、地域等が連携して、家庭教育に関する学習の機会や情報提供を進めます。	児童生徒の地域活動への参加	地域(育成会活動含む)の行事に参加している児童生徒の割合は高く、地域の人とのかかわりを多く持っているように思われる。	a	継続	中学生になると地域活動へのかかわりが少なくなることが課題	教育総務課	教育総務課・生涯学習課
				183	●青少年の団体生活におけるマナーの向上及び主体的な活動意欲の醸成を図るため、生活体験型の交流事業などを進めます。	毎年度 子ども会リーダー研修会	市内76支部の子ども会小学6年生と指導者を対象に、6月に2回実施した。平均200名参加。団体生活によりマナーが向上し、リーダーとしての自覚が付き、子どもの主体性を養うことができた。	b	継続	事業継続 プログラムメニューの再構成をし、現状に即した研修会を実施していく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課
			(2) 地域ではぐくむ健全な心とからだ	184	●補導活動従事者などが定期的に巡回し、ぐ犯・不良行為少年などを早期に発見、注意、助言、指導するなど、非行を未然に防止する活動を進めます。	毎年度 補導巡回パトロール	毎年度 30名の少年補導委員により9小学校区において、巡回パトロールを毎月実施し、年間150~170回程度の巡回活動を行い、青少年の非行の未然防止につながった。	a	継続	事業継続 青少年を取り巻く環境は毎年変化している中での活動であることから、情報収集に努めていく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課
	185			●青少年非行の助長及び非行の誘引となる恐れのある社会環境などに対し、補導活動を通じ、店舗の環境チェックなどの強化を図るとともに、地域・市・事業者が連携・協力し、有害環境を防止する市民運動を進めます。	毎年度 環境チェック活動	30名の少年補導委員により、コンビニエンスストア等の店舗を訪問し有害図書等の排除等を依頼する等青少年の非行を助長しないための活動を実施し、未然の非行防止につながった。	a	継続	事業継続 青少年を取り巻く環境は毎年変化している中での活動であることから、情報収集に努めていく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課	
	186	●「地域の子どもは地域で育てる」という視点から、子どもたちと地域の人たちが触れ合える機会を創出する「子どもの居場所づくり事業」及び「地域ボランティア事業」を進めます。	子どもの居場所づくり支援事業	子どもの居場所づくり事業実施団体と地域ボランティア事業実施団体の活動支援を実施。	b	継続	実施団体の拡大に向けた制度の周知を図る。	こども未来課	こども未来課・生涯学習課			

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
2-1-2 【教育】 子どもがのびやかに育ち、生きる力を育	<ul style="list-style-type: none"> 安全で快適な教育環境の中、学校・家庭・地域等の連携により、いきいきと活気あふれる教育が行われ、ふるさとに誇りと愛情を抱き、地域を大切に思う子どもたち、他をも思いやるあたたかい心をもつ子どもたちが育っています。 環境浄化活動、非行防止活動、生活相談活動などにより、青少年が安心して育つ環境が確保されています。 青少年の居場所が確保され、自然体験及びボランティアなどに意欲的に参加し、集団活動を通して社会性を身につけています。 栄養バランスの取れた安全な学校給食が提供され、家庭では、規則正しい食習慣が定着しています。 	2-2-3 地域で青少年をはぐくむ風土をつくる	(2) 地域ではぐくむ健全な心とからだ	187	●「子どもの手による子ども会の育成」を目標に、子どもたちが中心になって、いきいきと子ども会活動ができるよう「市子ども会育成連絡協議会」の主体的活動を支援します。	毎年度 子ども情報交換会	市内小学5年生を対象に実施。市内各支部の活動内容の情報を、子ども自らが発表し、会話によるコミュニケーションが向上した。近年はインフルエンザ、新型コロナウイルスにより開催中止。(対象者児童:約150人)	b	継続	事業継続 会話によるコミュニケーションが減る中、子どもが中心となっていく事業の必要性は大きく、子どもが自発的に活動できる場の検証が必要。	生涯学習課	生涯学習課
				188	●インターネットや携帯電話などのメディアによる有害環境から子どもを守る取組を推進します。	毎年度 街頭啓発活動	7月及び11月実施。街頭啓発活動として、屋代駅前にてリーフレットを生徒等へ配布した。各月約100枚配布	b	継続	事業継続 メディアによる有害環境は様々な形で増えていることから、有害環境の情報収集に努める必要がある。	生涯学習課	生涯学習課・子ども未来課
				189	●福祉施設や生活体験型の交流事業などの充実により、創造性や社会性に富んだ子どもの育成を図ります。	毎年度 ①子ども会リーダー研修会 毎年度 ②姉妹都市交流事業	①2-2-1(1)同様 ②市内小学校代表6年約30人が参加し、富山県射水市の児童と交流し、互いの市への理解を深めた。	b	継続	事業継続 姉妹都市との生活体験型交流のプログラムの再構成をし、子どもの育成を図る。	生涯学習課	生涯学習課
				190	●地域の伝統文化や歴史的遺産に触れ、学ぶ環境づくりを図ります。	毎年度 公民館主催青少年健全育成事業	書初め、しめ縄づくり、味噌づくり等の講習会を各1回実施し、伝統文化への理解を深めた。	b	継続	事業継続 地域伝統文化の学習の場を増やし、更なる内容の充実が必要である。	生涯学習課	生涯学習課・教育総務課・文化課
				191	●スポーツ活動への積極的な参加や芸術活動に触れる機会の提供を図ります。	毎年度 千曲市スポーツ教室 毎年度 千曲市市民体育祭等各種競技大会	千曲市スポーツ協会等関係団体やスポーツ推進委員等と連携し、スポーツ教室および体育祭等各種競技大会を開催しており、多くの市民がスポーツ活動に参加する機会となっている。	b	継続	多くの市民がスポーツ活動に参加できる事業であり、更に充実した内容で継続をしていく。	スポーツ振興課	生涯学習課・スポーツ振興課
				192	●「生涯学習基本構想」の実現に向け推進を図ります。	令和元年度 第2次千曲市生涯学習基本構想・基本計画	生涯学習推進のため各種講座等を年間約1000講座開催し、約20000人の市民が受講した。誰もが学べる生涯学習の場を提供したことにより、生涯学習基本構想の実現の推進につながった。	b	継続	時代に即した各種講座及び学級のプログラムのニーズを把握し、事業展開していく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課
				193	●複雑化・多様化する社会に対応できるよう、公民館や図書館などで開催する各種学級・講座などの学習内容や学習機会の充実を図ります。	①毎年度 公民館主催 成人講座・各種学級等 ②毎年度 図書館主催 通年講座・おはなし会等	各種講座等を年間約1000講座開催し、約20000人程の市民が受講し、誰もが学べる生涯学習の場を提供した。	b	継続	時代に即した各種講座及び学級のプログラムのニーズを把握し、事業展開していく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課
				194	●「子ども読書活動推進計画」の実現に向け推進を図ります。	令和2年度 第3次千曲市子ども読書活動推進計画による事業 毎年度 ①ファーストブック事業 ②セカンドブック事業	①生後7ヶ月を迎えた乳児に絵本を贈った。子育て支援と併せた図書館利用につながった。 ②読書に興味を示す児童が増えており、想像力を高める結果につながっている。小学1年生に1冊贈呈した。	b	継続	事業継続 第3次計画がスタートしたばかりだが、世代ニーズに合わせ計画は随時見直しを行っていく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課
				195	●学習情報を収集し、情報機器の活用、市報や市ホームページなど多様な媒体を活用し、情報提供を行うとともに、市民の学習相談に応える総合的な相談体制の整備を図ります。	毎年度 生涯学習情報の発信	市関係各課から生涯学習情報を収集し、年4回ホームページで周知するとともに、各種公共施設へ情報を掲示し、市民への生涯学習意欲の向上につながった。	b	継続	事業継続 より多くの市民が必要としている学習内夜を把握し、情報を発信していく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課
196	●指導者の発掘や養成と人材バンクの整備充実を図り、その活用に努めます。	毎年度 人材バンク活用事業	市ホームページにおいて人材バンク制度を周知し、指導者の発掘を行った。個人登録11名、団体登録7団体となっているが数年間実績がない。	c	見直し	事業継続 3年に1度の更新であるが、個人登録、団体登録は増加にはいたっていないため、人材バンクのメニューの見直しをする必要がある。	生涯学習課	生涯学習課				
197	●家庭、地域、学校がそれぞれ役割を持ちながら、教育力を補完し合い、市民の学習活動を推進していく体制づくりを進めます。	①毎年度 上山田子ども未来塾 ②毎年度 八幡子教室	①②退職した地域の教員約13名が講師となり、毎週水曜日を基本に、児童・生徒を対象に学習支援活動を実施。学校とも連携し、教員時代に培ったノウハウを生かし、児童・生徒の学習能力の向上につながった。	b	継続	事業継続 講師不足が課題となっている。引き続き地域で協力者を募り事業実施する。	生涯学習課	生涯学習課				
198	●多様化する市民の学習ニーズに応えるため、公民館や図書館などの施設の整備・充実を図ります。	①毎年度 公民館施設整備事業 ②毎年度 図書館管理運営事業	経年劣化や故障による各設備を更新し、施設の整備・充実を図った。	b	継続	事業継続 耐用年数や経年劣化に修繕箇所が増加しているため、立替を含め計画的に予算付けをしていく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課				
199	●生涯学習の拠点施設となる生涯学習センター及び公民館のあり方についての調査・検討結果を踏まえた機能、体制づくりを進めます。	令和2年度 生涯学習センター設置・公民館あり方調査	社会教育指導員1名により、生涯学習センターの設置に係る調査及び市内公民館別の業務内容の実態調査をし、中央公民館制度も視野に入れた検討を行ったことにより、今後の方向性の資料となった。	b	継続	事業継続 検討委員会等により市民との協働により、今後の方向性を決定していく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課				
2-1-3 【生涯学習スポーツ文化芸術】 学びや芸術・スポーツを通じ、人と地域の魅力を高める	<ul style="list-style-type: none"> 〈生涯学習〉 生涯学習基本構想に基づき市民一人ひとりが自己実現に向け、自発的に集い学んでいます。 公民館では、生涯学習時代に対応した学びの場が提供されるとともに、コミュニティ活動の拠点として多くの市民に活用されています。 読書習慣が高まり、図書館が多くの市民に有効に利用されています。 〈スポーツ〉 スポーツ教室、健康づくりのための講座などの充実が図られ、市民が積極的に参加しています。 多くの市民が気軽に、安全に利用できる環境が整備されています。 スポーツ施設の更新・整備に関する総合的調査・研究によって、「スポーツ・健康宣言都市」に相応しいまちづくりが進められています。 市民との協働による管理運営や事業の展開が図られています。 〈文化芸術〉 文化芸術団体などと行政による連携・協働により後継者や担い手が育成され、文化芸術活動が活発に行われています。 市民がまちづくりや活性化に関心を持ち、地域では多様で特色ある事業や活動に取り組んでいます。 文化施設の適切な管理運営が維持され、市民の要望に合った事業が展開されています。 	2-3-1 生きがいや喜びを味わえる生涯学習環境をつくる	(1) 多様な世代の学習活動への支援	192	●「生涯学習基本構想」の実現に向け推進を図ります。	令和元年度 第2次千曲市生涯学習基本構想・基本計画	生涯学習推進のため各種講座等を年間約1000講座開催し、約20000人の市民が受講した。誰もが学べる生涯学習の場を提供したことにより、生涯学習基本構想の実現の推進につながった。	b	継続	時代に即した各種講座及び学級のプログラムのニーズを把握し、事業展開していく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課
				193	●複雑化・多様化する社会に対応できるよう、公民館や図書館などで開催する各種学級・講座などの学習内容や学習機会の充実を図ります。	①毎年度 公民館主催 成人講座・各種学級等 ②毎年度 図書館主催 通年講座・おはなし会等	各種講座等を年間約1000講座開催し、約20000人程の市民が受講し、誰もが学べる生涯学習の場を提供した。	b	継続	時代に即した各種講座及び学級のプログラムのニーズを把握し、事業展開していく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課
				194	●「子ども読書活動推進計画」の実現に向け推進を図ります。	令和2年度 第3次千曲市子ども読書活動推進計画による事業 毎年度 ①ファーストブック事業 ②セカンドブック事業	①生後7ヶ月を迎えた乳児に絵本を贈った。子育て支援と併せた図書館利用につながった。 ②読書に興味を示す児童が増えており、想像力を高める結果につながっている。小学1年生に1冊贈呈した。	b	継続	事業継続 第3次計画がスタートしたばかりだが、世代ニーズに合わせ計画は随時見直しを行っていく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課
				195	●学習情報を収集し、情報機器の活用、市報や市ホームページなど多様な媒体を活用し、情報提供を行うとともに、市民の学習相談に応える総合的な相談体制の整備を図ります。	毎年度 生涯学習情報の発信	市関係各課から生涯学習情報を収集し、年4回ホームページで周知するとともに、各種公共施設へ情報を掲示し、市民への生涯学習意欲の向上につながった。	b	継続	事業継続 より多くの市民が必要としている学習内夜を把握し、情報を発信していく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課
				196	●指導者の発掘や養成と人材バンクの整備充実を図り、その活用に努めます。	毎年度 人材バンク活用事業	市ホームページにおいて人材バンク制度を周知し、指導者の発掘を行った。個人登録11名、団体登録7団体となっているが数年間実績がない。	c	見直し	事業継続 3年に1度の更新であるが、個人登録、団体登録は増加にはいたっていないため、人材バンクのメニューの見直しをする必要がある。	生涯学習課	生涯学習課
				197	●家庭、地域、学校がそれぞれ役割を持ちながら、教育力を補完し合い、市民の学習活動を推進していく体制づくりを進めます。	①毎年度 上山田子ども未来塾 ②毎年度 八幡子教室	①②退職した地域の教員約13名が講師となり、毎週水曜日を基本に、児童・生徒を対象に学習支援活動を実施。学校とも連携し、教員時代に培ったノウハウを生かし、児童・生徒の学習能力の向上につながった。	b	継続	事業継続 講師不足が課題となっている。引き続き地域で協力者を募り事業実施する。	生涯学習課	生涯学習課
				198	●多様化する市民の学習ニーズに応えるため、公民館や図書館などの施設の整備・充実を図ります。	①毎年度 公民館施設整備事業 ②毎年度 図書館管理運営事業	経年劣化や故障による各設備を更新し、施設の整備・充実を図った。	b	継続	事業継続 耐用年数や経年劣化に修繕箇所が増加しているため、立替を含め計画的に予算付けをしていく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課
				199	●生涯学習の拠点施設となる生涯学習センター及び公民館のあり方についての調査・検討結果を踏まえた機能、体制づくりを進めます。	令和2年度 生涯学習センター設置・公民館あり方調査	社会教育指導員1名により、生涯学習センターの設置に係る調査及び市内公民館別の業務内容の実態調査をし、中央公民館制度も視野に入れた検討を行ったことにより、今後の方向性の資料となった。	b	継続	事業継続 検討委員会等により市民との協働により、今後の方向性を決定していく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
2-3-1 【生涯学習スポーツ文化芸術】 学びや芸術・スポーツを通じ、人と地域の魅力を高める	<p>〈生涯学習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習基本構想に基づき市民一人ひとりが自己実現に向け、自発的に集い学んでいます。 公民館では、生涯学習時代に対応した学びの場が提供されるとともに、コミュニティ活動の拠点として多くの市民に活用されています。 読書習慣が高まり、図書館が多くの市民に有効に利用されています。 <p>〈スポーツ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ教室、健康づくりのための講座などの充実が図られ、市民が積極的に参加しています。 多くの市民が気軽に、安全に利用できる環境が整備されています。 スポーツ施設の更新・整備に関する総合的調査・研究によって、「スポーツ・健康宣言都市」に相応しいまちづくりが進められています。 市民との協働による管理運営や事業の展開が図られています。 	2-3-1 生きがいや喜びを味わえる生涯学習環境をつくる	(3) 生きがいづくりと社会参加	200	●リタイア世代の生きがいづくりとして、公民館活動を中心に、生涯学習の機会を提供していきます。(総合戦略5-2①)	①毎年度 上山子ども未来塾 ②毎年度 八幡っ子教室	①②退職した教員約13名が講師となり、毎週水曜日を基本に、児童・生徒を対象に学習支援活動を実施。教員時代に培ったノウハウを生かし、児童・生徒の学習能力の向上につながった。 ①毎年60回程度実施・のべ470人程度参加②毎年40回程度実施・のべ100人程度参加※R2年度は新型コロナウイルス感染予防のため①②とも20回程度の実施	b	継続	事業継続 講師不足が課題となっている。引き続き地域で協力を募り事業実施する。協力者の掘り起こしの方法を再検討する必要がある。	生涯学習課	生涯学習課
				201	●児童クラブ・コミュニティスクールなどでの子どもとの交流・ふれあいを通して、リタイア世代が現役時代に培った技術・文化を次世代に伝えるための取組を行います。(総合戦略5-2③)	①毎年度 放課後こども教室 ②～R1 科学に親しむ教室 ③R2 こども科学教室	①②③各種教室の講師やサポーターとして、自身の得意分野を生かして子どもと関わることにより、リタイア世代の生きがいとなっている。R2年度より教室名を②から③に変更。 ①市内1小学校で長期休業等を除き水曜日に毎年30回程度実施・のべ1,400人程度参加(R2は新型コロナウイルス感染予防のため5回実施・のべ274人参加)②土曜日に市内9小学校を使用し各校年2～4回実施・のべ400人程度参加③学校の使用を取りやめ、他の施設で年2回実施・のべ37人参加	b	継続	事業継続 講師不足が課題となっている。引き続き地域で協力を募り事業実施する。協力者の掘り起こしの方法を再検討する必要がある。	こども未来課 教育総務課 生涯学習課	こども未来課 教育総務課 生涯学習課
	2-3-2 スポーツやレクリエーション活動に親しむまちをつくる	(1) スポーツ・レクリエーション活動の振興	202	●生涯スポーツ社会の実現に向け、「総合型地域スポーツクラブ」の設立・育成・支援をします。	毎年度 総合型地域スポーツクラブの支援・連携	市内の総合型地域スポーツクラブは現在3クラブ(県内は67クラブ)が活動している。市とクラブで連携を図り、各種スポーツ教室の開催、体力測定等を実施した。	b	継続	今後も市とクラブの連携を深め、多くの方が気軽にスポーツに親しみ、継続的なスポーツ活動を通して、親睦と健康維持を図ることができる活動を目指す。	スポーツ振興課	スポーツ振興課	
			203	●「健康寿命延伸」に資するウォーキングなどの健康運動の普及と推進を図ります。	毎年度 千曲ラン	千曲川沿いのランニングコースと日帰り入浴施設を楽しんでいただく「千曲ラン」を推進。ウォーキングやランニングの普及を図り、同コースでウォーキングやランニングに取り組む方が目立つようになった。	b	継続	健康寿命延伸に資するウォーキングやランニングの更なる普及を図るとともに、同コースを利用したサイクリングについても推進をし、健康寿命延伸につなげたい。	スポーツ振興課	スポーツ振興課・健康推進課	
			204	●地域スポーツの推進者としての「スポーツ推進委員会」の充実や指導者の育成を図ります。	毎年度 スポーツ推進委員会各種スポーツ指導・研修の実施	現在24名の推進員がおり、月1回の定例会、各種研修会への参加、各種スポーツイベントへの協力、ニュースポーツの普及等に取り組み、地域スポーツのリーダーとして活躍している。	a	継続	千曲市スポーツ推進委員会として、積極的にスポーツ指導および自己研鑽に励んでおり、市のスポーツ振興のために、今後も積極的な活動の継続を図っていく。	スポーツ振興課	スポーツ振興課	
			205	●千曲川ハーフマラソンを、千曲市を発信する特色あるイベントに育てるとともに、交流人口の増加に資するスポーツイベントを開催します。(総合戦略2-2①、5-1②)	毎年度 千曲川ハーフマラソン	大会エントリー数は、H29年度1,537人、H30年度1,551人、R元年度1,640人(災害により中止)、R2年度エントリー前中止。R元年度より開催日程を11月に変更し、温泉街を通るコースに変更し、参加者の増加を目指した。	b	継続	今後も大会実行委員会において、参加者の増加につながる更なる改善策を検討し、ランナーに選ばれる大会となるよう魅力向上を目指す必要がある。	スポーツ振興課	スポーツ振興課	
			206	●「NPO法人千曲市体育協会」をはじめ、スポーツ団体の育成・支援を図ります。	毎年度 スポーツ団体の育成・支援	NPO法人千曲市スポーツ協会、千曲市スポーツ少年団、千曲陸上競技協会に補助金を交付し、連携を図りながら各種スポーツ事業を展開している。	b	継続	スポーツ人口の増加を目指し、幅広い年齢層がスポーツを親しめるように、各団体と連携を取り、育成・支援を進めていく。	スポーツ振興課	スポーツ振興課	
			207	●プロスポーツチームを支援し、スポーツ振興を図ります。	毎年度 地域密着型プロスポーツチームの支援	信州ブレイブウォリアーズ(バスケットボール)、AC長野パルセイロ(サッカー)、ポアルス長野(フットサル)、プリミアントアリーズ(バレーボール)の地域密着型プロスポーツチームを支援。地域にプロスポーツチームがあることにより、市民がスポーツに興味を持ち、スポーツ観戦を楽しむきっかけとなっている。	b	継続	今後も地域密着型プロスポーツチームを施設使用面や広報等で支援していく。プロスポーツならではのレベルの高いプレーを市民が観戦し、スポーツに興味をもってもらい、スポーツ参画人口の増加につなげたい。	スポーツ振興課	スポーツ振興課	

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
2-3【生涯学習スポーツ文化芸術】学びや芸術・スポーツを通じ、人と地域の魅力を高める	<p>〈生涯学習〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習基本構想に基づき市民一人ひとりが自己実現に向け、自発的に集い学んでいます。 公民館では、生涯学習時代に対応した学びの場が提供されるとともに、コミュニティ活動の拠点として多くの市民に活用されています。 読書習慣が高まり、図書館が多くの市民に有効に利用されています。 <p>〈スポーツ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ教室、健康づくりのための講座などの充実が図られ、市民が積極的に参加しています。 多くの市民が気軽に、安全に利用できる環境が整備されています。 スポーツ施設の更新・整備に関する総合的調査・研究によって、「スポーツ・健康宣言都市」に相応しいまちづくりが進められています。 市民との協働による管理運営や事業の展開が図られています。 <p>〈文化芸術〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術団体などと行政による連携・協働により後継者や担い手が育成され、文化芸術活動が活発に行われています。 市民がまちづくりや活性化に関心をもち、地域では多様で特色ある事業や活動に取り組んでいます。 文化施設の適切な管理運営が維持され、市民の要望に合った事業が展開されています。 	2-3-2 スポーツやレクリエーション活動に親しむまちをつくる	(2) スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実	208	●老朽化が進んでいる戸倉体育館は、野球場建設などを含む総合運動公園構想の策定を進め、その実現に向けた調査・研究に取り組みます。	令和2年度 戸倉体育館周辺活用方針策定業務	令和3年度から実施するための、千曲市総合運動公園基本構想策定のための市の現状や今後の方針についての検討を行い、令和3年度より2か年かけて基本構想策定業務を実施する。	b	継続	老朽化が進んでいる戸倉体育館の取り扱いや、要望もでている野球場等についての市民ニーズの把握を基にした敷地の活用方法の検討や、白鳥園南側の未利用地部分についての有効活用方法について検討していく必要がある。また、公共施設の再編や維持管理費の削減も含めた民間企業の参入(PPP、PFI等)も視野に入れながら、必要施設の整備を行っていく。	都市計画課	スポーツ振興課・都市計画課
				209	●利用者の安全を確保し、快適な利活用を促進するため、計画的に改修を進めます。	平成30年度更埴体育館備品購入事業 令和2年度大田原運動広場駐車場整備事業 令和2年度更埴体育館バスケットゴール購入事業	実施計画に基づき、施設整備を行い、施設設備の充実に努めた。	b	継続	今後も、実施計画により施設設備を充実させ、利用率の向上を目指し、利便性の向上に努める。	スポーツ振興課	スポーツ振興課
				210	●地域に密着した施設などについて、市民と協働による効果的な施設運営を進めます。	指定管理者による施設管理	協定に基づき、施設の維持管理、事業の実施に努めた。	b	継続	新たな拠点事務所を確保するための費用、管理者等の人件費、光熱水費等現状では指定管理者の利益を生み出すことが難しいのが現状。	スポーツ振興課	スポーツ振興課
				211	●日常的な身体活動量をあげる身体活動習慣の定着促進を進めます。(総合戦略5-1①)	毎年度 はつらつ千曲クラブ(総合型地域スポーツクラブ)支援・連携	中高年を対象にした各種スポーツのイベント・教室・サークルを開催し、中高年が楽しみながらスポーツに触れ、日常的なスポーツ習慣の定着および体力の維持・向上に寄与している。	b	継続	市として引き続き、クラブの継続した活動を支援し連携していくことが大切である。	スポーツ振興課	スポーツ振興課
				212	●ウォーキングやジョギング等の普及による健康推進の支援に努めます。(総合戦略5-1②)	毎年度 千曲ラン	千曲川沿いのランニングコースと日帰り入浴施設を楽しんでいただく「千曲ラン」を推進。ウォーキングやランニングの普及を図り、同コースでウォーキングやランニングに取り組む方が目立つようになった。	b	継続	健康寿命延伸に資するウォーキングやランニングの更なる普及を図るとともに、同コースを利用したサイクリングについても推進をし、健康寿命延伸につなげたい。	スポーツ振興課	スポーツ振興課
				213	●身体機能維持・向上のための場の整備を進めます。(総合戦略5-1③)	毎年度 はつらつ千曲クラブ(総合型地域スポーツクラブ)支援・連携	中高年を対象にした各種スポーツのイベント・教室・サークルを開催し、中高年が楽しみながらスポーツに触れ、日常的なスポーツ習慣の定着および体力の維持・向上に寄与している。	b	継続	市として引き続き、クラブの継続した活動を支援し連携していくことが大切である。	スポーツ振興課	スポーツ振興課・都市計画課
				214	●「文化芸術振興基本計画」を総合的かつ体系的に推進するため、基本計画の進捗状況を把握・検証し、市民等からの意見を反映する仕組みを構築します。	千曲市文化芸術振興基本計画の進捗管理	文化施設利用者等に現在の活動環境や要望支援などのアンケートを実施	c	継続	定期的、継続的に施設利用者からの意見をくみ取り、「基本計画」及び施設運営に反映させる。	文化課	文化課
				215	●市民が身近に文化芸術を享受できるよう、さまざまな文化芸術の公演・展示などに対する支援や文化芸術活動への参加を促進する機会を充実します。	芸術文化事業補助金事業	地域の芸術文化振興に取り組む団体に対し、イベント開催費用などを補助する。	b	継続	文化施設等の利用促進を図り、文化芸術団体の育成・支援を継続する。予算等の確保	文化課	文化課
				216	●地域に根ざした文化芸術活動を促進するため、関係機関などとも協力し、文化芸術活動の指導者や文化芸術団体などの育成・支援を行います。	千曲市文化芸術協会研修会	千曲市文化芸術協会が中心となり、更埴支部、戸倉支部、上山田支部が協力して文化芸術活動の育成・支援を行った。	b	継続	文化芸術協会など関係機関が中心となり、若年層や新たな関係者の掘り起こしを推進する。	文化課	文化課
				217	●伝統芸能の伝承者や文化施設並びに文化芸術団体など、文化芸術活動に携わる幅広い人材の育成を図ります。	千曲市総合芸術祭等開催	各団体ごと人材募集や育成を実施公演会、展示会など各施設ごと工夫して芸術に触れる機会を確保した。	b	継続	展示会、発表会などの自主事業を企画し、活動に携わったり文化芸術に触れたりする機会を増やす。	文化課	文化課
	218	●国際文化交流に関する活動を市内の関係団体や関係機関などと連携・協力して推進します。	毎年度 多文化共生フェスティバル「千曲万博」	市内在住の外国籍市民の文化を理解し、交流を深めた。令和2年度はコロナ禍により中止。令和元年度は創造館で実施し400~500人が参加	b	継続	今後も市内関係団体等と連携し国際文化交流を行っていく。	生涯学習課	文化課・生涯学習課			
	219	●文化施設のあり方を検討し、施設運営の効率化に努めます。	文化施設のあり方検討	施設の利用状況を把握し、施設共通チケットの導入を行い、施設の活用を推進した。	b	継続	活用状況等を踏まえ、施設運営について、利用状況に応じて効率的に運用できるように検討する。	文化課	文化課			
	220	●公演等の充実を図り、市民に文化芸術の鑑賞機会を提供します。	「郷土の作家展」事業開催	各施設ごと、公演や展示会など文化芸術活動を充実させ、市民の観覧する機会が増えた。	a	継続	各施設の連携を図る、地域の芸術文化の育成を図るなどの取り組みを推進する。	文化課	文化課			
	221	●文化施設等の整備に努め、利便性の向上と利用促進を図ります。	文化施設等整備	計画的に施設整備を行い、施設設備の充実に努めた。	b	継続	今後も、施設設備を充実させ、利便性の向上に努め、利用率の向上を目指す。	文化課	文化課			
	222	●美術館の建設について調査・検討を進めます。	文化施設等建設調査	自治体設置の美術館について情報収集 アートまちかどの利用促進を図った。	c	見直し	アートまちかどの活用策を探るとともに、隣接する屋代公民館の個別施設計画等を踏まえ、連携してアートまちかどの活用策、あり方について検討する。	文化課	文化課			

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課		
2-4 【男女共同参画】個性と能力を発揮できる男女共同参画社会をつくる	・性別に関わりなく、男性も女性も個性や能力が十分に発揮でき、あらゆる分野で活躍しています。 ・地域におけるさまざまな企画や方針決定過程への女性の参画が進み、生活者の視点にたった考えが反映され、また地域でのコミュニティ活動が活性化しています。 ・職場での男女格差が解消され、多様な人材が能力を発揮でき、労働意欲の向上や優秀な人材確保、収益や生産性の向上につながっています。 ・ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現により、安心して休暇等の取得や仕事以外の家庭や地域活動等に参加しやすくなり、仕事の進め方や役割分担、情報の共有化など職場の環境整備が進んでいます。 ・男性も女性も共に、家事・育児・介護、地域活動などに参加し、喜びも責任も分かち合い、お互いが協力しあい、豊かで充実した家庭生活を築いています。	2-4-1 男女が互いに認め合い協力して住みよいまちをつくる	(1) 男女共同参画意識の高揚	223	●幼児期から、命の大切さや男女共同参画意識を育てる保育や学習を推進するとともに、家庭・職場・地域、また国際社会における男女共同参画に対する正しい理解、意識を高めるセミナーや研修会、交流会等を開催します。(総合戦略3-4①②)	毎年度：男女共同参画セミナーの開催 ～R2年度 第3次男女共同参画計画の進捗管理 R3年度 第4次男女共同参画計画策定(施策3-1, 5-1)	毎年度、連続講座による男女共同参画セミナーを開催し、男女共同参画意識の定着および向上を促した。	b	継続	引き続き開催予定。開催内容については様々なニーズがあることから、専門性の高さ等を連続講座のなかで調整していく。	人権・男女共同参画課	人権・男女共同参画課		
			(2) 男女共同参画社会の環境整備	224	●男女共同参画の視点に立って、家庭・地域におけるしきたりや固定的役割分担意識の見直しや改革に向け、広報など啓発活動を充実します。	毎年度：公共施設へのチラシ配布・市HPへの掲載 ～R2年度 第3次男女共同参画計画の進捗管理 R3年度 第4次男女共同参画計画策定(施策1)	市内文化会館(女性センター)等にチラシを配布したり、市HPへ掲載するなどして、男女共同参画意識の定着および向上を促した。	b	継続	今後も配布や掲載を続ける。また、第4次男女共同参画計画に基づき関係各課と連携して事業推進を図る。	人権・男女共同参画課	人権・男女共同参画課		
			225	●行政、企業や地域活動等での方針決定過程への女性の参画の促進と人材育成を図ります。	～R2年度 第3次男女共同参画計画の進捗管理 R3年度 第4次男女共同参画計画策定(施策4)	毎年度、部長会議で市の審議会における女性登用率について報告し、登用率の向上に努めた。平成30年度に市の審議会における女性登用率について、目標値に満たない課へ聞き取り調査を実施・分析し、現状の把握に努めた。	b	継続	今後も、第4次男女共同参画計画に基づき、関係各課と連携して女性登用率の向上を図る。また、目標値に満たない課等への聞き取り調査を継続し、各審議会の女性登用に關する現場の実態の把握に努める。	人権・男女共同参画課	人権・男女共同参画課			
			226	●農業、商工観光業などの自営業における環境整備を進め、女性の社会的地位向上を図ります。	～R2年度 第3次男女共同参画計画の進捗管理 R3年度 第4次男女共同参画計画策定(施策2-2)	男女共同参画計画に基づき、関係各課と連携して事業推進を図った。	b	見直し	関係各課の実施状況の把握に努める。当課は計画の管理が主業務であり、実務については産業振興課が主となっていることから、今後の項目の担当課を再検討したい。	人権・男女共同参画課	人権・男女共同参画課			
			227	●「事業主行動計画」の策定とともに、職業生活と家庭生活が両立しいきいきと働くことができる職場環境の整備を働きかけます。	～R2年度 第3次男女共同参画計画の進捗管理 R3年度 第4次男女共同参画計画策定(施策2)	男女共同参画計画に基づき、関係各課と連携して事業推進を図った。	b	見直し	関係各課の実施状況の把握に努める。当課は計画の管理が主業務であり、実務については産業振興課が主となっていることから、今後の項目の担当課を再検討したい。	人権・男女共同参画課	人権・男女共同参画課			
		(3) 男女共同参画社会に向けた支援	228	●子育て支援体制、介護福祉支援体制の充実を図り、男女が仕事と家庭・地域生活が両立しやすい環境づくりを進めます。(総合戦略3-4②③)	～R2年度 第3次男女共同参画計画の進捗管理 R3年度 第4次男女共同参画計画策定(施策1-2)	男女共同参画計画に基づき、関係各課と連携して事業推進を図った。	b	見直し	関係各課の実施状況の把握に努める。当課は計画の管理が主業務であり、実務については子ども未来課や高齢福祉課等が主となっていることから、今後の項目の担当課を再検討したい。	人権・男女共同参画課	人権・男女共同参画課			
		229	●パートナーに対する暴力からの救済、相談体制の充実と暴力をなくす運動を展開します。また、男女の性に対する教育と生涯にわたる健康づくりを支援します。	毎年度：公共施設へのチラシ配布・市HPへの掲載 ～R2年度 第3次男女共同参画計画の進捗管理 R3年度 第4次男女共同参画計画策定(施策6.8)	男女共同参画計画に基づき、関係各課と連携して事業推進を図った。	b	見直し	関係各課の実施状況の把握に努める。当課は計画の管理が主業務であり、実務については子ども未来課が主となっていることから、今後の項目の担当課を再検討したい。	人権・男女共同参画課	人権・男女共同参画課				
		2-5 【多文化共生】国際性の豊かな人とまちをつくる	・市民一人ひとりが、子どものころから国際交流に親しみ、他国を理解し交流を深め、「地球はひとつ」の交流の輪が広がっています。 ・国籍や民族など異なる人々とお互いの文化的な違いを認め、地域の住民として支え合い、理解し合い、共に暮らしています。	2-5-1 外国の伝統や文化、習慣を理解する	(1) 国際交流事業の推進	230	●広い視野と国際感覚豊かな人材育成のため、市民の自主的な国際交流事業を支援します。	毎年度 千曲市国際交流推進事業	海外研修等への補助金を交付。近年実績なし。	c	継続	事業継続 補助制度の周知を幅広くする必要があり、人材育成のため事業として継続すべき事業である。	生涯学習課	生涯学習課
					(2) 国際交流団体との連携	231	●国際交流団体等と連携し、国際理解・国際交流事業を推進します。	毎年度 千曲万博	千曲国際交流協会、千曲市日中友好協会、千曲市ハンガリー友好協会と連携し年1回、市内在住外国人を中心とした、自国の文化の紹介をするイベントを開催し400～600人程の市民が来場した。市民との交流が深まるとともに、異国文化への理解が深まった。	b	継続	事業継続 国債関係団体等との連携を強化し、団体と市が協働で事業を実施していく必要がある。	生涯学習課	生涯学習課
2-5-2 外国籍市民とともに暮らす地域社会をつくる	(1) 異文化理解の推進			232	●異文化を理解し、外国籍市民と交流を深め、地域で共に支える交流の機会・場所の充実を図ります。	毎年度 千曲万博	年1回、市内在住外国人を中心とした、自国の文化の紹介をするイベントを開催し400～600人程の市民が来場した。市民との交流が深まるとともに、異国文化への理解が深まった。	b	継続	事業継続 市内在住外国人住民のコミュニティを把握し、交流の場の充実を図る必要がある。	生涯学習課	生涯学習課		
	(2) 外国籍市民への支援			233	●外国籍市民が安心して暮らせる生活環境づくりの支援と相談、情報提供の充実を図ります。	①毎年度 外国人住民相談窓口 ②毎年度 日本語教室	①②年間2～3件程度の通訳及び翻訳に応じている。日本語教室は年間36回開催した。通訳及び翻訳、日本語を学ぶことにより市での生活上のルールなどの理解が得られた。	b	継続	事業継続 相談窓口などの周知を拡充するとともに、より多くの言語に対応する体制づくりが必要である。	生涯学習課	生涯学習課		

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
2-6-1 【人権・平和】人を大切に、差別のないまちをつくる	・「差別をしない、差別を許さない」「いじめを許さない」市民意識(差別を感じない暮らし)が、定着しています。 ・人権侵害に対し、関係機関との連携により救済・支援体制が確立されています。 ・平和について、市民自らが学習するための条件が整備されています。	2-6-1 人権・平和についての意識を向上させる	(1) 人権政策の推進	234	●「21世紀を人権の世紀」として定着、発展させるため、「人権とくらしに関する総合計画」に基づき、家庭、学校、企業・事業所、地域社会などのあらゆる場や機会を通して、人権について教育・啓発を進めます。	下記項目にある各種事業の展開(内容が総合的な意味であるため、該当施策は無し)	下記項目にある各種事業の展開(内容が総合的な意味であるため、該当施策は無し)	b	廃止	具体的施策に該当する事業がないため、他の項目への統合を検討。	人権・男女共同参画課	人権・男女共同参画課
				235	●人権に関する情報提供の充実と相談体制の整備を図ります。	毎年度：人権ふれあいセンター相談事業 毎年度：公共施設へのチラシ配布・HPへの掲載 毎年度：人権ふれあいセンター情報の発行	ふれあい人権センターで相談業務を実施。また、人権に関する情報を公民館等へ設置したり、HPへ掲載したりすることで、市民への周知を図った。 年4回人権ふれあいセンター情報(チラシ)を発行し、人権意識の向上を図った。	b	継続	今後も相談業務や通信の配布を継続する。また、ふれあい人権センターのさらなる周知を図る。	人権・男女共同参画課	人権・男女共同参画課
				236	●市民一人ひとりが、人の尊厳を大切に、人権と平和を守る地域社会をつくり上げるため、地区人権教育研修会の支援をはじめ、企業・団体などの人権教育研修会の充実、指導者養成講座の充実を進めます。	毎年度：地区人権教育研修会の推進 毎年度：企業における研修会時の講師派遣 H30.R1年度：平和のつどい(協働事業提案制度)開催	各地区で地区人権教育研修会を開催した(主催は区・自治会)。 毎年度、市内1企業へ人権教育の講師として職員を派遣した。 協働事業提案制度により、平和のつどいを開催し、平和に対する意識の向上を図った。	b	見直し	地区人権教育研修会の依頼方法を再検討し、無理なく各地区で研修会を開催できるように体制を整える。企業が人権教育や啓発に取り組むよう、市から働きかけをする必要がある。平和のつどい(協働事業)がR3年度で終了するため、今後、平和事業の在り方を再検討したい。	人権・男女共同参画課	人権・男女共同参画課
				237	●人権教育集会所を活用して地域住民の参加・交流など相互理解を促進し、人権意識の高揚に努めます。	毎年度：人権教育集会所の施設管理	R2年度から各集会所の利用簿を作成し、利用状況の把握に努めた。	c	廃止	公共施設再編計画の対象施設であり、地元への譲渡または廃止する方向であるため、項目の削除を検討	人権・男女共同参画課	人権・男女共同参画課
				238	●学校と地域・家庭が連携し、いじめや差別をなくし、子どもの人権が守られる教育を推進します。	毎年度：「あけぼの」の配布 毎年度：学校教育交付金の支給 毎年度：実践記録「かがやき」の作成・配布	人権教育に関する資料等を配布したり、補助金を交付したりすることで、学校現場における人権教育を促進した。	b	継続	今後も各種事業を継続予定。学校現場の意見を聴取し、あけぼのの配布方法等事業の在り方を再検討したい。	人権・男女共同参画課	人権・男女共同参画課・教育総務課
		239	●企業人権教育推進連絡会への支援をはじめ、企業・事業所における人権教育の推進を図ります。	毎年度：企業人権研修会の開催	企業人権教育推進連絡会の事務局として、幹部の連絡調整や、年に1度研修会を開催した。	c	見直し	現在、企業人権教育推進連絡会があまり機能していない。同連絡会の活性化を図り、企業人権の促進に取り組みたい。	人権・男女共同参画課	人権・男女共同参画課		
		2-6-2 一人ひとりの人権を守る	(1) 人権擁護の推進	240	●人権侵害に対し、関係機関と連携して、被害者の一時的保護も含め、救済・支援できる体制を推進します。	毎年度：人権ふれあいセンター相談事業	相談に応じて関係課等と連携し、対応した。	b	廃止	今後も相談業務を継続予定。しかし、具体的施策については(1)と重複するため、項目の削除を検討。	人権・男女共同参画課	人権・男女共同参画課
				241	●関係団体機関と連携し、「人権擁護法」が早期に制定されるよう運動を推進します。	毎年度：部落差別解消の推進	部落差別の解消の推進に関する法律に基づき、セミナー等の開催により啓発に取り組んだ。	a	完了	法律制定に伴い、次のステップである「法律に基づいた部落差別解消の促進」に取り組む。	人権・男女共同参画課	人権・男女共同参画課
				242	●国、県と連携し、人権に関するさまざまな相談窓口の充実を図り、相談事業の周知に努めます。	※(1)人権政策の推進と指標および内容が重複	※(1)人権政策の推進と指標および内容が重複	b	廃止	他項目と内容が重複しているため、項目の削除を検討。	人権・男女共同参画課	人権・男女共同参画課

3 支え合い、だれもが健康で活躍するまち

3-1-1 【地域福祉】ともに支え合う地域としくみを育て	・福祉に関する情報がボランティア団体・社会福祉事業者などと共有化され、地域福祉のネットワークづくりが進み、地域福祉活動の推進役となる人材が育っています。 ・地域福祉づくりへの関心が高まり、地域住民の福祉活動が盛んになっています。 ・社会福祉事業者が増え、住民と一体となって、だれもが住みなれた地域で安心していきいきと生活できる地域社会を支えています。 ・地域福祉に関する拠点機能を中心に、さまざまな分野の人々が集っています。	3-1-1 心が通じる地域福祉を確立する	(1) 福祉サービスの利用体制の整備	243	●「地域福祉計画」に基づき、市民一人ひとりが福祉に対する理解を深め、互いに支え合う心の通った地域福祉社会確立に向けた体制づくりを進めます。	福祉サービス利用体制の整備	市民の福祉に対する意識や理解が深まり、より多くの人が福祉サービスの利用につながった	b	見直し	「地域福祉計画」に基づき、地域共生社会の実現を目指すべく、地域の福祉力を強化していく	福祉課	福祉課
			(2) 福祉サービス拠点機能の充実	244	●地域福祉の総合的な拠点機能を持つ施設の存続・充実に向けた検討をします。	千曲市ふれあい福祉センター移転事業	旧戸倉庁舎へ移転(令和2年10月1日) 社協事務所、障がい者児基幹相談支援センター等地域共生社会実現のための拠点として整備	a	継続	地域共生社会の拠点として継続して事業を実施できるよう整備する。建物の老朽化への適切な対応が必要。	福祉課	福祉課
		3-1-2 人材・サービスの情報ネットワークをつくる	(1) 福祉を担うさまざまな主体の育成	245	●社会福祉協議会の運営に対し、各種相談体制の強化をはじめ、事業の充実・強化ができるよう支援します。	社会福祉協議会運営補助事業	千曲市社協へ地域福祉充実のため59,910千円を補助。ボランティア団体育成や生活支援・各種相談事業の実施	b	継続	継続して事業を実施し、地域共生社会実現を目指す	福祉課	福祉課
				246	●民生児童委員(福祉委員)の活動を支援します。	民生児童委員・福祉委員活動事業	民生児童委員 154名	b	継続	地域共生社会実現のための人材育成、活動支援	福祉課	福祉課
				247	●保護司会などが行う社会を明るくする活動を支援します。	保護司活動事業	保護司 37名	b	継続	地域共生社会実現のための人材育成、活動支援	福祉課	福祉課
				(2) ネットワーク化の支援	248	●住民、ボランティア、NPOなどの福祉活動や人材・サービスの情報ネットワーク化を支援します。	社会福祉協議会運営補助事業	ボランティア・市民活動交流センターの運営によるボランティア団体等の活動支援や調整を行った。 ・ボランティア登録団体数 133団体 ・ボランティア登録人数 3,198人	b	継続	継続して事業を実施し、ボランティアの裾野を拡大していく	福祉課

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
3-2「健康づくり」健康な心や体を市民自らがつくる気持ち育てる	・市民一人ひとりの健康に対する意識が高まり、健康診査・がん検診により疾病の早期発見が図られ、生活習慣病の重症化や65歳以下の死亡者(早世)が抑制され、健康の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間(健康寿命)が延びています。 ・健康診査・がん検診の受診者においては、生活習慣病等の重症化が予防でき、医療費が抑制されています。 ・感染の恐れがある疾病の発生及びまん延が予防されています。	3-2-1生活習慣病等や感染症の予防を進める	(1)生活習慣病等予防の推進	249	●生活習慣病についての啓発を行い、特定健康診査の受診を勧めます。(総合戦略5-3①)	特定健康診査	対象者への啓発を行い2年連続(H30・R1)で受診率向上した。令和2年度受診率42.3%	b	継続	引き続き医療費適正化を目指し、特定健診受診率向上に取り組む	健康推進課	健康推進課
				250	●生活習慣病予防に関する情報の提供に努めます。また、生活習慣の改善が必要な人には、具体的に生活習慣の改善が実施されるよう支援します。(総合戦略5-3①)	特定保健指導	情報提供を行った。実施率は例年90%以上。	b	継続	引き続き90%を目指し、特定保健指導率向上に取り組む	健康推進課	健康推進課
				251	●健診データに基づき、個別保健指導を実施し、脳・心・腎疾患などの生活習慣病の発症や重症化を予防します。(総合戦略5-3①)	生活習慣病重症化予防事業	特定健診受診者のうち糖尿病境界型及び糖尿病型(ヘモグロビンA1c6.0以上)の人の割合30.2%	b	継続	引き続き、生活習慣病の発症や重症化予防に取り組む	健康推進課	健康推進課
				252	●がんについての啓発を行い、検診の受診を勧めます。(総合戦略5-3①)	各種がん検診の実施	各種がん検診受診率 胃がん検診 6.3% 肺がん検診 16.3% 大腸がん検診 16.4% 子宮頸がん検診 27.4% 乳がん検診 29.0%	b	継続	引き続き、がんについての啓発及び受診勧奨に努める。	健康推進課	健康推進課
				253	●新型コロナウイルスなどの感染症に対し、その予防と正しい知識の普及を図り、まん延を予防します。	感染症予防普及啓発	市報、HP、SNS、懸垂幕や新聞折込等さまざまなメディアを活用した普及啓発を実施しまん延防止に取り組んだ。	c	継続	新型コロナウイルスのまん延により感染症に対する意識が高まっている地道に普及していく	健康推進課	健康推進課
				254	●結核を早期発見するための検診の受診を勧めます。	結核検診	年1回実施	b	継続	方法の再検討	健康推進課	健康推進課
		255	●乳幼児期及び学童期に必要なヒブ・肺炎球菌・BCG、四種混合、麻しん風しん、水痘、日本脳炎などの予防接種や高齢者を対象としたインフルエンザなどの予防接種に関する正しい情報を提供して、接種率向上を図ります。	定期予防接種実施	93%	a	継続	期間のあるものについては勧奨等も実施し、接種率を上げていく	健康推進課	健康推進課		
		3-2-2市民の主体的な健康づくりを支援する	(1)計画的な健康づくりの推進	256	●「健康づくり計画(健康(ヘルス)アップ千曲21)」に基づき、栄養と食生活に視点を置いた食育や身体活動、こころの健康、歯の健康、たばこ対策、生活習慣病予防など健康づくりを推進します。(総合戦略5-3①)	「千曲市健康づくり計画(健康(ヘルス)アップ千曲21)」の推進	各種保健事業の実施	b	継続	引き続き「千曲市健康づくり計画(健康(ヘルス)アップ千曲21)」計画を推進する。	健康推進課	健康推進課
				257	●「保健事業実施計画(データヘルス計画)」に基づき、健康・医療情報(特定健康診査の結果やレセプト)などのデータを活用し、PDCAサイクルの考えで、効果的かつ効率的な保健事業を実施し、生活習慣病の発症や重症化予防を図ります。(総合戦略5-3①)	「保健事業実施計画(データヘルス計画)」の推進	国保データベース(KDB)を活用し、地域の課題分析を実施	b	継続	「保健事業実施計画(データヘルス計画)」の推進をする。	健康推進課	健康推進課
				258	●体力や生活習慣に応じた健康づくりへの個別支援に取り組みます。(総合戦略5-1①)	特定保健指導	運動習慣者の割合は増加傾向にあったが令和2年は新型コロナウイルスの影響もあり減少した	b	継続	生活習慣に応じた健康づくり支援に努める	健康推進課	健康推進課
				259	●医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力を得て、健康サポート連携事業を推進します。(総合戦略5-3②)	健康サポート連携事業	医師会・歯科医師会・薬剤師会と連携	a	継続	医師会・歯科医師会・薬剤師会と保健事業の推進に努める	健康推進課	健康推進課
				260	●自殺予防を含めた心身の健康に関する相談体制の充実を図ります。	「いのちを支える千曲市自殺対策推進計画」の推進	自殺予防対策推進会議の開催 精神保健相談会 延14件 総合相談会 延24件 訪問等随時相談 延1,406件	a	継続	誰も自殺に追い込まれることのない千曲市の実現を目指し、自殺対策推進計画を推進する。	健康推進課	健康推進課
				261	●市営入浴施設(白鳥園など)において、軽運動など健康増進に向けた事業の充実や、世代間交流の場としての利用を図ります。	介護予防普及啓発事業(元気なつどい)・地域リハビリテーション活動支援事業(腰痛サポート塾)・地域介護予防活動支援事業(健康づくり応援団)	市営入浴施設での実施には至らなかったが、市内公共施設等で高齢者の介護予防等を目的に左記事業を実施した。また、世代間交流に資するツールとして「あんぽいきいき体操」を創作した。	b	見直し	次期計画においては、3-4-2-(2)「介護予防の推進」として実施していく。	高齢福祉課	健康推進課 スポーツ振興課 生活安全課 高齢福祉課
262	●第一次、第二次、第三次救急医療体制がしっかりとその専門性を発揮するために、第一次のかかりつけ医の普及を図ります。			保険者からの啓発	広報啓発活動を実施	b	継続	かかりつけ医からの総合病院への紹介が現在の高度医療へのルートになっているため、最初の入り口を全員が確保しておく。	健康推進課	健康推進課		
3-3「保健・医療」いつでも適切な医療を受けられる体制をつくる	3-3-1地域の医療提供体制の充実に努める	(1)かかりつけ医の普及	263	●最短医療機関が最も遠い大田原地区に、医師会の協力を得て出張診療を実施します。	大田原出張診療事業	月1回	b	継続	出張医の確保	健康推進課	健康推進課	
		(2)無医地区の医療確保	264	●国・県をはじめ関係機関に、不足する診療科の医師及び医療従事者等の確保について働きかけます。	市長会等における提案等	市長会等において市としての提案をした	b	継続	地域医療改革等において、病院の統廃合も議論されていることから、同時に議論すべき事柄	健康推進課	健康推進課	
		(3)関係機関への働きかけ	265	●夜間初期救急医療の確保を図るため、実施病院を支援するとともに、関係機関と連携して救急医療体制の確保、維持を図ります。	夜間初期救急医療補助金	篠ノ井総合病院、松代総合病院、千曲中央病院への補助金	b	継続	継続	健康推進課	健康推進課	
		3-3-2救急医療体制の充実に努める	(1)救急医療体制の充実	266	●第一次救急医療体制として医科、歯科の休日当番医制、さらに第二次として病院群輪番制を、医師会等の協力のもとに推進します。	休日当番医制度 病院群輪番制度	日・祝日の休日当番医 長野圏域における病院群輪番制度	b	継続	医師会、長野圏域中核都市圏での制度を継続	健康推進課	健康推進課

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課		
3-4「高齢者福祉」高齢者が生きがいを持って暮らせる環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 多くの高齢者が自分の経験・知識・能力を生かし、意欲や目標をもって社会参加をしています。 元気な高齢者が、支援を必要とする高齢者を支えるなど、地域の助け合い、支え合いの理念に基づいた社会(地域)貢献をしています。 生活習慣病予防に取り組み、健康増進や介護予防に努めています。 高齢者自らが、身体状況に合わせ、自らの意思と選択により質の高いサービスを利用しながら、住み慣れた地域で安心して暮らしています。 認知症の人やその家族に寄り添い、認知症があっても住み慣れた地域の中で安心して暮らしています。 	3-4-1 高齢者の生きがいと社会参加を支援する	(1) 元気な高齢者への支援	267	●高齢者の健康増進や教養の向上、高齢者同士や多世代の交流など、生きがい活動を通じてその能力を生かし、意欲や目標をもって社会参加ができるよう支援します。(総合戦略5-2①、③)	老人大学運営補助(H29~R2)	受講生111名(市内93名)、各種学習活動を通じ、教養を深めた。(R1)	b	継続	高齢者の生涯学習の場、地域活動やボランティア活動につながる意識啓発の場、お互いの仲間づくりの場として、引き続き老人大学への支援を行う。	高齢福祉課	高齢福祉課		
				268	●老人クラブなど的高齢者の主体的な活動を支援します。	老人クラブ活動費補助(H29~R2) 老人クラブ連合会補助(H29~R2)	ボランティア活動をはじめ各種活動を行う老人クラブに対し助成を行った。 47クラブ 2,084,068円(R1)	b	継続	引き続き、高齢者の社会活動を進めるため、ボランティア活動の参加や健康増進事業等老人クラブ活動に対し、活動の助成を行う。	高齢福祉課	高齢福祉課		
				269	●高齢者を中心に「健康体操」などの普及を進めます。(総合戦略5-4①)	健康寿命延伸事業	H29に「千曲市健康寿命延伸体操 あんぽいきいき体操」が完成し、各種事業をおして757回、延べ16,018人に普及啓発を行った。また、ポスターやDVDの無料貸し出し、YouTube動画配信での啓発も実施した。	b	継続	高齢者が自発的に介護予防の意欲的な取り組みを継続的に進めていくために、引き続き「あんぽいきいき体操」の活用を図る。	高齢福祉課	高齢福祉課		
			(2) 高齢者雇用対策の推進	270	●健康で働く意欲のある高齢者が、活力ある地域社会づくりに貢献していくために、シルバー人材センターなどの活用により、高齢者の雇用促進・働く場の創出を目指します。(総合戦略5-2②)	シルバー人材センター運営費補助(H29~R2)	会員の増強対策・受注の拡大を図るため、役職員を中心に企業等を訪問した。(R2新規入会者88名)	b	継続	高齢者が培ってきた経験・知識・能力を社会のために生かせる場として、引き続きシルバー人材センターの活動を支援する。	高齢福祉課	高齢福祉課		
				(1) 包括的なサービス提供・相談体制の確立	271	●高齢者福祉サービスのニーズに応じた提供体制を整備するとともに、高齢者の憩いの場としての居場所づくりに取り組みます。(総合戦略5-4③)	生活支援体制整備事業(H29~R2)	全圏域に生活支援コーディネーターが配置された。(6名)第1層(市全域)協議体会議を7回開催(R2)、支援等に向けての基盤づくりを進めた。また、研修会や地域のサロンに参加などをつうじて、コーディネーターや事業の意義を含めた周知を行った。	b	継続	全圏域に第2層協議体を設置し、引き続き地域の中に「地域支援」・「介護予防」の基盤づくりを進める。市民に地域の支え合い・助け合いの必要性などを理解してもらうため、区・自治会等に出向いての周知・啓発活動を充実させていく。	高齢福祉課	高齢福祉課	
					272	●総合相談支援事業として、高齢者や家族などの相談を受け、適切なサービスの利用につながるよう相談体制を整備します。(総合戦略5-4③)	総合相談支援事業(H29~R2)	・高齢者の総合相談窓口として地域包括支援センターを設置し、各種相談に応じた。 ・相談延件数19,581件(R1)	b	継続	令和2年4月に、市内3ヶ所目となるセンター、「更埴川東地域包括支援センター」をオープンさせた。今後も後期高齢者人口が増加し、高齢化率がアップしていく見通しであることから、センター機能の充実を図っていく。	高齢福祉課	高齢福祉課	
		(2) 介護予防の推進	273	●介護予防に関する知識の普及や啓発を図り、要介護状態などにならないための予防や重症化予防に重点をおいた活動を展開し、介護予防ボランティアの活動を支援します。(総合戦略5-4①)	介護予防普及啓発事業・地域リハビリテーション活動支援事業・地域介護予防活動支援事業	一般介護予防事業への参加率は年度によって差があった。H29が39.3%であったが、R2は新型コロナウイルスの影響により事業が中止・延期となり2.8%と落ち込んだ。	b	継続	一般介護予防事業の取り組みにより、高齢者自身の持つ能力の向上や、地域や家庭への社会参加の実現をめざす。	高齢福祉課	高齢福祉課			
			(3) 認知症対策の推進	274	●認知症の人が、住み慣れた地域で、尊厳のある生活を送れるよう、認知症への理解を広めるとともに、認知症の人やその家族が安心して暮らせるまちづくりを進めます。(総合戦略5-4②)	認知症総合支援事業・認知症サポーター等養成事業	認知症サポーター登録数が1,340人増加した。	b	継続	認知症に対する理解を深め、地域による見守り、支援体制づくりの取り組みを進める	高齢福祉課	高齢福祉課		
				3-4-3 介護サービスの利用促進	(1) 介護サービスの質の確保	275	●サービス利用者の自立支援につながる適切なサービス確保のために、事業者指導育成や給付の適正化に向けた取組を進めます。(総合戦略5-4①)	介護給付適正化計画(H29~R2)	ケアプラン点検等を行い、給付の適正化に努めた。(R2は新型コロナウイルスの影響により実施しなかった。)	b	継続	第8期しなのの里ゴールドプラン21介護保険事業計画で掲げている。	高齢福祉課	高齢福祉課
		(2) 介護サービス基盤の整備	276		●「しなのの里ゴールドプラン21」と整合性を図りながら、国などの補助金を活用し、計画的に介護サービス基盤の整備を促進します。(総合戦略5-4③)	第7期しなのの里ゴールドプラン21(H29~R2)	第7期期間中に、複合型サービス(看護小規模多機能型居宅介護)が1か所整備されました。	a	継続	第8期計画で整備計画はないが、第9期しなのの里ゴールドプラン21介護保険事業計画策定に向け、整備の必要性について検討する必要がある。	高齢福祉課	高齢福祉課		
		くいみ者の自立を促す「障がい者福祉」障がい者で支える障がい	<ul style="list-style-type: none"> 自立しようががんばっている障がい者を、地域が積極的に応援しています。 障がいのある人もない人も、住み慣れた地域でお互いに尊重しあいながら、暮らしています。 障がいのある人が、必要な支援や福祉サービスを利用しながら、地域でいきいきと暮らしています。 	3-5-1 障がい者の社会参加を支援する	(1) 障がい者の社会参加の支援	277	●障がい者の社会参加に向け、啓発活動を推進し、交流などを促進します。	レクリエーション活動等支援 自立支援協議会全大会による啓発活動	平成29年度から令和元年度までは地域内事業所と連携を図りながら活動を実施。令和2年度は自立支援協議会のさんさんネット部会でのレクリエーション活動開催0回、全体会の開催0回(新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により)	b	継続	コロナ禍の中で、どのような活動ができるのかを検討していく必要がある。	福祉課	福祉課
						278	●手話通訳や外出支援などのボランティア活動の育成と活動を支援します。	手話奉仕員養成講座	平成29年度から令和2年度までの講座申込者数、41名、その内講座修了者数、27名。	b	継続	継続して事業を実施し、手話ボランティア活動の育成を支援していく。	福祉課	福祉課
(2) 障がい者が暮らしやすいまちづくりの促進	279				●障がい者などの利用に配慮した公共施設の整備や住宅改良の助成などを通じて、障がい者にとって暮らしやすいまちづくりを促進します。	障害者にやさしい住宅改良促進事業	H29年度、1名、630,000円 H30年度、2名、646,130円 R1年度、2名、731,400円 R2年度、無し	b	継続	継続して事業を実施	福祉課	福祉課		

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課		
くみをつくる 3-15 「障がい者福祉」障がい者の自立をみんなで支えるし	<ul style="list-style-type: none"> ・自立しようとがんばっている障がい者を、地域が積極的に応援しています。 ・障がいのある人もない人も、住み慣れた地域で互いに尊重しあいながら、暮らしています。 ・障がいのある人が、必要な支援や福祉サービスを利用しながら、地域でいきいきと暮らしています。 	3-5-2 障がい者が安心して生活できる環境をつくる	(1) 障がい者の雇用と就労支援の充実	280	●関係機関との連携を図り、職場実習、職場適応訓練などを実施するとともに、事業主などに障がい者雇用の促進について啓発を図ります。	介護・訓練等給付等事業費(就労系サービス費)	令和3年3月31日現在 就労移行支援 決定件数24件 就労継続支援A型 決定件数19件 就労継続支援B型 決定件数192件	b	継続	ニーズに即したサービス提供体制の確保と、相談支援体制、コーディネート体制の連携等を引き続き検討していく必要がある	福祉課	福祉課		
				281	●障がい者福祉施設の改修、施設の新設を支援します。	障害者支援施設等整備事業等補助金	H29年度、2件、10,871,000円 H30年度、1件、3,488,000円	b	継続	県や財政課と調整し対応する	福祉課	福祉課		
			(2) 障がい者の地域生活支援の充実	282	●障がい者が安心して地域生活が送れるよう支援します。	介護・訓練等給付等事業費 障害児通所給付事業	令和3年3月31日現在 介護・訓練等給付等事業費 決定件数502件 障害児通所給付 決定件数168件	b	継続	相談支援体制から、各種サービスへの連携強化のため、自立支援協議会を通じた協議・検討を重ねていく必要がある	福祉課	福祉課		
				283	●市民や市内事業者に「障害者差別解消法」の趣旨を啓発し、障がい者の状況に応じた合理的な配慮を促します。	障害を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領	例年、長野県出前講座による職員研修会を開催	b	継続	職員への啓発を通じ、障がいやその状態に応じた配慮等に関する理解を深めていく	福祉課	福祉課		
		(3) 障がい者の家族への支援	284	●障がい者に対する家族の理解は何にもまして大切なため、家族支援を図ります。	・基幹相談支援センター事業	令和2年度 相談件数 3,103件	b	継続	・家族のニーズ把握や介護者負担への軽減策など初期相談対応を継続して実施できる環境を維持していく	福祉課	福祉課			
		3-5-3 福祉サービスを充実させる	(1) 障がい者福祉施策の推進	285	●サービス提供体制の確立、効果的、効率的なサービス利用を促進し、自立支援給付、地域生活支援事業を推進します。	・介護・訓練等給付等事業費 ・成年後見制度普及啓発事業	・令和3年3月31日現在 介護・訓練等給付等事業費 決定件数 約500件 ・令和2年度 成年後見制度相談件数282件	b	継続	・適正なサービス支給と地域の体制整備の確保・維持の検討が必要 ・成年後見制度の利用促進のため、計画に基づく中核機関等の設置に向けた検討が必要	福祉課	福祉課		
				286	●障がい者が住み慣れた地域社会で安心して生活を送れるよう、「障害者計画」「障害福祉計画」に従い、生活環境の整備を継続して進めるとともに、各種サービスの充実を図ります。	・地域自立支援協議会の運営	・令和2年度 自立支援協議会(運営委員会3回、事業所連絡会3回、各種部会定期開催)	b	継続	・適正なサービス支給と地域の体制整備の確保・維持のため、各種計画に基づき協議する場としての地域自立支援協議会を中心に検討を重ねていく	福祉課	福祉課		
		3-16 「生活支援」安定した生活を送れるまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・だれもが健康で文化的な生活を送っています。 ・福祉医療制度をはじめ各種制度が十分理解され活用されています。 ・医療保険制度の財政基盤が安定し、安心して医療が受けられる環境となっています。 ・一人ひとりが自らの健康管理により、健康な日常生活を送っています。 ・年金受給権が確保され、安心した老後を送れます。 	3-6-1 生活基盤の安定を支援する	(1) 低所得者に対する支援の充実	287	●千曲市生活就労支援センター(まいさぼ千曲)の充実を図り、生活困窮者の自立に向けた支援に努めます。	・生活困窮者自立相談支援事業	令和2年度 自立相談支援事業相談件数 延5,794件 家計相談支援事業 延756件	a	継続	・生活困窮者が抱える問題は多岐にわたるため専門員による必要な助言・情報提供・相談が必要不可欠である ・相談件数の増加により職員体制の強化が必要	福祉課	福祉課
						288	●被保護世帯の実態に即した処遇方針により、生活保護制度の適正な運営を図り、自立に向けた援助に努めます。	・生活保護受給者就労支援事業 ・生活困窮者学習支援事業	令和2年度 支援者数 11名 ※内職安と連携したチーム支援 4名 企業訪問件数 0件(コロナ禍で自粛) ※参考H28~R1、720件訪問 学習支援事業 1名 職安と連携したチーム支援 4名	b	継続	・地域企業・公共職業安定所との連携を密にする事で、就労先の確保、就労後の生活保護受給者等のケアに繋げていく ・稼働能力のある生活保護受給者には積極的に就労支援を行っていく	福祉課	福祉課
						289	●民生委員などと連携し、相談機能の充実を図り、自立に向けた援助に努めます。	・民生委員さんからの生活困窮者の情報提供と連携	・民生委員からの生活困窮者の情報提供等との連携により支援へとつながられた	b	継続	・民生委員との連携により、引き続き生活困窮者の実態把握を行い支援へつなげる	福祉課	福祉課
(2) 福祉医療制度の充実	290				●経済負担の軽減を図るため、福祉医療制度の充実に努めます。	福祉医療費制度の適正給付	制度に沿った適正な給付を実施	b	継続	県動向と併せた制度の充実に努める	健康推進課	健康推進課		
(3) 公営住宅の管理	291			●住宅困窮者に対応した公営住宅の計画的な管理を行います。	千曲市市営住宅長寿命化計画策定事業	策定した。	a	継続	本計画に基づき計画的に実施する。	建設課	建設課			
3-6-2 健全・適正な社会保障制度の運営を行う	(1) 国民健康保険制度の円滑な運営			292	●国民健康保険が長期的に安定運営できるよう、財政基盤の強化を図ります。	国民健康保険の安定運営	安定運営の実施	a	継続	安定運営に努める	健康推進課	健康推進課		
				293	●「特定健康診査等実施計画」及び「保健事業実施計画(データヘルス計画)」に基づき、生活習慣病の発症及び重症化予防を支援します。	特定健康診査・特定保健指導	国保データベース(KDB)を活用し、分析した結果から事業を展開	a	継続	{特定健康診査等実施計画}及び「保健事業実施計画(データヘルス計画)」の推進をする。	健康推進課	健康推進課		
				294	●特定健康診査・保健指導により、生活習慣病有病者・予備群を減少させるとともに、医療機関から自治体に請求される国民健康保険の請求書を点検すること(レセプト点検)により、医療費の適正化に努めます。	特定健康診査・特定保健指導	国保データベース(KDB)を活用し、医療費分析を実施	a	継続	「保健事業実施計画(データヘルス計画)」の推進をする。	健康推進課	健康推進課		
				295	●運営の県域化に向けて、着実な準備を行います。	県ワーキンググループ参加による統一準備	県によるロードマップ作成	a	継続	ロードマップに沿い準備を行う	健康推進課	健康推進課		
				(2) 後期高齢者医療制度・介護保険制度の安定運営	296	●後期高齢者医療制度の安定運営を確保します。	後期高齢者医療制度の安定運営	安定運営の実施	a	継続	安定運営に努める	健康推進課	健康推進課	
297	●医療保険と介護保険の連携を図りながら、制度の周知と安定運営に努めます。	制度周知、安定運営	広報等による制度周知の実施 安定運営の実施		a	継続	関係課と連携し安定運営に努める	健康推進課	健康推進課・高齢福祉課					
(3) 国民年金制度の充実		298	●関係機関と連携を図りながら、広報活動や年金相談などを通じ、制度の普及・啓発に努めます。	毎年度、委託による市の年金相談、及び年金事務所による出張相談を実施。	H29~R2年度で延べ3,374人の年金相談を実施した。	b	継続	引き続き相談業務を実施しながら、年金制度の普及と市民の利便性の向上を図って行く。	市民課	市民課				
		299	●免除などの案内により、保険料未納者の解消と未加入者への適用推進に努め、市民の年金受給権の確保を図ります。	免除制度について、市報及びホームページに掲載し啓発を図ると共に、窓口での案内を積極的に行う。	R2年度末 保険料納付率78.0% 全額免除率31.2%	b	継続	今後は郵送による免除勧奨等も行い、未納者の減少と納付率向上を図って行く。	市民課	市民課				

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
4 災害に強く、安全で心穏やかに暮らせるまち												
4-1-1【安全・安心】安全で安心な暮らしを確保する	<p>〈防災〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の危機管理意識が高まるとともに、防災施設、避難経路等の整備(ハード施策)とハザードマップの活用・避難訓練の実施(ソフト施策)の組合せにより災害時に迅速かつ的確に対応できる体制が整い、災害に強いまちが形成されています。 <p>〈交通安全〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が高い交通安全意識を持ち、交通マナーが徹底されています。 交通事故発生件数、死者・負傷者数が大幅に減少しています。 <p>〈防犯〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費者への正しい知識や情報が提供され、消費者トラブルがなくなっています。 地域、関係者が連携して防犯活動が行われ、犯罪件数が減少しています。 	4-1-1 災害に強いまちをつくる	(1) 千曲市国土強靱化地域計画の策定	300	●甚大な被害の復旧・復興の対策とともに、人命を守り、経済社会への被害が致命的なものにせず迅速に回復を図る計画の策定を進めます。	千曲市国土強靱化地域計画	R03.03月策定	a	完了	千曲市総合計画等の改定に合わせ見直し	危機管理防災課	危機管理防災課
			(2) 防災計画等の整備・策定	301	●防災基本計画、県地域防災計画の修正を反映し、必要に応じ計画の見直しを行います。	千曲市地域防災計画	R02.12月修正	a	継続	防災基本計画、長野県地域防災計画の修正に合わせ見直し	危機管理防災課	危機管理防災課
				302	●災害時に行政組織として機能を維持するための「業務継続計画」(BCP)を策定します。	千曲市業務継続計画	R02.08月新型コロナウイルス等対策編策定 R03.03月震災対策編改定	a	完了	組織改編等による見直し	危機管理防災課	危機管理防災課
			(3) 危機管理意識の高揚と総合防災体制の整備	303	●総合防災訓練や地区防災懇談会などを開催し、市民の危機管理意識の高揚を図ります。(総合戦略4-5①)	千曲市総合防災訓練	新型コロナウイルス感染症対策のため未実施	b	継続	繰り返しの啓発、訓練による防災意識の向上	危機管理防災課	危機管理防災課
				304	●区・自治会単位で、地域を守る自主防災組織の組織強化とともに「地区防災計画」策定に向けた支援を行います。(総合戦略4-5①)	地区防災計画策定	地区、地域での策定 R02年度は1地区(上徳間区)で策定	b	継続	計画策定のマニュアル作成と地区、地域への周知	危機管理防災課	危機管理防災課
				305	●要支援者、要配慮者に対する災害時の支援体制を充実します。	災害時避難行動要支援者名簿及び個別支援計画作成	区毎に要支援者名簿及び個別支援計画を作成	b	継続	福祉職員等と協力した要支援者への支援体制づくり	危機管理防災課	危機管理防災課・高齢福祉課
				306	●「災害時相互応援協定」を踏まえ、大規模災害で被災した場合の対応を検討します。(総合戦略2-3②)	災害応援協定	民間事業者等と災害時の応援協定を締結 R03年度は3事業者と締結	b	継続	災害応急対策のため民間事業者との協定締結の推進	危機管理防災課	危機管理防災課
				307	●企業が自然災害等の緊急事態に遭遇した場合において、重要業務の継続あるいは早期復旧を図っていくための「事業継続計画」(BCP)の策定づくりを支援します。	千曲市国土強靱化地域計画の策定・商工団体とのSDGs包括連携協定による推進	・計画策定により、まちづくりや産業施策を含めた総合的な対策を盛り込んだ。 ・持続可能な経営のためBCP策定を啓発する。	c	継続	国際社会が目指す目標を市内商工団体、事業者など一丸となり取り組み持続可能な社会構造を目指します。包括連携協定によるBCP策定支援を促す。	産業振興課	産業振興課・危機管理防災課
				308	●デジタル防災行政無線の整備を進めます。(総合戦略4-5②)	デジタル防災行政無線整備	同報系、移動系のデジタル化	b	完了	屋外告知放送子局のデジタル化の推進	危機管理防災課	危機管理防災課
			(4) 消防・救急体制の充実	309	●消防・防災体制の充実強化を図るため、消防団員の確保と活動環境の整備を進めます。(総合戦略4-5①②)	消防団員入団促進事業 千曲市消防団サポートショップ事業	消防団員数については定数に達していない。 サポートショップは14事業所と充実した	b	継続	消防団員の確保が課題	危機管理防災課	危機管理防災課
			(5) 消防・防災施設の整備と資機材の充実	310	●防災施設や関連資機材を計画的に整備し、災害に備えます。	災害備蓄品の拡充	避難所設営用の備蓄品等の購入	b	継続	備蓄品の拡充	危機管理防災課	危機管理防災課
				311	●消防資機材の充実を図ります。	消防施設管理事業	簡易無線機整備 R1 22台、R2 30台	b	継続	消防資機材の拡充	危機管理防災課	危機管理防災課
				312	●災害時の緊急情報伝達手段として、屋外告知放送システムやメール配信システム、SNSの有効活用を図ります。	メール配信サービスの周知、登録者の加入促進	メール配信サービス加入促進	b	継続	メール配信サービスの周知、加入促進及びSNS等を利用した防災情報の発信	危機管理防災課	危機管理防災課
			(6) 耐震、治水・治山対策の充実	313	●木造住宅の耐震化対策を推進します。	H29~R2年度 住宅・建築物耐震改修事業	耐震診断 241件、耐震改修 9件	c	継続	耐震診後、耐震性のない住宅の改修工事の実施状況が良くない。戸別訪問をして、危険性の周知及び耐震改修補助等の説明を行い、住宅所有者に対し直接的に耐震化を促していく。	建設課	建設課
				314	●1級河川の整備を国・県など関係機関に働きかけるとともに、市が管理する河川や下排水路の整備を進めます。	河川整備事業(沢山川、東林坊川)	沢山川：令和元年東日本台風で被災した堤防の災害復旧工事(L=232m)完了(R2~R3) 堤防強化としての天端舗装(L=2,800m)を実施中(R2~R3)。県による沢山川の内水氾濫シミュレーションで効果的な治水対策を検討(R2)。東林坊川：沢山川流域の浸水を低減するための対策として、分水箇所の改修を実施(R2~R3)	b	継続	沢山川：セミバック堤として整備済のため、バック堤にするには多額の事業費が必要なことから、県によるシミュレーションの結果を踏まえ、県への要望内容を期成同盟会とともに再検討していく必要がある。 東林坊川：水門管理や分水方法について沿川に関わる地元区の理解が得られるよう丁寧に説明し、狭隘箇所を早急に整備しながら今後の集中豪雨時の浸水被害軽減を図る。	建設課	建設課・都市計画課・農林課
315	●山地部の沢や溪流などの治山・砂防事業を推進します。	砂防事業(日影沢、矢ノ口沢)		日影沢は用地難航箇所がR2に契約となりR3より工事施工中。矢ノ口沢はR1の測量調査設計を踏まえR2に地元説明会を行い関係者への了承後、用地測量、補償調査等を実施中。	b	継続	県事業のため、県と連携を図り地元調整など事業推進に協力しながら、早急な砂防施設完成を目指す。	建設課	建設課			

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
4-1【安全・安心】安全な暮らしを確保する	<p>〈防災〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の危機管理意識が高まるとともに、防災施設、避難経路等の整備(ハード施策)とハザードマップの活用・避難訓練の実施(ソフト施策)の組合せにより災害時に迅速かつ的確に対応できる体制が整い、災害に強いまちが形成されています。 <p>〈交通安全〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が高い交通安全意識を持ち、交通マナーが徹底されています。 交通事故発生件数、死者・負傷者数が大幅に減少しています。 <p>〈防犯〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費者への正しい知識や情報が提供され、消費者トラブルがなくなっています。 地域、関係者が連携して防犯活動が行われ、犯罪件数が減少しています。 	4-1-2 安全で安心できる交通社会をつくる	(1) 交通安全意識の高揚と推進体制の充実	316	●交通安全意識の向上を図るため、広報・啓発活動を推進します。	交通安全啓発事業	交通安全市民大会が新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。関係団体と連携し、啓発活動を実施	b	継続	交通安全意識の向上が図られるよう事業を継続	生活安全課	生活安全課
				317	●交通安全推進機関・団体と連携し、交通安全運動を推進します。	交通安全啓発事業	関係団体と連携し、季節別の交通安全運動を実施	b	継続	関係団体と連携し交通安全運動を継続	生活安全課	生活安全課
				318	●学校、幼稚園、保育園などにおける交通安全教育を推進します。	交通安全啓発事業	市内3小学校の交通安全教室について、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった	c	継続	交通安全教室に参加する等、園児・児童等の交通安全教育の推進を継続	生活安全課	生活安全課・教育総務課・保育課
				319	●県民交通災害共済加入促進を図ります。	交通災害共済組合加入事業	交通災害共済組合加入の推進を図った(38,067件・加入率64.4%)	b	継続	市報やホームページ等により加入推進活動を継続	生活安全課	生活安全課
			(2) 交通安全施設の整備	320	●交通安全施設の計画的な整備を国・県などと協力して進めます。	交通安全啓発事業	地域要望に基づき事業を推進。交通規制等については、千曲警察署へ要望	b	継続	計画的な整備を図るよう関係機関と連携し事業を継続	生活安全課	生活安全課
				321	●通学路や幹線道路に歩道の設置を進めるとともに、段差解消などのバリアフリー化を図ります。	交通安全対策事業	市道の歩道整備 H29/R2 L=1.9km	b	継続	狭小な道路幅員の市道であっても交通量は増加しており、道路改修計画に基づき通学路を主に学校及び地元要望と調整を図り、道路改良・歩道改修を計画的に実施し、円滑で安全な交通を確保していく。	建設課	生活安全課・建設課・教育総務課・福祉課
				322	●大切なインフラである道路を長期にわたり使えるよう傷んだ箇所の補修を行い、狭い道路は地域の力を得ながら拡幅整備します。	市道新設改良事業	地域要望に基づき事業を推進。	b	継続	道路整備計画に基づき関係機関と連携し事業を継続。	建設課	建設課
			(3) 生活道路の整備	323	●冬期間の交通確保を図るため、市民の理解と協働により効果的な除雪対策を進めます。	冬期交通対策事業	スマートICの24時間運用開始(H30)に伴い、大地区と除雪作業の委託契約締結。	b	継続	各地区における除雪作業の担い手不足の解消を図る。	建設課	建設課
				(1) 防犯対策の充実	324	●犯罪手口などの情報提供・啓発活動などにより、防犯意識の高揚を図ります。	防犯活動事業	特殊詐欺防止のため屋外放送による注意喚起及び啓発活動として出前講座を実施	b	継続	犯罪防止が図られるよう事業を継続	生活安全課
			325		●防犯関係団体・機関や地域と連携し、パトロールなど防犯活動を積極的に推進します。	防犯活動事業	防犯関係団体と連携し夜間パトロール等の防犯活動を実施	b	継続	関係団体と連携し事業を推進	生活安全課	生活安全課
			326		●関係団体・家庭・学校・ボランティアが連携して地域の防犯活動を進めます。	防犯活動事業	防犯関係団体と連携し夜間パトロール等の防犯活動を実施	b	継続	関係団体と連携し事業を推進	生活安全課	生活安全課
			327		●青色防犯パトロールを強化し、園児や児童を犯罪被害から守ります。	防犯活動事業	月1回青色防犯パトロールを実施	b	継続	青色防犯パトロールを継続	生活安全課	生活安全課
			328		●防犯灯の設置など、犯罪防止のための環境を整備します。	防犯灯LED化事業	千曲市防犯灯LED化事業(LED化防犯灯5,124基)	b	継続	新設及び維持管理を継続	生活安全課	生活安全課
			(2) 消費者トラブルの撲滅	329	●消費生活センターにおける相談業務の充実を図ります。	消費者保護対策事業	研修会等に参加し相談業務に必要な知識の向上に努めた	b	継続	現相談体制(相談員2名)の維持及び相談員の知識向上に向けた取り組みを継続	生活安全課	生活安全課
330	●消費者に対し、正しい知識の普及と情報提供を図ります。	消費者保護対策事業		特殊詐欺防止のため屋外放送による注意喚起及び出前講座を実施	b	継続	消費者の知識向上及びトラブルの未然防止を図る取り組みを継続	生活安全課	生活安全課			
4-2【公園・緑地】花や緑があふれる潤いのあるまちをつくる	<p>・散策・遊び・スポーツ・交流・自然などのふれあいを楽しむ市民のレクリエーションの場や子育て・高齢者の憩いの場として、公園・緑地が利用されています。</p> <p>・地震、洪水や土砂崩れなどの災害時に避難場所として活用できる安全で安心なオープンスペースとして、公園や緑地が整備されています。</p> <p>・地域の公園は、地域住民や各種団体などの協力により維持・管理されています。</p> <p>・街路沿いの植栽など市民による緑化活動が市内全域で行われ、保存樹木や保存樹林が風景のポイントになるなど、美しいまちが形成されています。</p>	4-2-1 誰もが心地よく感じるオープンスペースをつくる	(1) 公園・緑地の整備・活用	331	●計画的な公園・緑地の整備と適正な活用を図ります。	上徳間公園(仮称)整備工事	地域住民との協働と参画による維持管理、清掃活動の合意を得られた上徳間公園1,583㎡について整備を実施した。	c	継続	市内全体の公園。緑地の不足エリアの解消や既存公園の長寿命化を踏まえ、施設整備を進める必要がある。	都市計画課	都市計画課
				332	●地域住民や各種団体などとの協働により、公園・緑地の整備や維持管理・清掃活動を進めます。	千曲市都市公園等管理業務委託 街区公園等管理委託	新規公園、トイレはもとより、45公園の内25公園及び31箇所のトイレの内12箇所を地域住民などとの協働と参画により維持管理・清掃活動を実施した。	c	継続	人口減少や高齢化が進む中で、維持管理や清掃活動を地域住民や各種団体に引き続き求めていく難しさがある。	都市計画課	都市計画課
			(2) 施設・遊具の安全・管理	333	●施設の老朽化対策を講じ、長寿命化を図ります。	公共施設等適正管理推進	老朽化した四阿、パーゴラ等11基の内、令和2年度に6基分について長寿命化(更新)事業を実施した。	b	継続	撤去する施設とするのか、長寿命化(更新含む)する施設とするのかを早い段階で見極め、事業を推進する必要がある。	都市計画課	都市計画課
				334	●施設・遊具を恒常的に点検し、適正な対策を講じます。	公園施設長寿命化対策支援事業	市による月1回の日常点検及び専門技術者による年1回の定期点検を実施し、適正な対策を講じた。	b	継続	令和4年度に長寿命化計画を策定し、令和5年度から令和14年度までの10年間で施設の長寿命化(更新)を図る。	都市計画課	都市計画課
				335	●区・自治会で管理する遊具の安全が確保されるよう、新設・修理・撤去を支援します。	千曲市コミュニティ振興対策事業補助金(市民協働課)	平成29年度から令和2年度までの実績として8件の申請があり、支援を行った。	c	継続	区、自治会での点検実施を再度周知し、引き続き安全確保に努める必要がある。	都市計画課	都市計画課
			(3) 身近な緑化の推進	336	●区や自治会など市民が主体的に行う植栽などを支援し、緑化意識の高揚を図ります。	緑の基本計画推進事業	平成30年度は7件、除く平成29年度以降は8件の市民団体に委託し、結果推進に繋がり、令和3年度は10件となった。	b	継続	若い世代の参加が少ない。緑化の魅力を伝える具体的施策が必要である。	都市計画課・環境課	都市計画課・環境課
				337	●保存樹木などの所有者に、保全について必要な指導や助言を行います。	緑化の推進及び緑の保全	H30 1本、R2 3本について、樹木診断を行い、保全について必要な指導を行った。	b	継続	自然環境を確保し、美観風致を維持するため、引き続き、必要な指導や助言を行う。	環境課	環境課

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課	
4-3【上下水道】きれいな水の循環を保つ	<ul style="list-style-type: none"> 各家庭で安全でおいしい水が提供されています。 下水道の普及により河川が浄化され、衛生的で快適な生活を送ることができます。 河川・地下水の浄化により、水の利用が拡大されています。 水辺にホテル、トンボなどの多様な生き物が復活しています。 	4-3-1 安全でおいしい水を安定して供給する	(1) 上水道普及率の向上	338	●県営水道の普及率向上を図ります。	千曲市水道配水管整備事業補助金	申請があった5件に助成した。	b	継続	周知を行い申請があればその都度対応する。	上下水道課	上下水道課	
				339	●県営・市営水道ともに水道水の安全・安定供給を図り、健全経営に努めます。	平成28年度千曲市上水道事業経営戦略の策定	管路布設替を行い、水道の安全・安定供給を図った。	b	継続	経営戦略の見直しを行い、計画と実績の差異や原因の分析を行う。	上下水道課	上下水道課	
				340	(2) 上水道の安定供給	●市営水道施設の適正管理を行い耐震化・長寿命化を図ります。	千曲市営水道ビジョン	広域連携検討により将来的な必要性が明確になるまでは優先順位がつけられないことから大規模な改修や更新は行わず修繕での対応とした。	c	継続	広域化事業検討結果次第で今後の方向性を決定する。	上下水道課	上下水道課
				341	●隣接事業者との広域化について検討を行います。	水道事業広域連携推進	水道施設の最適配置計画を検討する調査を実施。	b	継続	国、県、他事業者と協議を進め最適な広域連携事業を行う。	上下水道課	上下水道課	
		4-3-2 生活排水やし尿を適切に処理する	(1) 下水道の整備促進	342	●下水道の未整備地区の解消を図るとともに、水洗化率の向上を図ります。	千曲市公共下水道事業 管路工事	令和2年度未整備率93.7%、面整備は完了した。	a	継続	未整備地区（農地から宅地へ造成する箇所）については申請があったところで整備を行う。	上下水道課	上下水道課・廃棄物対策課・環境課	
				343	●公共下水道事業の計画区域外においては、合併浄化槽の設置促進を図ります。	合併処理浄化槽設置対象補助金	補助金対象エリアのため、住民に周知し、申請があれば応じている。	b	継続	補助金の対象エリアだと周知をしていても、人口減により申請は少なくなってきたが、今後も申請があればその都度対応する。	上下水道課	上下水道課・廃棄物対策課・環境課	
				344	●下水道経営の安定化を目指します。	平成28年度千曲市下水道事業経営戦略の策定	経営基盤を強化し、持続可能で安定な経営を実現するために、窓口徴収業務を民間委託した。	a	継続	経営戦略の策定から5年経過したことから、計画の見直しをし、計画と実績との乖離やその原因を分析するとともに、その結果を次期戦略へ反映する。	上下水道課	上下水道課	
				345	●下水道施設の維持管理を徹底します。	令和2年度 下水道ストックマネジメント計画策定	令和2年度業務委託完了、引き続き令和3年度の業務委託を実施し策定する。	b	継続	策定した計画を基に施設調査を実施し、修繕及び更新を行う。	上下水道課	上下水道課	
				346	(2) 安定したし尿処理体制の構築	●下水道の普及にともなうし尿・浄化槽汚泥の減少に対応した安定的な収集や処理体制の構築を図ります。	し尿・浄化槽汚泥処理事業	R2し尿7,042kℓ 浄化槽汚泥3,175kℓ 収集許可業者：し尿2社 浄化槽汚泥5社	a	継続	下水道普及にともない今後も減少が見込まれるが、今後も安定した収集と処理の体制を確保していく。	廃棄物対策課	上下水道課・廃棄物対策課・環境課
				4-3-3 地下水汚染を防止する	(1) 地下水の保全	347	●公害等環境調査を定期的に行い、地下水汚染等を監視します。	令和2年度公害対策事業	地下水汚染調査の結果からは、河川への影響は見られない。	b	継続	下水道接続率を上げるよう依頼していく。	環境課
		348	●工場排水や生活排水などを監視するとともに県や関係機関と連携を図ります。			令和2年度公害対策事業	工場排水検査からは、排出基準を超えていないが、結果は注視をしていく。	b	継続	工場が増える中、調査地点の精査を検討する必要も視野に入れる。	環境課	環境課	
		349	●肥料の適正使用や畜産の糞尿の適正な処理を農業団体などと連携して推進します。			県と連携した定期巡回（H29～R2）	県、JA、長野家畜保健所等と連携し、毎月の畜舎巡回を行い、畜舎付近住民からの苦情が0件と減少した。	b	継続	苦情は0件になったものの、時期によってはハエの繁殖が盛んになってしまうため、経過観察が必要である。	農林課	農林課・環境課	
		(2) 環境情報の公表	350		●環境情報や公害防止に向けた取組を環境報告書（「環境白書」）で公表します。	令和2年度公害対策事業	環境白書掲載を通じて、調査結果を広く周知できている。	b	継続	今後も継続していく。	環境課	環境課	
			351	●公害等環境調査の結果は、市報やホームページなどで公表します。	令和2年度公害対策事業	ホームページに広く掲載することで、市民に広く周知できている。	b	継続	今後も継続していく。	環境課	環境課		
を4つ4つ【ごみ処理】「もったいない」の心を大切にす循環型社会	<ul style="list-style-type: none"> 「ずくを出してごみを減らす」ことが、市民の日常生活の中にいきづいています。 「日頃から使い捨てでない、地球にやさしい製品」を選んで購入しています。 「不法投棄、ポイ捨て対策」の取組が確立されています。 	4-4-1 計画的なごみ処理対策を進める	(1) ごみ処理対策の推進	352	●ごみの分別方法やリサイクルについて情報提供や指導を行い、分別収集の徹底を図ります。	環境行政説明会開催 公害監視員・ごみ減量等推進員 生ごみの減量・堆肥化 食品ロス削減事業・2010運動 使用済小型家電無料回収 使用済充電電池・携帯電話・インクカートリッジ等の回収	<ul style="list-style-type: none"> 区長、自治会長、ごみ減量等推進員を通し、ごみ分別やリサイクルの推進を図った。 市報やHPへの掲載等により、市民に対し分別の周知、啓発を行った。 左記事業の実施により、他団体等と連携しながらリサイクルの取り組みを推進した。 	a	継続	<ul style="list-style-type: none"> 分別方法の変更や新しいリサイクル方法等があれば積極的に周知・啓発を行う。 リサイクルの推進に加え、SDGSや他団体の取り組みなどと運動させた活動を展開していく。 	廃棄物対策課	廃棄物対策課	
				353	●ごみ収集箇所と収集体制の見直しを進めます。	一般廃棄物収集所設置事業補助金 一般廃棄物収集運搬業務委託に伴う打合せ会議	<ul style="list-style-type: none"> 世帯増の地域におけるごみ収集所の新設に対し、補助金を交付し収集所の整備を図った。R2補助金交付：9件 会議等において収集運搬業者から意見を伺い、随時収集体制の見直しを図った。 	a	継続	<ul style="list-style-type: none"> 世帯増の増減は地域によって異なり、地域の実情に応じて収集所の整備を進めていく。 社会情勢や収集業者の意見も参考にしながら、より良い収集体制の整備を図る。 	廃棄物対策課	廃棄物対策課	
				354	●排出ルールを守らない不適正排出に対する指導を強化します。	環境行政説明会開催 公害監視員・ごみ減量等推進員	<ul style="list-style-type: none"> 収集所管理者である区・自治会と連携し、啓発看板の提供や助言等を通し不適切排出の防止・抑制に努めた。 	b	継続	今後も区・自治会と連携を図るとともに、市外からの転入者や外国人等、分別に不慣れな方々に対し丁寧な説明等を行い不適切排出の減少を図る。	廃棄物対策課	廃棄物対策課	
				355	●長野広域連合が計画するごみ焼却施設の建設推進を図ります。	広域焼却施設対策事業	R元年度 地権者との用地補償契約の締結 R元年度 (仮称)長野広域連合B焼却施設整備及び運営事業安全祈願祭 R3年度 (仮称)長野広域連合B焼却施設試運転開始	a	継続	R4年度に、(仮称)長野広域連合B焼却施設の本格稼働を行う。R4年度に、地元要望である余熱利用施設の開館を行う。焼却施設の周辺整備や地元振興策を進める。	廃棄物対策課	廃棄物対策課	

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
4-4【ごみ処理】「もったいない」の心を大切に作る循環型社会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 「ずくを出してごみを減らす」ことが、市民の日常生活の中にいきづいています。 「日頃から使い捨てでない、地球にやさしい製品」を選んで購入しています。 「不法投棄、ポイ捨て対策」の取組が確立されています。 	4-4-2 ごみを出さない出ない生活を目指す	(1) 循環型社会形成に向けた運動の展開	356	●分別区分の見直しと分別の徹底により資源化を促進します。	ごみ減量・資源化事業 水銀体温計・血圧計の分別回収 使用済充電電池の分別回収	H27リサイクル率21.1%⇒R2 16.8% H30より、水銀使用製品の拠点収集開始(従来は不燃ごみで収集) R元より、使用済充電電池の拠点回収開始(従来は回収協力店での回収)	b	継続	民間店舗等での資源物回収を利用する市民が増えているため、リサイクル率が低下している。しかし、容器包装プラスチックなど店頭回収を行っていない品目の回収量は減っていないので、分別の精度が低下しているわけではない。	廃棄物対策課	廃棄物対策課
				357	●資源化できる新たな収集品目について検討します。	古布の収集品目拡大	H27古布10トン⇒R2古布38トン 綿製品以外も資源物として排出可	b	継続	今後、プラスチック製品の一括回収の検討を行う。	廃棄物対策課	廃棄物対策課
				358	●市民・事業者との協働事業により、食品トレイやレジ袋の削減を進めます。	マイバッグ持参啓発活動	市内スーパー8店舗で店舗前啓発・持参率調査を行った。持参率：H29 63.5%、H30 65.6%、R1 69.7%、R2 91.3%	b	継続	マイバッグの持参率は上昇傾向にあるが、今後も一過性で終わらせることなく活動を継続していく。	環境課	環境課・廃棄物対策課
				359	●ダンボールコンポストなど、生ごみの有機性資源としての活用を進めます。	生ごみ堆肥化講習会 生ごみ処理機設置補助金	R元講習会4回開講 R2講習会1回開講 R2生ごみ処理機設置補助金44件	a	継続	R2はコロナ禍により講習会1回のみ開講となった。生ごみの資源化は可燃ごみ減量に有効な手段である。	廃棄物対策課	廃棄物対策課
				360	●ごみ処理有料化による減量効果の維持に努めます。	ごみ処理有料化	H27収集可燃ごみ8,009トン⇒R2収集可燃ごみ7,793トン	a	継続	収集可燃ごみの減量が維持できている。有料化制度継続とともに、効果や処理手数料を検証していく。	廃棄物対策課	廃棄物対策課
				361	●事業系ごみなどの減量・資源化を推進するため、指導を強化します。	多量排出事業者への「資源化、排出抑制及び減量に関する計画書の提出義務付け 多量排出事業者訪問調査・指導	H27事業系可燃ごみ4,775トン⇒R1事業系可燃ごみ4,984トン⇒R2事業系可燃ごみ4,452トン	a	継続	事業系ごみ量は経済情勢等に大きく左右される傾向があるが、今後も指導を継続していきたい。	廃棄物対策課	廃棄物対策課
				362	●区・自治会や市民と協力して、監視と通報体制の強化を図ります。	環境行政説明会開催 公害監視員・ごみ減量等推進員委嘱	左記会議での監視・通報の依頼	b	継続	引き続き監視と通報体制の強化を図り、不法投棄のない環境づくりを進める	廃棄物対策課	廃棄物対策課
				363	●不法投棄されない環境づくり(看板・柵・監視カメラ等の設置)を進めます。	啓発看板設置 フェンス設置 監視カメラ設置	啓発看板を年間約30枚ほど設置 R元フェンス1ヶ所設置 監視カメラR2現在6ヶ所設置中	a	継続	区・自治会や警察と協力し、実施していく。	廃棄物対策課	廃棄物対策課
				364	●不法投棄防止パトロールを強化します。	不法投棄防止パトロール	2人で12日/月パトロール実施 不法投棄回収量R2可燃物1,855kg 不燃物1,380kg	a	継続	引き続きパトロール及び不法投棄物回収を実施、環境美化に努める。	廃棄物対策課	廃棄物対策課
				4-5【地球環境保全】地球環境の保全を意識した社会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 身近な暮らしの中で自然と共生する循環型社会が構築されています。 市民、事業者、行政は共に協力し環境負荷を減らすよう取り組んでいます。 環境団体や市民と連携してさまざまな環境プロジェクトを実践しています。 家庭や事業所では、省エネルギーの積極的な取組や、再生可能エネルギーの利用が高まっています。 	4-5-1 環境にやさしい行動を広める	(1) 環境意識の高揚	365	●自然観察会、環境に関する講演会の開催などを通じて理解を深めます。	自然観察会	NPO千曲市環境市民会議が主催で千曲市の自然ガイドブックを活用した自然観察会を行った。	b
366	●ISO14001、エコアクション21など、環境活動に取り組む事業者を増やします。	環境活動推進	僅かではあるが、環境活動に取り組む事業者が増加傾向にある。(H29 31事業所・H30 32事業所・R1 34事業所)					b	継続	基準値より増加しており、環境意識が高まりつつある。2050年ゼロカーボンに向け、情報を発信し、推進していく。	環境課	環境課
367	●「第二次環境基本計画」や「第二次地球温暖化対策推進計画」を実行します。	各種施策の推進	各種事業について、計画に沿って推進を行った。					b	継続	県目標の2030年度に温室効果ガス正味排出量60%削減を目指すため、市としての計画の見直しが必要になる。	環境課	環境課
368	●家庭や事業所では環境負荷の少ないエコ商品や省エネ商品の使用に努めます。	省エネルギー推進	環境月間の6月に合わせ、市報やホームページへ身近にできる環境保全活動の紹介を行った。					b	継続	今後も継続していく。	環境課	環境課
369	●チェックシートを活用したCO2削減の取組を推進します。	省エネルギー推進	児童への負担を減らすため平成30年度でチェックシートの取り組みを終了した。			d	廃止	今後もチェックシートへの取り組みは行わない。	環境課	環境課		
4-5-2 公害の心配のないまちをつくる	(1) 環境調査等の充実	370	●地域に密着した公害監視員体制を充実させ、日常生活における公害等を未然に防止します。			令和2年度環境推進事業	各71区から128名の公害監視員を委嘱し、日常生活の公害を監視していただいている。	a	継続	コロナ禍で2年間研修が行えていないため、必要に応じて指導を行っている。	環境課	環境課
		371	●さまざまな公害問題に迅速に対応するため県や関係機関と連携強化を図ります。			令和2年度公害対策事業	事案によっては、長野地域振興局や長野保健福祉事務所と連携しながら、問題の解決をしている。	a	継続	今後も関係機関とは密な連携をしていく。	環境課	環境課
		372	●生活騒音などの生活型公害は、市民が利用しやすい相談窓口を充実します。			令和2年度公害対策事業	年間200件を超える苦情に対して、現場に赴き迅速な対応を行い、解決している。	b	継続	少ない人員で解決にあたるため、人手不足になる可能性がある。	環境課	環境課
		373	●環境情報や公害防止に向けた取り組み状況を環境報告書(「環境白書」)で公表します。	令和2年度公害対策事業	環境白書掲載を通じて、調査結果を広く周知できている。	b	継続	今後も継続していく。	環境課	環境課		
374	●公害等環境調査の結果は、市報や市ホームページなどで公表します。	令和2年度公害対策事業	ホームページに広く掲載することで、市民に広く周知できている。	b	継続	今後も継続していく。	環境課	環境課				

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
4-5 【地球環境保全】 地球環境の保全を意識した社会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 身近な暮らしの中で自然と共生する循環型社会が構築されています。 市民、事業者、行政は共に協力し環境負荷を減らすよう取り組んでいます。 環境団体や市民と連携してさまざまな環境プロジェクトを実践しています。 家庭や事業所では、省エネルギーの積極的な取組や、再生可能エネルギーの利用が高まっています。 	4-5-3 地球温暖化対策を進める	(1) 環境教育の充実	375	●小中学校における環境教育を充実し、環境意識を高めます。	環境学習の推進	各学校で環境教育に取り組む学年に環境冊子を配布している。希望する学校には環境課職員による冊子を活用した環境学習を実施している。	b	継続	子どもたちの自然環境や社会環境に対する意識を高めるため、今後も継続していく。	環境課	環境課・教育総務課
				376	●学校・保育園・幼稚園への出前講座、親子環境学習などを支援します。	環境学習の推進	各学校で環境教育に取り組む学年に環境冊子を配布している。希望する学校には環境課職員による冊子を活用した環境学習を実施している。	b	継続	子どもたちの自然環境や社会環境に対する意識を高めるため、今後も継続していく。	環境課	環境課
				377	●講演会や学習会を通して、家庭でできる地球温暖化対策の普及を図ります。	環境学習の推進	依頼があった市民団体へ地球温暖化について出前講座を行った。	b	継続	市民の自然環境や社会環境に対する意識を高めるため、今後も継続していく。	環境課	環境課
			(2) 温室効果ガス削減対策の推進	378	●「第二次地球温暖化対策推進計画」に基づき、エコドライブ、ゴミの減量化、節電など、日常生活における温室効果ガスの削減に向けた取組の普及を図ります。	エコドライブ啓発活動	エコドライブ推進月間の11月に合わせ、交差点の歩道上に啓発用横断幕を掲げ、通行中のドライバーにエコドライブの啓発を行った。	b	継続	今後も継続していく。	環境課	環境課
				379	●環境負荷の少ないLED照明などの省エネ商品や節水型商品の使用に努めます。	省エネルギー推進	市役所庁舎ではLED照明、地中熱の利用、太陽光発電、雨水の再利用など環境に十分配慮している。また、市内防犯灯を、LED照明に付け替えた。	b	継続	今後も、市有施設などの建て替えや改修がある場合は積極的な導入を推進していく。	環境課	環境課
				380	●フロン回収や代替フロンの使用削減に努めます。	温室効果ガス削減の推進	環境法令研修を行い、管理施設では法令を順守した管理を行っている。	b	継続	今後も継続していく。	環境課	環境課・廃棄物対策課
				381	●チェックシートを活用したCO2削減の取組を推進します。	省エネルギー推進	児童への負担を減らすため平成30年度でチェックシートの取り組みを終了した。	d	廃止	今後もチェックシートへの取り組みは行わない。	環境課	環境課
			(3) 再生可能エネルギーの利用推進	382	●石油や石炭など限りある化石燃料から、太陽光発電、ペレットストーブ、薪ストーブなどの再生可能エネルギーへの切り替え利用を進めます。	再生可能エネルギー利用推進	再生可能エネルギーへの切り替えについて、HP等で広報し、令和2年度については、ペレットストーブ購入に対する助成が2件あった。	c	継続	国や、県策定の、「長野県ゼロカーボン戦略」の計画と整合を図り、事業を推進していく。	環境課	環境課
				383	●住宅の断熱性能の向上と自然エネルギーを利用したエコハウスを促進します。	再生可能エネルギー利用推進	固定価格買取制度により、住宅用太陽光発電システムの普及が進んでいるため、平行して各種事業の検討を行った。	c	継続	国や、県策定の、「長野県ゼロカーボン戦略」の計画と整合を図り、事業を推進していく。	環境課	環境課
				384	●クリーンエネルギー自動車（電気自動車やハイブリッド車）の購入を促進します。	再生可能エネルギー利用推進	自動車メーカーの動向や充電スタンド等のインフラ整備の動向について注視、公用車については、ハイブリッド車を導入している。	d	継続	国や、県策定の、「長野県ゼロカーボン戦略」の計画と整合を図り、事業を推進していく。	環境課	環境課
				385	●国が進めるエネルギー・温暖化対策支援制度の利用促進を図ります。	再生可能エネルギー利用推進	政権交代により温暖化対策が強化されたため、国からの情報を注視しながら新規事業の検討を行った。	c	継続	国からの情報を注視し、事業を推進する。	環境課	環境課
5 輝かしい歴史文化や美しい自然を未来に継ぐまち												
5-1 【歴史・文化財】 を文化財として守り、未来に継ぐ歴史・文化的遺産	<ul style="list-style-type: none"> 歴史遺産や文化財が数多く整備され、市民の協力を得て地域の活性化が図られています。 市民が博物館などの施設や史跡・文化財などを活用し、歴史学習を行っています。 大学などと連携し、文化財の専門的な調査が継続的に行われています。 	5-1-1 貴重な文化財を守る	(1) 文化財の保存・継承	386	●名勝「姨捨（田毎の月）」をはじめとする、市内の指定文化財の保存・継承を図ります。	文化財保護事業	・名勝姨捨、重文智識寺大御堂など指定文化財の整備、修理を実施した。R2「月の都 千曲」が日本遺産認定	b	継続	指定文化財保存のための事業を実施していく	歴史文化財センター	歴史文化財センター・日本遺産推進室
			(2) 歴史的建造物等保護の推進	387	●長野県「松田家住宅主屋」はじめ、市内の歴史的建造物の保護を図るとともに、歴史的なまちなみの整備を進めます。	H29～ 松田家資料整備事業	H29に発生した火災により主屋等の建物が焼損したが、修理工事を実施した	c	継続	松田家主屋は火災からの修理を行い、博物館施設として活用を図る	歴史文化財センター	歴史文化財センター・都市計画課
			(3) 文化財保護施設整備の推進	388	●埋蔵文化財や歴史資料を収蔵し、広く活用ができる文化財保護センターの設置を検討します。	H29～ 文化財センター管理運営事業	公共施設等管理計画により文化財センターの機能を旧上山田庁舎に集約するため、基本設計を行った	c	継続	旧上山田庁舎に市民窓口が開設されたため、レイアウトを見直す必要がある。収蔵資料の保管スペースが不足しており、新たな収蔵場所の確保が必要	歴史文化財センター	歴史文化財センター
			(4) 文化財調査の推進	389	●市内の文化財や歴史遺産の調査を積極的に進め、指定文化財として登録・保護を図ります。	文化財保護事業	H28年以降、国登録文化財4件及び市指定文化財11件追加、県指定2件が解除となった	b	継続	文化財の指定を進め、保存を図る	歴史文化財センター	歴史文化財センター
				390	●開発にともなう埋蔵文化財の保護に努めます。	埋蔵文化財保護事業	H29～R2 開発事業に伴う発掘調査11件、立会調査を44件を実施した	a	継続	開発事業によって失われる埋蔵文化財の記録保存を実施する	歴史文化財センター	歴史文化財センター
			(5) 歴史・文化資源を活かしたまちづくりの推進	391	●稲荷山重要伝統的建造物群や姨捨の棚田など、「歴史的風致維持向上計画」に基づき、歴史や文化資源を活かした特色のあるまちづくりを推進します。（総合戦略4-3①②）	H30、R1 街なみ環境整備事業	八幡地区街なみ環境整備事業として歴史的風致形成建造物の修理事業を実施した	b	継続	八幡地区の住環境整備のため整備を進める	歴史文化財センター	歴史文化財センター・都市計画課

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
5-1-1【歴史・文化財】輝かしい歴史・文化的遺産を守り、未来に継ぐ	<ul style="list-style-type: none"> 歴史遺産や文化財が数多く整備され、市民の協力を得て地域の活性化が図られています。 市民が博物館などの施設や史跡・文化財などを活用し、歴史学習を行っています。 大学などと連携し、文化財の専門的な調査が継続的に行われています。 	5-1-2 文化財保護意識の啓発を進める	(1) 文化財の活用	392	●博物館などの文化財施設の充実や文化財の活用を図り、市民の文化財保護意識の高揚を図ります。	博物館等文化財資料館管理運営事業	森將軍塚古墳館や城山史跡公園で企画展を実施	b	継続	文化財を身近に感じていただくため、企画展等を開催する	歴史文化財センター	歴史文化財センター
			(2) 史跡や史跡公園の整備の推進	393	●史跡や史跡公園の整備を行い、さらに市民に親しまれるよう、史跡をめぐるコースの整備を検討します。	R1～ 博物館等文化財資料館管理運営事業	科野の里歴史公園及び古代体験パークの復原住居について、市民との協働により修繕を実施	b	継続	安心・安全な史跡公園の管理に努める	歴史文化財センター	歴史文化財センター
			(3) 史跡等愛護活動の推進	394	●市民の文化財愛護意識の高揚を図るため、史跡の維持のためのボランティア活動や森將軍塚まつり・さらしな里縄文まつりなどイベントへの参加を促進します。	文化財保護事業、博物館等文化財資料館管理運営事業	千曲市3大歴史まつりである史跡公園まつりが、令和元年台風被害やコロナ禍により中止となってしまった	b	見直し	市民に親しんでいただくため、イベントを実施していくが、実施主体となる実行委員会が高齢化しているため、見直しが必要	歴史文化財センター	歴史文化財センター
			(4) 文化財の研究活動の支援	395	●市内に有る歴史的遺産や文化財の保存・活用を図るために、市民をはじめ、大学などの文化財研究活動を支援します。(総合戦略2-4①)	R1～ 重要伝統的建造物群保存推進事業	稲荷山重伝建地区の全体構想作成のため、工学院大学に調査及び計画策定を委託	b	継続	R3年度に策定を目指す、コロナ禍のため住民との意見交換ができずにいる	歴史文化財センター	歴史文化財センター
5-1-2【自然との共生】ふるさと自然に溶け込み、親しむ	<ul style="list-style-type: none"> 特定外来生物が駆除され、希少生物が保護されています。 外来種被害予防三原則(生態系に悪影響を及ぼす外来種を入れない、捨てない、拡げない)が守られ、生物多様性や自然生態系が保護されています。 泳ぎたい千曲川が復活しています。 土や石などを使った自然の川づくりがすすみ、トンボやホタル、淡水魚が育っています。 「自然との共生」を大切に自然体験がたくさんできるまちになっています。 水辺周辺が自然観察や市民交流など、憩いの場として活用されています。 市民の力で里山が整備され、身近な自然として親しまれています。 	5-2-1 身近な自然に親しみ、守る	(1) 里地里山の保全・活用	396	●身近な里地里山の遊歩道や登山道の整備による、親しみやすい環境づくりを進めます。	H29～・信濃路自然歩道「聖高原ルート」整備事業	遊歩道 1,500mの整備及び周辺の見通し確保のための除伐等を実施した。	a	継続	既設を問わず通年をとおして利用者はいるが、安全確保のために定期的な巡視や手入れが必要となる。	農林課	農林課
				397	●指定保存木制度を活用し、市独自の巨樹・古木などの保護、監視活動を進めます。	緑化の推進及び緑の保全	年に1回、市内を巡視し、適正に管理されているか確認を行った。	b	継続	今後も自然環境を保持するため、定期的な監視活動が必要である。	環境課	環境課
				398	●「千曲市版レッドデータブック」や、身近な自然ガイドブックを活用した観察会、環境学習会等を開催します。	自然観察会	NPO千曲市環境市民会議が主催で千曲市の自然ガイドブックを活用した自然観察会を行った。	b	継続	自然と共生する循環型社会の構築を図るため、今後も継続していく。	環境課	環境課
				399	●千曲川流域市町村や関係団体と連携し、水辺環境の保全と活用に取り組めます。	令和2年度環境衛生対策	千曲川流域の市町村と連携し、定期的に千曲川の清掃を行っている。	c	継続	あゆや鮭が生息できるような川にするため、国を中心に考えて欲しい。	環境課	環境課・都市計画課
				400	●学校や環境団体と連携し、国土交通省と市で整備した「水辺の楽校」などを活用した環境教育を進めます。	H29・H30 ふるさと自然体験学習会 R1 水辺の楽校であそぼう(R2は東日本台風災害により未実施)	水辺の楽校及び千曲川を活用し、水生生物の実態調査や水質調査、体験学習を実施した。毎回40名程の参加者があり、身近な自然にふれる学習の場を提供したことにより、環境への理解が深まった。	a	継続	「水辺の楽校」の拠点である広場と親水池は台風のために水没する(土砂や流木が流れ込む)が、その後の復旧・整備が最低限しか行われなかったため、安全に使用することが難しくなっている。所管の国土交通省と相談しながら事業を継続するための改善措置を検討する必要がある。	生涯学習課	生涯学習課
				401	●河川の浄化やオオヨシキリなどの鳥類を保護するため、ヨシ原やヤナギ類など河畔林の復活を進めます。	水辺の楽校であそぼう(生涯学習課)	年1回、『水辺の楽校であそぼう』(令和2年は災害復旧工事の為、未実施)で、自然環境について学ぶ場等を設け、河畔林の保護や復活についての認識を広めた。	c	継続	東日本台風災害から千曲川の在り方が変わってくることも考えられるため、国と調整しながら進めていきたい。	都市計画課	環境課・都市計画課
		(2) 千曲川の保全・活用	402	●泳ぎたいと思う千曲川をとり戻すため、公共下水道の接続率アップなど適正な排水処理を普及します。	下水道整備事業	広報紙による啓発や、未接続世帯への依頼通知等により、接続率の向上を図った。	a	継続	引き続き左記による取り組みを実施し、接続率の向上を図る。	上下水道課	上下水道課	
			403	●せぎ溜みやごみゼロ運動、千曲川クリーン作戦など、市民、事業者が率先して行う地域の環境活動に取り組めます。	ごみゼロ運動 千曲川クリーン作戦	R元年度参加者 ごみゼロ8,915人 千曲川クリーン作戦1,805人	b	見直し	R2はコロナ禍及び台風災害により未実施。今後、大規模な人数を動員する美化活動の開催については検討が必要と思われる。	廃棄物対策課	廃棄物対策課	
		5-2-2 さまざまな生き物と共生できる環境をつくる	(1) 希少生物保護の推進	404	●「千曲市版レッドデータブック」を基に、専門家や市民グループと連携し、希少生物の保護活動を進めます。	希少生物保護事業	千曲市版レッドデータブックに記載された希少動植物の保全を行っている。	b	継続	希少な動植物を保護するため、今後も継続していく。	環境課	環境課
				405	●アレチウリ、オオクチバス、コクチバスなど特定外来生物を駆除するため、千曲川クリーン作戦などの市民主体の駆除活動を積極的に進めます。	希少生物保護事業	市民参加の千曲川クリーン作戦等により、駆除活動を行っている。	b	継続	希少な動植物を保護するため、今後も継続していく。	環境課	廃棄物対策課・環境課
406	●ホタルの保護活動など、ホタルの住める環境整備を進めます。			希少生物保護事業	千曲ホタルの会や保育園でホタルの幼虫の餌となるカワナ捕りやホタル発生地の整備を行っている。	b	継続	希少な動植物を保護するため、今後も継続していく。	環境課	環境課		
407	●在来淡水魚の生息環境の整備を図ります。			希少生物保護事業	外部団体による草刈り・清掃を行い生息環境の整備を行っている。	b	継続	希少な動植物を保護するため、今後も継続していく。	環境課	環境課		
(2) 生物多様性の保全	408	●生き物の保護活動にあたっては、生物多様性の保全を重視した活動を進めます。	希少生物保護事業	希少種モニタリングの実績 H29 79種85箇所、H30 74種80箇所、R1 99種126箇所、R2 82種94箇所。	b	継続	希少な動植物を保護するため、今後も継続していく。	環境課	環境課			

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
5-3 【景観形成】 景観の美しいまちをつくる	<ul style="list-style-type: none"> 市民の景観意識が高まり、市民と行政の協働による景観形成への取組が活発に行われています。 地域の特色を生かした景観が形成されています。 歴史的な面影をとどめる町並みが形成されています。 「稲荷山重要伝統的建造物群保存地区」「姨捨の棚田」「あんずの里」を中心に都市住民との交流が行われ、地域がいきいきしています。 	5-3-1 歴史や文化を感じる景観を形成する	(1) 歴史的町並みの調査・保存とその活用	409	●歴史的町並みの環境整備を進めます。	H27～ 重要伝統的建造物群保存推進事業	建造物等修理11件、修景3件実施	b	継続	重伝建地区の建物修理を実施する	歴史文化財センター	歴史文化財センター・都市計画課
				410	●電柱など占用物件が景観に与える影響を最小化するよう努めます。	重要伝統的建造物群保存推進事業	H30～ 重伝建地区における街路灯設置等、4件に対し現状変更協議を実施	b	継続	伝建条例に基づき、協議を実施する	歴史文化財センター	歴史文化財センター・建設課・都市計画課
				411	●標識や広告物など、景観に及ぼす影響について調査・検討を進めます。	屋外広告物形成事業	長野県による案内サイン整備指針が示されたので、踏まえての調査・検討を進めた。	c	継続	町並みとの調和の意味や広告の方法も変化してきており、更に注視していく必要がある。	都市計画課	歴史文化財センター・都市計画課
		5-3-2 地域の特色を生かした良好な景観をつくる	(1) 市街地景観の形成促進	412	●無電柱化の整備について調査・検討を進めます。	無電柱化推進事業	建設課と連携しながら進めてきた。	c	継続	マスタープランや都市計画に基づき更に進める必要がある。	都市計画課	都市計画課
				413	●秩序ある開発と良好な生活環境を確保するため、一定規模以上の建築物や土地の形質変更などについて、適切な指導を行います。	市街地景観形成事業	景観計画区域内行為届出書件数は平成29年度35件平成30年度55件令和元年度48件令和2年度39件の届出を受け必要な指導をした。	b	継続	計画の見直しをしてから数年が経ち、検証するとともに市の現状を把握することが課題	都市計画課	都市計画課・環境課
			(2) 農村景観の形成促進	414	●「姨捨の棚田」や「あんずの里」など、地域の特色ある農村地区を保全しながらまちづくりを進めます。	●「あんずの里の将来事業（R2年度） ・都市農村交流拠点整備事業（R1～R2年度）」	・森地区に全戸配布アンケートを実施し、あんずの里のあり方について意向調査を実施。 ・棚田貸します制度内の遊歩道及び拠点となる姪石苑の改修・整備を実施。	a	継続	・農家の高齢化、後継者問題、荒廃農地等の課題がアンケートから分かったため、それらの解決のため森地区、市で協働しながら進めていく。 ・棚田は広範囲であるため、他地区の拠点整備が必要。	農林課	農林課・歴史文化財センター・都市計画課
				415	●「景観計画」に基づく市民への情報提供・啓発活動の実施、組織立上げなどに際して技術的支援や活動助成を行います。	景観まちづくり事業	取り巻く状況の把握、情報提供をしてきた。	c	継続	幅の広い分野であり、焦点を定めて進める必要がある。	都市計画課	都市計画課
				416	●景観形成住民協定の締結や景観形成市民団体の設立を支援します。	住民協定推進事業	住民協定を1地区と締結	c	継続	景観形成への具体的な働きかけが必要	都市計画課	都市計画課
			(3) 地域との協働による景観形成の促進	417	●市民と協力し、屋外広告物禁止物件の一斉点検を実施します。	違反広告物一斉点検事業	毎年長野県による屋外広告物適正化旬間に合わせ実施している。	b	継続	市民参加が少ないため、協力を得る方法が課題	都市計画課	都市計画課
				418	●「千曲市景観計画（概要版）」などを活用し、景観形成の啓発に努めます。	景観育成事業	景観について相談に応じるとともに啓発に努めた。	b	継続	更にわかりやすい資料の検討が必要	都市計画課	都市計画課
419	●「歴史的風致維持向上計画」を推進します。	進捗評価の実施（毎年） 中間評価の実施（R2）	●歴史的風致の維持及び向上に関する方針に基づき、「歴史的建造物の保存・活用の推進」、「歴史的建造物等を取り巻く環境の保全」、「歴史と伝統を反映した人びとの活動の継承」、「歴史的風致の認識を高めるための取組みの推進」に取り組んだ。 ●R2市民意識調査の集計・分析結果から、市の「歴史・文化財」の取組に対する満足度が、計画策定前（H27）と比較して5.5ポイント増加した。また、重要度も3.8ポイント増加した。	a	継続	計画期間が令和7年度までであるため、2期計画策定の要否の検討を要す。	都市計画課	都市計画課・歴史文化財センター				
5-4 【食文化】 郷土料理を伝えていく	5-4-1 郷土色豊かな料理を伝えていく	(1) 郷土料理の伝承	420	●特産品を郷土料理の材料として地域での消費を進めます。	郷土料理講習会（H29～R2）	年間5回程度で市内有志の方に郷土料理についての講習を開催。	b	継続	新型コロナウイルスの影響により食事を伴う活動に制限が掛かってしまった。	農林課	農林課	
			421	●農業者や関係者と連携し特産品や郷土料理など保護・伝承を支援します。	食と農の文化伝承講座（H29～R2）	有志で郷土食に興味がある方を募集し、修了生13名をかけはしの会に加入することが出来た。	b	継続	かけはしの会の会員が増加したため。活動の幅が広がったが、食事を伴う活動のため感染症対策の徹底が重要である。	農林課	農林課	
			422	●市民や食文化伝承活動団体を支援します。	郷土食普及振興（H29～R2）	市がかけはしの会の事務局となっているため、各活動や食の文化祭等イベント時の支援を行った。	b	継続	活動食事を伴う活動のため感染症対策の徹底が重要である。一般の方の関心が得られにくくなっている。コロナの影響で集まることに抵抗がまだある	農林課	農林課	
5-5 【伝統文化】 伝承を楽しく、伝統行事	5-5-1 地域の伝統行事を継承する	(1) 伝統行事の調査	423	●地域に残る伝統行事の調査を市民の協力を得て行います。	R2～R3 文化財調査事業	令和2年度に市域に残る北信流の調査を実施	b	継続	地域に残る無形の文化財の調査を実施していく	歴史文化財センター	歴史文化財センター	
			424	●重要無形民俗文化財「雨宮の神事芸能」記録映像を作成します。	R元 民俗芸能調査事業	令和2年実施の雨宮神事芸能に併せ記録映像作成に着手したが、コロナ禍のため中止	c	見直し	令和5年の神事に併せ、実施を検討する	歴史文化財センター	歴史文化財センター	
	5-5-2 地域の民話などを伝承する	(2) 伝承活動の推進	425	●伝統行事の伝承活動を支援します。	文化財保護事業	民俗文化財の伝承伝承者の育成に対する補助を実施	a	継続	伝承活動に対する支援を継続する	歴史文化財センター	歴史文化財センター	
			426	●地域に残る民話や民謡などの調査を市民の協力を得て行います。	R1～R3 第3次地域づくり計画	生萱区、桑原西区と協働で、地域に残る歴史を調べ、次代を担う子供たちの郷土愛の醸成に協力した	b	継続	各地区で実施される地域づくり計画に対し積極的に支援をしていく	歴史文化財センター	歴史文化財センター	
			427	●地域の民話や民謡などの保存と伝承活動を支援します。	R2～R4 第3次地域づくり計画	倉科区と協働事業として、民話や方言等の冊子刊行に協力した	a	継続	地域に残る民俗文化財の伝承に協力していく	歴史文化財センター	歴史文化財センター	

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目 (A)	施策の内容 (B)	管理番号	具体的施策	主要事業 (年度・事業名)	実施結果・成果 (数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題 (次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
6 協働で創る、市民主体の住みたい住み続けたいまち												
6-1【市民協働・市民交流】 市民と行政が協働する地域社会をつくる	<p>・「まちづくり基本条例」の主旨に則り、市民、議会、行政が情報を共有し、積極的な市民参画と協働のまちづくりによって市民主体の市政が行われています。</p> <p>・市の政策形成や評価への参画が促進されるなど、双方向で活発なコミュニケーションが展開され、まちづくりに活かされています。</p> <p>・協働のまちづくりの定着が図られることで自治意識が高まり、自主的・自立的な「地域づくり」が展開されています。</p> <p>・市民活動団体（NPOやボランティア団体など）の主体的な公益活動が充実し、行政サービスとともに地域の暮らしを支える「新しい公共」がより一層育っています。</p> <p>・市民同士の交流や都市間交流が活発に行われることで、まちづくりに対する意識と参加の拡大につながっています。</p> <p>・デジタル化された市刊行物など、市民が活用しやすい行政情報が整理され、必要なときに、手軽に情報を得ることができます。</p>	6-1-1 市民参画と協働のまちづくりを進める	(1) 市民参画と協働の推進	428	●市民も公共サービスの担い手となる「新しい公共」の取組を進めます。	①協働事業提案制度（H29～R2） ②第3次地域づくり計画（R1～R2）	採択事業件数①19件、②6件 公共的な取組を進める新たな担い手の確保に繋がった。	b	見直し	新しい公共の担い手となる人材確保をさらに推進するため、人材育成及び多様な主体がまちづくりに参画できる支援制度の創設や運用についての取組を進めていく。なお、「施策の項目(A)」、「施策の内容(B)」、「具体的施策」における規模感・レベル感の相互バランスが取れていないため見直しが必要である。	市民協働課	市民協働課
				429	●「まちづくり基本条例」に沿い、市民と行政が役割を分担しながら一緒に考え一緒に行動する市民参画と協働のまちづくりを進めます。そのためには、「協働のまちづくり指針・行動計画」を市民と行政双方において浸透を図ります。	協働のまちづくり市民委員会運営（H29～R2）、市民と行政の対話戦略事業（H29～R1）によるワークショップや、協働のまちづくりシンポジウムの開催	市民委員会はのべ6回開催し、参加者は約60名、シンポジウムはのべ3回開催し、約300名が参加、対話による協働のまちづくりが着実に浸透した。	b	継続	行政⇄市民の対話機会を設ける取組に加え、市民⇄市民の対話の接点を増やすため、市民交流センター（R3.4月開設）の環境整備及び相談・支援機能の拡充を図る。	市民協働課	市民協働課
				430	●「まちづくり基本条例」に基づき、審議会などを原則公開とするとともに、行政情報を積極的に公開します。	・審議会などの公開（各課対応） ・電子掲示板での行政情報公開	・電子掲示板への行政情報公開件数 ・H29 340件 ・H30 377件 ・R元 371件 ・R2 388件	a	継続	引き続き行政情報の積極的な公開に努める。	総務課	総務課
				431	●地域課題の解決に向け、市民と行政が課題を共有し合えるよう積極的かつ効果的な情報提供に努めます。	オープンデータの取り組み推進	市ホームページに機械判読に適した形式の「オープンデータ」を公開した。	a	継続	公開するデータの種類や件数を増やし、二次利用による産学民の情報利活用推進や新たなサービス創出の推進を図る。	情報政策課	情報政策課・秘書広報課
				432	●ホームページの充実や行政情報のデジタル化をさらに進めるとともに、情報技術の進展による新たな媒体を組み合わせ、市民の市政への関心を高めます。	「くらしの手続きガイド」の開設	市ホームページに「くらしの手続きガイド」を開設し、ライブイベントに対する必要な行政手続きが一覧で把握できるサービスを開始した。	a	継続	市ホームページのリニューアルをすすめ、SNSと連携した情報発信を推進する。	情報政策課	情報政策課
				433	●千曲市情報公開及び個人情報保護に関する条例に基づき、市保有文書その他の記録の公開の適正な運用を図ります。	情報公開・個人情報保護制度の公開・開示	情報公開・個人情報保護制度の公開・開示請求状況 ・H29 39件 ・H30 28件 ・R元 39件 ・R2 52件	a	継続	国の個人情報保護制度の見直しを踏まえ、例規整備を進めるとともに、引き続き、市民の知る権利の尊重と行政の透明化を図るため、市保有文書その他の記録の公開を適正に進める。	総務課	総務課
		6-1-2 市民の主体的な「地域づくり」活動を広める	(1) 多様な地域づくり主体の育成	434	●市民活動団体（NPO・ボランティア団体など）を育成し、公益的な活動を支援します。	市民活動交流センター運営事業（H29～R2）、協働事業提案制度（H29～R2）	市民活動交流センター年間利用者数790人（R2）、協働事業提案制度採択事業件数19件、市民活動団体に対する「相談機能」「環境整備」「支援制度」の充実を図り、団体に対する総合的なサポートを行うことができた。	b	継続	市民活動団体を引き続き育成、支援するため、市民交流センターによる相談・支援機能の拡充を図る。また、団体の財政支援のためにR2から施行しているクラウドファンディング活用支援制度を周知し、制度の利用促進を図る。	市民協働課	総合政策課・総務課
				435	●市民による公益的な活動を担うリーダーの発掘と育成に努めます。	市民と行政の対話戦略事業（H29～R1）によるワークショップや、協働のまちづくりシンポジウムの開催	ワークショップのべ11回、参加者約150名、シンポジウムのべ3回、参加者約300名 まちづくりをテーマにしたワークショップ、講座、討論会等によるリーダーの発掘、育成に努めた。	b	継続	引き続き、地域のリーダーとなる人材の発掘と育成を目的に、講座の開催や関係者間のネットワーク構築など、支援体制の充実を図る。	市民協働課	市民協働課
			(2) 市民の主体的な取組の支援	436	●「地域づくり計画」制度を協働の理念に沿った仕組みの中で定着が図られるよう見直しを行い、広範な市民の参画による地域の主体的なまちづくりを育てます。	第3次地域づくり計画（R1～R2）	採択事業件数「6件」、区・自治会と行政の協働により、地域課題を解決する事業展開を行うことができた。	b	見直し	引き続き区・自治会と行政による協働体制の定着化を図りつつ、新たな単位による地域づくり組織の創設が検討されていることから、その機能や制度を集約するなど、次期計画では施策を統合的に講じていく必要がある。	市民協働課	市民協働課
				437	●地域の取組を支援する職員のパートナーシップ制度を充実・強化します。	—	区・自治会からの要請により会議等への出席、地域づくり計画作成時の担当課との事前協議等に携わった。	b	継続	本制度活用について、区自治会で温度差があることからPRするとともに職員も積極的に地域に入っていきよう周知する。	総務課	総務課
				438	●地域の課題を解決するための組織として、区・自治会の枠にとらわれない新たな単位としての体制確立に向けた機運を高めます。	(仮称) 地域づくり協議会の創設に向けて（H29～R1）	地域の理解と協力が不可欠な制度であることから、令和元年度から市内全地区の区・自治会長に対して、制度構想等を示しながら意見交換を重ねた。	c	継続	令和6年度中の制度導入を目標に、より具体的な計画を提示しながら地域の理解と協力を得られるよう進めていく。	市民協働課	市民協働課
				439	●各種イベント・スポーツ・文化・産業活動など多彩な市民交流・都市間交流を支援します。	市民活動交流センター運営事業（H29～R2）	市民活動交流センター年間利用者数790人（R2）、市民や市民団体からの様々な相談に対して助言を行うことで、多彩な市民交流の機会の拡大を図ることができた。	c	見直し	交流の支援については、リーダー人材育成や活動団体の育成など他の施策と重複していることから、次期計画では施策を集約を検討する。	市民協働課	市民協働課

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
6-1-2【行政経営】将来にわたり持続可能な行財政運営を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・行財政基盤の強化が図られ、魅力あるまちづくりを展開する力が蓄えられています。 ・簡素で効率的な組織機構が構築され、企画力・職務遂行能力の高い職員により、創意と工夫にあふれた施策が遂行されています。 ・指定管理者制度の導入など民間経営のノウハウが行政運営に生かされています。 ・発生主義・複式簿記といった企業会計的手法を取り入れた「新地方公会計制度」の導入により、資産・債務などのストック情報や減価償却費なども含むフルコストでの情報を明らかにすることにより、資産・債務管理や予算編成、行政評価等に有効活用することで行財政の効率化・適正化が図られています。 	6-2-1 簡素で効率的な市政を目指す	(1) 効率的な行財政の運営	440	●時代のニーズに対応した簡素で効率的な組織機構を構築します。	—	令和元年に分庁舎方式(3庁舎)から本庁舎(1庁舎)とし、各庁舎で重複していた業務を統一した。	b	継続	「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)」に対応した組織体制の確立	総務課	総務課
				441	●職員の企画力・職務遂行能力の向上を図ります。	—	社会主事、防火管理者等の資格取得、各種キャリアアップ研修、実務研修等に各年度のべ約2000人参加	b	継続	多くの職員が研修に参加しやすい職場づくりに努める。パワーハラスメント等の研修会を定期的に開催し快適な職場環境づくりを推進する。	総務課	総務課
				442	●民間委託の拡充、指定管理者制度の拡大などにより、スリムで効率的な行財政運営を図ります。	指定管理者制度導入の推進	導入実績：H29年度 48施設 R3年度 41施設 施設の廃止：7施設 新規導入：1施設 直営に変更：1施設	b	継続	引き続き指定管理者制度の拡大や、民間委託の拡充により、スリムで効率的な行財政運営を図る。	財政課	財政課
				443	●事務事業の改善に向け、PDCAサイクルに基づく行政評価(施策・事務事業)の仕組みを構築し、成果重視の行財政運営を推進します。	毎年度、行政評価の実施 H30年度：行政評価の大幅見直し R1年度：総合戦略の総括実施	毎年度行政評価を実施し、その結果を実施計画に反映することでPDCAサイクルをまわし、事業計画の改善を図っている。外部評価委員会では、外部委員から直接課長が意見を伺うことで、事業の改善に直結する仕組みとなった。	b	継続	毎年度行政評価を実施し、施策・事業の改善を図ることで、効果的に事業を推進する仕組みを継続していく。	総合政策課	総合政策課
				444	●「第4次行政改革大綱・特別対策プラン」に基づく行財政改革を推進し、長期的かつ持続可能な健全財政を堅持します。	～R元年度・第4次行政改革大綱・特別対策プランの推進 R2年度・第5次行政改革大綱の策定	第4次行政改革大綱の進捗率：85% 特別対策プラン及び自主的取り組みによる達成率：79% 削減額：約7億円	b	継続	第5次行政改革大綱の推進	財政課	財政課
				445	●安定した財政基盤を確立するため、自主財源の涵養施策の推進と、市税などの収納率向上を図ります。	H30年度～ネーミングライツの導入	更地体育館において導入 愛称：「ことぶきアリーナ千曲」 期間：H30.9.1～R4.3.31 命名権料：900万円	b	継続	他の施設での導入を検討し、自主財源を確保する。	財政課	財政課
				446	●職員定員管理適正化計画に基づき、職員数の適正化を図り人件費の抑制を進めます。	—	令和元年に分庁舎方式(3庁舎)から本庁舎(1庁舎)とし、各庁舎で重複していた業務を統一したことによる職員の大幅減を見込んでいたが増加となってしまった。 H29 472人 H30 469人 H31 472人 R2 474人 R3 476人	c	継続	今後は減員できない要因等を究明し職員数の削減に努めていく。また、令和2年12月に総務省において「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」が策定され、今年9月には「デジタル庁」が発足することとなっていることから本市においても情報系専門職員の職員採用、職員数の拡充を検討していく。	総務課	総務課
				447	●公共施設等の老朽化にともなう更新等を見据え、将来の財政的負担の軽減や平準化を図るため、長期的視点に立った計画的な公共施設の更新・統廃合・長寿命化を推進します。(総合戦略4-4)	H30年度・千曲市公共施設再編計画策定(計画年度：H30～R26) R2年度・千曲市公共施設個別施設計画策定(計画年度：R3～R13)	H27以降に増加した床面積：約38,200㎡ H27以降に縮減した床面積：約20,500㎡ その他内容精査による減少：約3,800㎡	c	継続	今後も公共施設マネジメントを推進し、計画の目標値である13%縮減を目指す。	財政課	財政課
				448	●未利用土地など活用見込のない公有財産について、積極的な処分や貸付に努めます。	毎年度実施 普通財産の売却処分	処分状況(年度・契約件数・処分価格) ・H29 31 19,002,070円 ・H30 20 37,499,227円 ・R1 24 13,884,938円 ・R2 20 36,940,792円	b	継続	未利用地の適正な管理及び周知を継続していく。	管財契約課	管財契約課
				6-1-3【広域行政】近隣広域行政圏、国・県との連携を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・長野広域連合を中心に近隣市町村が連携し、広域的な行財政課題に効率的かつ効果的に対応しています。 ・連携中枢都市圏構想など広域的な交通政策やまちづくりが、地域の産業や観光の魅力を一層高めています。 ・近隣市町村の体育・文化施設などの公共施設が気軽に利用できるようになってきました。 ・国、県、関係機関との連携によって、効率的に事業が執行されています。 	6-3-1 効率的な広域行政を推進する	(1) 広域行政の強化・充実	449	●長野広域連合を軸とした近隣市町村との連携を強化します。	長野広域連合事業(介護・医療等)	各課・事業毎に近隣市町村と連携を強化し事業を推進。	b
450	●事務事業の共同処理による効率的な行財政運営を図ります。	・R2年度から住民基本台帳システムの共同調達を塩尻市・中野市・千曲市の3市で実施。 長野県先端技術活用推進協議会に参加し、デジタルインフラの共同調達に向け検討	長野広域連合、長野地域連携中枢都市圏により、各課・事業毎に近隣市町村と連携を強化し事業を推進					b	継続	行財政運営の効率化を図るため、今後も様々な事業において広域連携を強化していく。	総合政策課	総合政策課
451	●図書館や文化施設、体育施設など公共施設の相互利用を促進します。	H28年度～長野地域連携中枢都市圏事業(R3年度千曲市42事業)	長野地域連携中枢都市圏事業において、H30年1月から「図書館広域利用」を開始した。					b	継続	図書館だけでなく、文化・体育施設などの公共施設の相互利用を推進する。	総合政策課	総合政策課
452	●広域的課題に対しては、連携中枢都市圏構想などの新たな制度にも対応するなど、近隣市町村と連携を図りながら取り組みます。(総合戦略4-6①)	H28年度～長野地域連携中枢都市圏事業 R3年度千曲市42事業	H28年度から始まった長野地域連携中枢都市圏事業は、H28年度29事業、H29年度30事業、H30年度31事業、R1・2年度33事業、R3年度42事業と着実に増加し、様々な取り組みを推進している。					a	継続	連携事業は着実に増加し敵いることから、今後もお互いの強みを活かし連携事業の増加を図るとともに、効果的な成果を上げるよう推進する。	総合政策課	総合政策課
453	●共同処理、共同利用方式による施設については、設備の充実と利用の拡大を図ります。	・広域焼却施設対策事業 ・長野広域連合事業(介護施設・医療等) ・一部事務組合事業	・長野広域連合と検討していた「ごみ焼却施設(B焼却施設)」はR4年3月工事完了予定。					a	継続	共同処理・共同利用方式の施設を増やしていくとともに、設備の充実と利用の拡大を図る。	総合政策課	総合政策課
454	●国・県計画と整合を図りながら諸事業を推進します。	各種事業	各課において国・県計画と整合を図り事業を推進している。					b	継続	各課においては、更に国・県の計画と整合を図り事業を推進する。	総合政策課	総合政策課
455	●国・県及び関係機関との連携を強化し、諸施策を推進します。	各種事業	各課において国・県及び関係機関と連携し事業を推進している。 関係機関(県・民間事業者)と包括連携協定を結び事業を推進している。					a	継続	更に国・県及び関係機関と連携を強化し、施策を推進する。	総合政策課	総合政策課
6-3-2 国・県との連携・協調によるまちづくりを推進する	(1) 国・県との連携・協調	454	●国・県計画と整合を図りながら諸事業を推進します。	各種事業	各課において国・県計画と整合を図り事業を推進している。	b	継続	各課においては、更に国・県の計画と整合を図り事業を推進する。	総合政策課	総合政策課		
		455	●国・県及び関係機関との連携を強化し、諸施策を推進します。	各種事業	各課において国・県及び関係機関と連携し事業を推進している。 関係機関(県・民間事業者)と包括連携協定を結び事業を推進している。	a	継続	更に国・県及び関係機関と連携を強化し、施策を推進する。	総合政策課	総合政策課		

(2) 施策別検証表

基本目標	まちづくりの達成方針	施策の項目(A)	施策の内容(B)	管理番号	具体的施策	主要事業(年度・事業名)	実施結果・成果(数値含め記載)	施策評価	次期計画への方向性	今後の課題(次期計画への方向性の理由)	担当課	関係課
6-4「情報コミュニケーション」ICTを活用し、いつでもどこでも快適に情報の入手・発信ができる環境をつくる	<ul style="list-style-type: none"> スマートデバイスの普及にともない、市内どこでも高速大容量の通信環境が安価に提供されています。 市からの情報提供がホームページだけでなく、SNSも活用した複数の情報伝達方法により充実されています。 災害、事故などの情報が機動的に配信されるよう準備されています。また、被災情報などの情報収集手段としてのSNS活用の仕組みができています。 IoT技術の活用により、市民にきめ細かなサービスが提供されています。 地域の観光情報やイベント情報、お店の情報など、あらゆる地域情報が集約され、便利に利用できるインターネットサイト(地域ポータルサイト)が稼働しています。 個人情報の流出・漏洩の危険がない、組織の運営や安全安心なシステムの運用がされています。 	6-4-1 いつでもどこにおいても「安心」「安全」に情報が入手でき、多様なコミュニケーションを図ることができる	(1) インターネット利用の拡大	456	●市民が集まる公共施設等に、利用しやすく安全な公衆無線LANを設置し、市の情報や旅行者への観光情報を提供します。また、災害時には情報インフラとしての活用を図ります。	公共施設への公衆無線LAN環境の整備	市庁舎、文化会館、観光施設において公衆無線LANサービス環境を提供している。また、令和3年度は公民館を中心とした市内公共施設でも無線LANサービス環境を構築し、公民館事業等で活用、市民への提供を予定している。	a	継続	市のネットワークによる安定的な稼働、運用を行い、施設利用者の利便性の向上や災害時における速やかな情報伝達手段として活用する。	情報政策課	情報政策課
				457	●高齢者や障がい者などが年齢や身体的制約に関係なく利用できるよう、使いやすさを意識しながら、提供する情報の充実を図ります。	市ホームページの機能充実	市ホームページでは、背景色の変更、読み上げ、文字サイズ変更機能を備えている。スマートフォン利用者にも見やすい表示が可能となっている。	c	継続	市ホームページをさらに利用しやすいものにするため、広く意見を募りながら、レイアウトのリニューアルを推進する。	情報政策課	情報政策課
				458	●市ホームページやSNSを活用し、多チャンネルによる情報提供を充実します。	FacebookやTwitterを利用した情報発信 YouTubeを利用した映像情報の配信	ソーシャルメディア活用指針に基づき、FacebookやYouTube等を運用している。また、R3.1月より、新たに市公式Twitterを運用開始した。	b	継続	より有効なSNSの活用方法について研究、検討し、市の魅力や市政情報、イベント情報、緊急情報など、効率的・効果的な情報発信の充実を図る。	情報政策課	情報政策課
				459	●NPOや地域づくり関連団体などと協力しながら構築した地域ポータルサイトがより充実した内容で情報発信できるように支援していきます。	街まちサイト みんなの街まち応援サイト	市ホームページに「街まちサイト」「みんなの街まち応援サイト」等の地域ポータルサイトのバナーを掲載した。	b	継続	地域ポータルサイトが、より充実した内容で情報発信できるよう、引き続き支援していく。	情報政策課	情報政策課
				460	●情報伝達のペーパーレス化に努めます。	会議資料の電子化 ペーパーレス会議の推進	市議会議員へのタブレット端末貸与、職員用ペーパーレス会議システムの導入、LWAN系ノートPCの無線LAN化により、ペーパーレス化を推進した。	a	継続	行政文書の電子化を推進し、事務の効率化、省資源化、省スペース化を図る。	情報政策課	情報政策課
				461	●ICT活用ビジョンを推進し、所管課と連携しながらより利便性の高い市民サービスの拡充を図ります。(新規)	第3次地域情報化計画(H28~R2)の評価検証 第4次地域情報化計画(R3~R5)の策定推進	第3次地域情報化計画での「39事業」の取組と達成度について評価を行った。(達成、おおむね達成率77%)	b	継続	ICTの急激な進展への対応やDXの取組を推進するため、第4次地域情報化計画を策定し、推進を図る。	情報政策課	情報政策課
				462	●電子申請・届出システムによるインターネットを活用した各種届出・申請の充実を図り、市民サービスの利便性を高めます。	ながの電子申請等の活用	ながの電子申請について、「各種検診の申し込み」や「保育園欠席届出」など、利用が増大した。	b	継続	ながの電子申請の活用を推進するとともに、デジタル手法に基づき、オンライン申請サイト「マイナポータル」を積極的に活用し、オンライン申請サービスの普及を図る。	情報政策課	情報政策課
		463	●IoT技術の研究・導入を図り、効率的かつきめ細かな市民サービスを実現します。	R3水路監視システムの導入	市内10か所の主要な農業用水路の水門を監視するため、LPWAを利用した水路監視システムの導入を進めた。	c	継続	IoT技術による安全性、正確性、迅速性、効率性を考慮し、研究・導入の推進を図る。	情報政策課	情報政策課・総合政策課		
		464	●情報セキュリティ指針の遵守・徹底を図ります。	セキュリティポリシーの適正な運用	CSIRT設置要綱やセキュリティポリシーの必要な改定を行い、適正な運用を図った。	b	継続	情報セキュリティマネジメントの徹底とセキュリティポリシーの適正な運用を行う。	情報政策課	情報政策課		
		465	●継続的なセキュリティ対策の実施に加え、新たなマルウェアなどの脅威への対策を研究・強化します。	セキュリティに関する情報収集、セキュリティ研修会の開催	国、県などからのセキュリティに関する情報を収集し、ITリテラシー研修や情報セキュリティ対策研修を定期的に開催し、セキュリティに対する注意喚起を行った。	b	継続	引き続き、セキュリティに関する情報を注視し、研修会などで情報セキュリティに対する意識を高め、情報セキュリティへの対応強化を図る。	情報政策課	情報政策課		
		466	●情報システムのセキュリティ対策の定期的な監査と評価を行い、実施状況を確認します。	CSIRT設置、セキュリティ委員会による対応	インシデント発生時は、CSIRTや情報セキュリティ委員会を開催し、適切な対策を講じた。	b	継続	情報セキュリティ対策の実施状況の監査の実施に向けて取り組んでいく。	情報政策課	情報政策課		
		6-4-2 個人の情報が守られる環境をつくる	(1) 情報セキュリティ対策の充実	464	●情報セキュリティ指針の遵守・徹底を図ります。	セキュリティポリシーの適正な運用	CSIRT設置要綱やセキュリティポリシーの必要な改定を行い、適正な運用を図った。	b	継続	情報セキュリティマネジメントの徹底とセキュリティポリシーの適正な運用を行う。	情報政策課	情報政策課
		465		●継続的なセキュリティ対策の実施に加え、新たなマルウェアなどの脅威への対策を研究・強化します。	セキュリティに関する情報収集、セキュリティ研修会の開催	国、県などからのセキュリティに関する情報を収集し、ITリテラシー研修や情報セキュリティ対策研修を定期的に開催し、セキュリティに対する注意喚起を行った。	b	継続	引き続き、セキュリティに関する情報を注視し、研修会などで情報セキュリティに対する意識を高め、情報セキュリティへの対応強化を図る。	情報政策課	情報政策課	
		466		●情報システムのセキュリティ対策の定期的な監査と評価を行い、実施状況を確認します。	CSIRT設置、セキュリティ委員会による対応	インシデント発生時は、CSIRTや情報セキュリティ委員会を開催し、適切な対策を講じた。	b	継続	情報セキュリティ対策の実施状況の監査の実施に向けて取り組んでいく。	情報政策課	情報政策課	